科目名	キャリア教育1	必修選択	必修	年次	1	担当教員	相原　充伸
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ＆ミュージシャンコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	東京スクールオブミュージック専門学校教職員歴7年						
授業の学習内容	業界を目指すにあたって、必ず必要となってくる社会人基礎力を身につけ、どのような環境、状況でも成長していくことができる人をつくる。						
到達目標	業界を目指すにあたって、必ず必要となってくる社会人基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義	新社会人の心得ワークを理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成
2	講義	ハートビーイングワークを理解し実践できる。	七つの習慣の実践復習しレポート作成
3	講義	10年後の目標の立て理解し実践できる。	キューブについて研究しレポートをまとめる。
4	講義	5年後の目標の立て理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成。
5	講義	3年後の目標の立て理解し実践できる。	セルフプレゼンテーション自主確認しレポート作成。
6	講義	自分の世界観をまとめていく方法を理解し実践できる。	七つの習慣の実践作業し理解確認しレポート作成。
7	講義	キューブを使ってのコミュニケーションワークを理解し実践できる。	キューブについて研究しレポートをまとめる。
8	講義	アンケート形式、プレゼンテーションを理解し実践できる。	セルフプレゼンテーション自主確認。
9	講義	パズルワークを理解し実践できる。	七つの習慣の実践作業をしレポート作成
10	講義	自分の世界観をまとめていく方法を理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成
11	講義	キューブを使ってのコミュニケーションワークを理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成
12	講義	アンケート形式、プレゼンテーションを理解し実践できる。	セルフプレゼンテーション自主確認。
13	講義	ハートビーイングワークを理解し実践できる。	セルフプレゼンテーション自主確認。
14	講義	新社会人の心得ワークを理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成
15	講義	復習試験	振り返りとレポート作成
準備学習　時間外学習		プロになるために必要な目標設定を実行、それをレポートにし記録する。時間外で週4時間かける	

新社会人の心得、七つの習慣

科目名	キャリア教育2	必修選択	必修	年次	1	担当教員	相原　充伸
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ＆ミュージシャンコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	東京スクールオブミュージック専門学校教職員歴6年						
授業の学習内容	業界を目指すにあたって、必ず必要となってくる社会人基礎力を身につけ、どのような環境、状況でも成長していくことができる人をつくる。						
到達目標	業界を目指すにあたって、必ず必要となってくる社会人基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義	仕事を知り社会の中での自分の役割を理解し説明できる。	仕事を知り社会の中での自分の役割を理解しレポート作成
2	講義	「チームワーク力」：現状況と役割を理解して協力し合う大切さを学び実践できる	「チームワーク力」：現状況と役割を理解して協力し合う大切さを学び理解しレポート作成
3	講義	「働き欠け力」：自分から進んで取り組む力、チームワーク力を学び実践できる	「働き欠け力」：自分から進んで取り組む力、チームワーク力を学び理解しレポート作成
4	講義	「創造力」：新しい価値を生み出す力学び実践できる	「創造力」：新しい価値を生み出す力学び理解しレポート作成
5	講義	ジョブカードを用い、職業理解を深め説明できる	ジョブカードを用い、職業理解を深め理解しレポート作成
6	講義	【プロフィールの書き方】イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	【プロフィールの書き方】イベントを整理し、自らの経験を理解しレポート作成
7	講義	【プロフィールの書き方】自己理解を深め客観視出来るようになる	【プロフィールの書き方】自己理解を深め客観視し理解しレポート作成
8	講義	【履歴書の書き方】自分の長所・短所が伝えられるようになる	【履歴書の書き方】自分の長所・短所が伝えられるように理解しレポート作成
9	講義	基本的対話スキルについて習得し実践できる	基本的対話スキルについて習得し実践、理解しレポート作成
10	講義	自己表現スキルについて習得し実践できる。	自己表現スキルについて習得し実践、理解しレポート作成
11	講義	社会的スキルについて習得し実践できる。	社会的スキルについて習得し実践、理解しレポート作成
12	講義	サービスマインドについて習得し実践できる。	サービスマインドについて習得し実践、理解しレポート作成
13	講義	コミュニケーションスキルアップ検定試験の受講	コミュニケーションスキルアップ検定試験の受講準備
14	講義	他クラス・他セクションとのコミュニケーションを通じて学ぶ	他クラス・他セクションとのコミュニケーションを通じて学ぶ、理解しレポート作成
15	講義	復習試験	これらを踏まえてレポート作成
準備学習　時間外学習		プロになるために必要な目標設定を実行、それをレポートにし記録する。時間外で週4時間かける	

【使用教科書・教材・参考書】

新社会人の心得、七つの習慣

科目名	キャリア教育３	必修選択	必修	年次	2	担当教員	相原　充伸
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ＆ミュージシャンコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	東京スクールオブミュージック専門学校教職員歴6年						
授業の学習内容	業界を目指すにあたって、必ず必要となってくる社会人基礎力を身につけ、どのような環境、状況でも成長していくことができる人をつくる。						
到達目標	業界を目指すにあたって、必ず必要となってくる社会人基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義	クラスのノームの意識付を行い「学生生活の基盤」を作り実践する	「学生生活の基盤」を理解しレポートへまとめる。
2	講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することができる	「主体性」を理解しレポートへまとめる
3	講義	モチベーションコントロール計画的に主体的行動がとれるようになり実践できる	モチベーションコントロールを理解しレポートへまとめる
4	講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性をしり実践できる	「傾聴力」を理解しレポートへまとめる
5	講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学び実践できる	「発信力」を理解しレポートへまとめる
6	講義	「傾聴力」「発信力」を実践させ行動出来る力を習得し実践できる。	「傾聴力」「発信力」を理解しレポートへまとめる
7	講義	言葉遣いやマナーを学び理解し実践できる。	言葉遣いやマナーを理解しレポートへまとめる
8	講義	自分自身の課題を発見し、解決していく力を養い実践できる。	自分自身の課題を発見し、解決していく力を理解しレポートへまとめる
9	講義	企業の方をお招きし、職種や働き方を学び実践できる。	企業の方をお招きし、職種や働き方を理解しレポートへまとめる
10	講義	「計画力」：計画的に行動する力を学び実践できる	「計画力」を理解しレポートへまとめる
11	講義	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学び実践できる	「実行力」を理解しレポートへまとめる
12	講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学び実践できる	「課題発見力」を理解しレポートへまとめる
13	講義	態度・マナーについて説明し、理解し実現できる	態度・マナーについて理解しレポートへまとめる
14	講義	クラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学び実践できる	クラス・後輩とのコミュニケーションを理解しレポートへまとめる
15	講義	復習試験	振り返りとレポート作成
準備学習　時間外学習		プロになるために必要な目標設定を実行、それをレポートにし記録する。時間外で週4時間かける	

【使用教科書・教材・参考書】

新社会人の心得、七つの習慣

科目名	キャリア教育4	必修選択	必修	年次	2	担当教員	相原　充伸
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ＆ミュージシャンコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	東京スクールオブミュージック専門学校教職員歴6年						
授業の学習内容	業界を目指すにあたって、必ず必要となってくる社会人基礎力を身につけ、どのような環境、状況でも成長していくことができる人をつくる。						
到達目標	業界を目指すにあたって、必ず必要となってくる社会人基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義	新社会人の心得ワークを理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成
2	講義	ハートビーイングワークを理解し実践できる。	七つの習慣の実践復習しレポート作成
3	講義	10年後の目標の立て理解し実践できる。	キューブについて研究しレポートをまとめる。
4	講義	5年後の目標の立て理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成。
5	講義	3年後の目標の立て理解し実践できる。	セルフプレゼンテーション自主確認しレポート作成。
6	講義	自分の世界観をまとめていく方法を理解し実践できる。	七つの習慣の実践作業し理解確認しレポート作成。
7	講義	キューブを使ってのコミュニケーションワークを理解し実践できる。	キューブについて研究しレポートをまとめる。
8	講義	アンケート形式、プレゼンテーションを理解し実践できる。	セルフプレゼンテーション自主確認。
9	講義	パズルワークを理解し実践できる。	七つの習慣の実践作業をしレポート作成
10	講義	自分の世界観をまとめていく方法を理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成
11	講義	キューブを使ってのコミュニケーションワークを理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成
12	講義	アンケート形式、プレゼンテーションを理解し実践できる。	セルフプレゼンテーション自主確認。
13	講義	ハートビーイングワークを理解し実践できる。	セルフプレゼンテーション自主確認。
14	講義	新社会人の心得ワークを理解し実践できる。	新社会人の心得を使用し復習しレポート作成
15	講義	復習試験	振り返りとレポート作成
準備学習　時間外学習		プロになるために必要な目標設定を実行、それをレポートにし記録する。時間外で週4時間かける	

新社会人の心得、七つの習慣

科目名	キャリア教育1	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	滝波　栄一郎
学科・コース	【音楽テクノロジー科】PAエンジニア、照明ライティング、舞台制作＆ステージデザイナーコース	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 2		
教員の略歴	東京スクールオブミュージック専門学校教職員歴20年						
授業の学習内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会（クラス）」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力（主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解する。 「社会（クラス）」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法と基準	授業内配布プリントの取り組みや個人スキルを加味したクラスワークでの積極性。 授業態度も踏まえた出席率。						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	クラスのノームの意識付を行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2	講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3	講義	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう	配布プリントを記入し次回提出
4	講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5	講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6	講義	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7	講義	イベントスタッフとしてで活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8	講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9	講義	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出
10	講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11	講義	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12	講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13	講義	「明日への扉」の参加を通じてクラス・先輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
14	講義	「明日への扉」の参加を通じてクラス・先輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15	講義	現場での態度・マナーについて説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック

科目名	キャリア教育2	必修選択	必修	年次	1	担当教員	滝波　栄一郎
学科・コース	【音楽テクノロジー科】PAエンジニア、照明ライティング、舞台制作＆ステージデザイナーコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	東京スクールオブミュージック専門学校教職員歴20年						
授業の学習内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 1年次後期では滋慶学園グループが必修で行っている「コミュニケーションスキルアップ検定」の問題内容を基に人間教育を行う。 また、キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力（主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解する。 「社会（クラス）」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。 コミュニケーションスキルアップ検定の合格。						
評価方法と基準	授業内配布プリントの取り組みや個人スキルを加味したクラスワークでの積極性。 授業態度も踏まえた出席率。						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	合同企業説明会を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考える	配布プリントを記入し次回提出
2	講義	「チームワーク力」:現状況と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
3	講義	「働き欠け力」:自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
4	講義	「創造力」:新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
5	講義	ジョブカードを用い、職業理解を深める	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出
6	講義	【履歴書の書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出
7	講義	【履歴書の書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	学校指定履歴書の右欄を記入し提出
8	講義	【履歴書の書き方】ジョブカード作成内、自分の長所・短所が伝えられるようになる	授業に引き続きジョブカードの作成を行う
9	講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施（基本的対話スキルについて）	配布プリントを記入し次回提出
10	講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施（自己表現スキルについて）	配布プリントを記入し次回提出
11	講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施（社会的スキルについて）	配布プリントを記入し次回提出
12	講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施（サービスマインドについて）	配布プリントを記入し次回提出
13	講義	コミュニケーションスキルアップ検定試験の受験	本日の試験で出来なかった部分を各自復習
14	講義	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15	講義	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック

科目名	キャリア教育3	必修選択	必修	年次	2	担当教員	滝波　栄一郎
学科・コース	【音楽テクノロジー科】PAエンジニア、照明スタッフ、舞台制作、楽器リペア＆テクニシャンコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	東京スクールオブミュージック専門学校教職員歴20年						
授業の学習内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会（クラス）」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力（主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解する。 「社会（クラス）」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法と基準	授業内配布プリントの取り組みや個人スキルを加味したクラスワークでの積極性。 授業態度も踏まえた出席率。						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	クラスのノームの意識付を行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2	講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3	講義	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4	講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5	講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6	講義	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7	講義	イベントスタッフとしてで活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8	講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9	講義	エンターテイメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10	講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11	講義	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12	講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13	講義	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
14	講義	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15	講義	現場での態度・マナーについて説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック

科目名	キャリア教育4	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	滝波　栄一郎
学科・コース	【音楽テクノロジー科】PAエンジニア、照明スタッフ、舞台制作、楽器リペア＆テクニシャンコース	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 2		
教員の略歴	東京スクールオブミュージック専門学校教職員歴20年						
授業の学習内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会（クラス）」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンターと共に就職活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力（主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解する。 「社会（クラス）」のなかで役割を見つけ主体的に行動できる。						
評価方法と基準	授業内配布プリントの取り組みや個人スキルを加味したクラスワークでの積極性。 授業態度も踏まえた出席率。						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	合同企業説明会を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考	配布プリントを記入し次回提出
2	講義	「チームワーク力」：現状況と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
3	講義	「働き欠け力」：自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
4	講義	「創造力」：新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
5	講義	ジョブカードを用い、職業理解を深める	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出
6	講義	【履歴書の書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようにな	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出
7	講義	【履歴書の書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	学校指定履歴書の右欄を記入し提出
8	講義	【履歴書の書き方】ジョブカード作成内、自分の長所・短所が伝えられるようになる	授業に引き続きジョブカードの作成を行う
9	講義	エンターテイメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
10	講義	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出
11	講義	SMBCファイナンスの方をお招きし、マネー講座を開催、社会人になった時に掛かるお金について学	配布プリントを記入し次回提出
12	講義	社会に出る際のビジネスマナー・身なり・挨拶の大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13	講義	社会に出る際のビジネスマナー・メールのやり取り・座席位置	本日の試験で出来なかった部分を各自復習
14	講義	卒業制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15	講義	卒業制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック

科目名	PCスキルアップ1	必修選択	必修	年次	1	担当教員	唐澤　淳
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ＆ミュージシャンコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務						
授業の学習内容	Excelを中心に基本的な使い方から、現場で役立つ応用まで1年かけて身につけていく。 Microsoftの検定を取れるようにするのではなく、あくまでも業界でよく使われたり役立つ部分に特化して即戦力を目指してスキルを身に付けます。 現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンタメ業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めていきます。						
到達目標	以下の3点が達成出来るようになることを目標としている。 （1）Excelの基本的な使い方（表のデザイン、計算式）を身につける。 （2）PowerPointの基本的な使い方を身につけプレゼンテーションスキルを上げる。 （3）Wordの基本的な使い方を身につける。						
評価方法と基準	1．レポート提出（%）：50% 2．筆記課題（%）：50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	WindowsとMacの違いを理解する。ショートカットキーが使えるようになる。	キーボード配列を覚える。ショートカットを覚える。
2	講義	【Excel】罫線について、表の作り方を理解する。	セルの仕組みを覚え、エクセルの基本操作を覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
3	講義	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの横軸が作成出来るようになる。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。
4	講義	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの縦軸が作成出来るようになる。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。
5	講義	【Excel】表と計算式／動員集計表を理解する。	計算式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
6	講義	【Excel】表と計算式／動員集計表が作成出来るようになる。	授業内課題を45分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。。
7	講義	【Excel】表と計算式／売り上げ管理表から数字を理解出来るようになる。	授業内で扱った数式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。。
8	講義	【Excel】表と計算式／売り上げ管理表を理解する。作成出来るようになる。	授業内で扱った数式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
9	講義	【Excel】表と計算式／テストの平均点を理解し、作成出来るようになる。	授業内で扱った数式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
10	講義	【Excel】表と計算式／予算表を作成出来るようになる。	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。
11	講義	【Excel】表と計算式／請求書を作成出来るようになる。	授業内課題を45分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。
12	講義	【Excel】図形描画／イベントシートとステージ簡易図面が作成出来るようになる。	造形描画の種類と使いかたを覚えることを目標に提示した課題の図形を作成する。
13	講義	【Excel】図形描画／イベントシートとステージ簡易図面が作成出来るようになる。	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。
14	講義	【Excel】チケット管理表を作成することが出来るようになる。	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。
15	講義	【Excel】動員集計表を作成することが出来るようになる。	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

インターネット＆ホームページ

科目名	PCスキルアップ2	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	唐澤　淳
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ＆ミュージシャンコース	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 2		
教員の略歴	アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務						
授業の学習内容	Excelを中心に基本的な使い方から、現場で役立つ応用まで1年かけて身につけていく。 Microsoftの検定を取れるようにするのではなく、あくまでも業界でよく使われたり役立つ部分に特化して即戦力を目指してスキルを身に付けます。 現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンタメ業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めていきます。						
到達目標	以下の3点が達成出来るようになることを目標としている。 （1）Excelの基本的な使い方（表のデザイン、計算式）を身につける。 （2）PowerPointの基本的な使い方を身につけプレゼンテーションスキルを上げる。 （3）Wordの基本的な使い方を身につける。						
評価方法と基準	1．レポート提出（%）：50% 2．筆記課題（%）：50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	【PowerPoint】PPの基本仕様、Word、Excelとの互換性を理解する	スライド3枚で自分のお気に入り紹介資料を作成する。
2	演習	【PowerPoint】スライドマスタを理解し、用途に合ったスタイルを使用することが出来る	スライドマスタを理解して、マスタを5種類作る。
3	演習	【PowerPoint】挿入出来る種類の図と挿入方法を理解して、プロフィールシートを作成する	授業内で作ったプロフィールシート以外で1種類作る。
4	演習	【PowerPoint】プレゼンテーション資料の作成：スライドを理解し、設定出来るようになる	これまで作成した資料をスライド設定させる。
5	演習	【PowerPoint】プレゼンテーション資料の作成：アニメーションを理解し、効果的に設定できるようになる	これまで作成した資料にアニメーションを加える。
6	演習	【Excel】作業工程表の作成が出来るようになる	授業内課題に取りかかるにあたり作業行程表を作成する。
7	演習	【Word】段組、文字の回り込みを理解し、プレゼンテーション原稿を作成する	Wordの基本的な仕組みを復習することを目的に新聞を作成する。
8	実習	これまで学んだ総まとめとしてプレゼンテーション資料（原稿・アニメーション付）を作成する	次回プレゼンテーション発表が出来るように練習しておく。
9	実習	PC設定も自身で行い、プレゼンテーションを発表する	他人の発表を見てどのパワーポイントが効果的に伝わったかを考察し800字以内で提出。
10	演習	PowerPointとExcel・Word全てのソフトを使用し自己紹介を行うための資料を作成する。	次回の発表に向けて準備を行う。
11	実習	PowerPointとExcel・Word全てのソフトを使用し自己紹介の発表を行う。	他人の発表を見てどの資料が効果的に伝わったかを考察し800字以内で提出。
12	演習	【PowerPoint】進級制作展を校内宣伝するための資料を作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内放送してもらう。
13	演習	【PowerPoint】卒業制作展を校内宣伝するための資料を作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内放送してもらう。
14	実習	【PowerPoint】進級制作展で使用するサイン・チケットのデザインを作成する。	作成したデザインを本番日に使用する
15	実習	【PowerPoint】卒業制作展で使用するサイン・チケットのデザインを作成する。	作成したデザインを本番日に使用する
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

インターネット＆ホームページ

科目名	舞台知識1(A)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	江見　千尋
学科・コース	【音楽テクノロジー科】PAエンジニアコース・照明ライティングコース・舞台制作&ステージデザイナー	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	イベンターとして仕事をスタートし、その後　舞台監督、舞台照明などの業務に携わる。実務歴33年。						
授業の学習内容	劇場や舞台の機構、使用する物の名称や使い方、仕事の段取りなど舞台の仕事を行っていく上で必要と思われる基本的な知識を身につける。						
到達目標	学生は、舞台を制作していく上で必要な基本的事柄を学習し身につけることで実際の現場に入っても他のスタッフとコミュニケーションを円滑に行いスムーズな業務を遂行できるようになる。						
評価方法と基準	レポート課題提出30% 筆記による舞台知識を測る期末試験の得点で 評価　70%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台用語を習得する。	習った舞台用語を復習し、覚える。
2	講義	劇場/舞台という空間についての知識を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
3	講義	劇場やホールの種類と形状を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
4	講義	搬入・搬出方法を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
5	講義	吊りものの種類を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
6	講義	吊り方の理論を習得する。	舞台平面図にバトン位置を記入する
7	講義	照明卓の操作方法を習得する。	舞台断面図に照明バトンを記入する
8	講義	幕の吊りものの種類を取得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
9	講義	幕の吊り方・照明のシュートの作業方法を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
10	講義	緞帳の操作方法を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
11	講義	舞台道具（箱馬・平台）の説明や使い方を習得する。	平台、箱馬などを図面化する
12	講義	舞台道具（トラス・バトン）の説明や使い方を習得する。	本日の授業を基に出された課題を提出する。
13	講義	「明日への扉」を題材に舞台機構を学ぶ①	本日の授業を基に出された課題を提出する。
14	講義	「明日への扉」を題材に舞台機構を学ぶ①	本日の授業を基に出された課題を提出する。
15	講義	筆記復習テスト	試験にて出来なかった部分を復習する。
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】
「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック

科目名	舞台知識1(B)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	江見　千尋
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ&ミュージシャンコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	イベンターとして仕事をスタートし、その後　舞台監督、舞台照明などの業務に携わる。実務歴33年。						
授業の学習内容	劇場や舞台の機構、使用する物の名称や使い方、仕事の段取りなど舞台の仕事を行っていく上で必要と思われる基本的な知識を身につける。						
到達目標	学生は、舞台を制作していく上で必要な基本的事柄を学習し身につけることで実際の現場に入っても他のスタッフとコミュニケーションを円滑に行いスムーズな業務を遂行できるようになる。						
評価方法と基準	レポート課題提出30% 筆記による舞台知識を測る期末試験の得点で 評価　70%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台用語を習得する	習った舞台用語を復習し、覚える。
2	講義	劇場/舞台という空間についての知識を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
3	講義	劇場やホールの種類と形状を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
4	講義	搬入・搬出方法を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
5	講義	吊りものの種類を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
6	講義	吊り方を習得する	舞台平面図にバトン位置を記入する
7	講義	照明卓の操作方法を習得する	舞台断面図に照明バトンを記入する
8	講義	幕の吊りものの種類を取得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
9	講義	幕の吊り方・照明のシュートの作業方法を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
10	講義	緞帳の操作方法を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
11	講義	舞台道具（箱馬・平台）の説明や使い方を習得する	平台、箱馬などを図面化する
12	講義	舞台道具（トラス・バトン）の説明や使い方を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
13	講義	「明日への扉」運営・制作スタッフとして参加し、舞台を創る	本日の授業を基に出された課題を提出する。
14	講義	「明日への扉」運営・制作スタッフとして参加し、舞台を創る	本日の授業を基に出された課題を提出する。
15	講義	筆記復習テスト	試験にて出来なかった部分を復習する。
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】
「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック

科目名	舞台知識2(A)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	江見　千尋
学科・コース	【音楽テクノロジー科】PAエンジニアコース・照明ライティングコース・舞台制作＆ステージデザイナー	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	イベンターとして仕事をスタートし、その後　舞台監督、舞台照明などの業務に携わる。実務歴33年。						
授業の学習内容	運営・制作以外の裏方の仕事の段取りなど舞台の仕事を行っていく上で必要と思われる基本的な知識を身につける。						
到達目標	舞台を制作していく上で必要な基本的事柄を学習し身につけることで実際の現場に入っても他のスタッフとコミュニケーションを円滑に行いスムーズな業務を遂行できるようになる。						
評価方法と基準	舞台知識を問う課題提出 30% 知識を活かし、進級制作展への積極的な参加により、コミュニケーションを図り仕事が円滑に出来たかを演習を通して評価　70%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台装置の種類と効果を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
2	講義	舞台美術で使用する道具について習得する	教室の平面図を作成する
3	講義	舞台の空間認識について習得する	舞台美術を自分自身でプランする
4	講義	舞台の寸法・縮尺の知識について習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
5	講義	舞台で使用する図の解釈と使用方法を習得する	教室の平面図を作成する
6	講義	舞台の流れ（段取り・音響の流れに関して）を習得する	PAエンジニアコースから「明日への扉」時の流れを聞きれポートにて提出
7	講義	音響が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
8	講義	舞台の流れ（段取り・照明の流れに関して）	照明スタッフコースから「明日への扉」時の流れを聞きれポートにて提出
9	講義	照明が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
10	講義	舞台の流れ（段取り・舞台監督の流れに関して）	舞台制作スタッフコースから「明日への扉」時の流れを聞きれポートにて提出
11	講義	舞台監督が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
12	講義	筆記復習テスト	試験にて出来なかった部分を復習する。
13	講義	進級制作展で使用する実際の図面や資料を見て流れを舞台の流れを習	進級制作展の図面資料を元にレポートの作成。
14	講義	進級制作展の舞台機構を学ぶ①	本日の授業を基に出された課題を提出する。
15	講義	進級制作展の舞台機構を学ぶ②	本日の授業を基に出された課題を提出する。
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック

科目名	舞台知識2(B)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	江見　千尋
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ&ミュージシャンコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	イベンターとして仕事をスタートし、その後　舞台監督、舞台照明などの業務に携わる。実務歴33年。						
授業の学習内容	運営・制作以外の裏方の仕事の段取りなど舞台の仕事を行っていく上で必要と思われる基本的な知識を身につける。						
到達目標	舞台を制作していく上で必要な基本的事柄を学習し身につけることで実際の現場に入っても他のスタッフとコミュニケーションを円滑に行いスムーズな業務を遂行できるようになる。						
評価方法と基準	舞台知識を問う課題提出 30% 知識を活かし、進級制作展への積極的な参加により、コミュニケーションを図り仕事が円滑に出来たかを演習を通して評価　70%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台装置の種類と効果を習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
2	講義	舞台美術で使用する道具について習得する	教室の平面図を作成する
3	講義	舞台の空間認識について習得する	舞台美術を自分自身でプランする
4	講義	舞台の寸法・縮尺の知識について習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
5	講義	舞台で使用する図の解釈と使用方法を習得する	教室の平面図を作成する
6	講義	舞台の流れ（段取り・音響の流れに関して）を習得する	PAエンジニアコースから「明日への扉」時の流れを聞きれポートにて提出
7	講義	音響が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
8	講義	舞台の流れ（段取り・照明の流れに関して）	照明スタッフコースから「明日への扉」時の流れを聞きれポートにて提出
9	講義	照明が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
10	講義	舞台の流れ（段取り・舞台監督の流れに関して）	舞台制作スタッフコースから「明日への扉」時の流れを聞きれポートにて提出
11	講義	舞台監督が実際に使う機材を時間の流れに沿って習得する	本日の授業を基に出された課題を提出する。
12	講義	筆記復習テスト	試験にて出来なかった部分を復習する。
13	講義	進級制作展で使用する実際の図面や資料を見て流れを舞台の流れを習得する。	進級制作展の図面資料を元にレポートの作成。
14	講義	進級制作展の舞台機構を学ぶ①	本日の授業を基に出された課題を提出する。
15	講義	進級制作展の舞台機構を学ぶ②	本日の授業を基に出された課題を提出する。
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック

科目名	ミュージックセオリー(A)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	高橋　亜佑美
学科・コース	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース・照明ライティングコース・舞台制作＆ステージデザイナー	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽理論の基礎を学ぶ						
到達目標	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について分かり易く解説するとともに、実際に楽譜が読めるように訓練する。そして現場で即戦力とされる人材を育成する。						
評価方法と基準	出席点100点満点と期末試験100点満点の合計を2分割し、60点以上を合格とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への楽譜の移り変わりを知る　楽器ごとの音域を知る
2	講義	音名	五線に書かれた音符の音名を答え、鍵盤の位置と一致させる
3	講義	音符、休符	音符、休符の表し方が分かる　連符について知る
4	講義	拍子、複合拍子	小節線　単純拍子、複合・混合拍子　タイ、シンコペーションを理解する
5	講義	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を追えるようにする
6	講義	スコアリーディング	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
7	講義	中間テスト	
8	講義	メイジャースケール	メイジャースケールの仕組みを理解する（♯系メイジャースケール）
9	講義	メイジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする　（♭系メイジャースケール）
10	講義	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の違いが分かる　臨時記号の効力　正しい楽譜の書き方を知る
11	講義	テンポ、強弱記号	速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ
12	講義	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13	講義	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14	講義	期末テスト	総復習をし、理解度を高める
15	講義	テスト返却、復習	楽譜を見てKeyや雰囲気をつかむことができるようにする
準備学習　時間外学習		前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	

【使用教科書・教材・参考書】ゼロから始める音楽理論」、「ゼロから始める音楽理論　ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)　株式会社滋慶教育事業部

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	イヤートレーニング(A)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	高橋　亜佑美
学科・コース	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース・照明ライティングコース・舞台制作＆ステージデザイナー	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法と基準	出席点100点満点と期末試験100点満点の合計を2分割し、60点以上を合格とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	音の歴史、モールス信号、周波数、効果音について知る　リズム打ち・書き取り方について知る　音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする
2	講義	4分音符、4分休符のリズム打ち　3拍子と4拍子のビート感覚を養う　2線紙を使って音の高低判定　2度音程を歌い音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
3	講義	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り　3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
4	講義	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り　音程（全音と半音の区別）	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5	講義	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り　新曲視唱　音程（1.2.3.8度、♯♭なし）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6	講義	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り　新曲視唱ができる　音程（1.2.3.8度　♯♭あり）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7	講義	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	講義	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱　音程（4.5度♯♭なし）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
9	講義	8分休符（裏打ち）のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱　音程（1～5度8度、♯♭あり）トライトーン	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
10	講義	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱　音程（1～5度、8、6度）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
11	講義	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱　音程（1～8度）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
12	講義	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major,minorのコード判定、音程（1～8度）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
13	講義	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
14	講義	期末テスト	総復習をし、理解度を高める
15	講義	テスト返却、総復習	総復習をし、理解度を高める
準備学習　時間外学習		前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	

【使用教科書・教材・参考書】
「イヤートレーニング」喜多弘悦（著）　滋慶教育科学研究所（監修）　株式会社国際教育センターCOM音楽出版（発行）　株式会社滋慶教育事業部(発売)

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	ミュージックセオリー(B)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	高橋　亜佑美
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ&ミュージシャンコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽理論の基礎を学ぶ						
到達目標	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について分かり易く解説するとともに、実際に楽譜が読めるように訓練する。そして現場で即戦力とされる人材を育成する。						
評価方法と基準	出席点100点満点と期末試験100点満点の合計を2分割し、60点以上を合格とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への楽譜の移り変わりを知る　楽器ごとの音域を知る
2	講義	音名	五線に書かれた音符の音名を答え、鍵盤の位置と一致させる
3	講義	音符、休符	音符、休符の表し方が分かる　連符について知る
4	講義	拍子、複合拍子	小節線　単純拍子、複合・混合拍子　タイ、シンコペーションを理解する
5	講義	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を追えるようにする
6	講義	スコアリーディング	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
7	講義	中間テスト	
8	講義	メイジャースケール	メイジャースケールの仕組みを理解する （♯系メイジャースケール）
9	講義	メイジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする （♭系メイジャースケール）
10	講義	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の違いが分かる　臨時記号の効力　正しい楽譜の書き方を知る
11	講義	テンポ、強弱記号	速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ
12	講義	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13	講義	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14	講義	期末テスト	総復習をし、理解度を高める
15	講義	テスト返却、復習	楽譜を見てKeyや雰囲気をつかむことができるようにする
準備学習　時間外学習		前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	

【使用教科書・教材・参考書】ゼロから始める音楽理論」、「ゼロから始める音楽理論　ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)　株式会社滋慶教育事業部

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	イヤートレーニング(B)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	高橋　亜佑美
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ&ミュージシャンコース	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法と基準	出席点100点満点と期末試験100点満点の合計を2分割し、60点以上を合格とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	音の歴史、モールス信号、周波数、効果音について知る　リズム打ち・書き取り方について知る　音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする
2	講義	4分音符、4分休符のリズム打ち　3拍子と4拍子のビート感覚を養う　2線紙を使って音の高低判定　2度音程を歌い音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
3	講義	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り　3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
4	講義	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り　音程（全音と半音の区別）	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5	講義	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り　新曲視唱　音程（1.2.3.8度、♯♭なし）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6	講義	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り　新曲視唱ができる　音程（1.2.3.8度　♯♭あり）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7	講義	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	講義	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱　音程（4.5度♯♭なし）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
9	講義	8分休符（裏打ち）のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱　音程（1～5度8度、♯♭あり）トライトーン	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
10	講義	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱　音程（1～5度、8、6度）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
11	講義	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱　音程（1～8度）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
12	講義	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major,minorのコード判定、音程（1～8度）	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
13	講義	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
14	講義	期末テスト	総復習をし、理解度を高める
15	講義	テスト返却、総復習	総復習をし、理解度を高める
準備学習　時間外学習		前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	

【使用教科書・教材・参考書】
「イヤートレーニング」喜多弘悦（著）　滋慶教育科学研究所（監修）　株式会社国際教育センターCOM音楽出版（発行）　株式会社滋慶教育事業部(発売)

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	PCスキルアップ3	必修選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤　淳
学科・コース	【音楽テクノロジー科】PAエンジニアコース・照明ライティングコース・舞台制作＆ステージデザイナー	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務。実務歴26年。						
授業の学習内容	現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、特にテクニカルのセクションにおけるエンターティメント業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように進めていきます。Excel・Illustrator・Photoshopの基本的な使い方を身につけ、即戦力を目指します。						
到達目標	一年次に習得した「PCスキルアップⅠ・Ⅲ」「DTP」の復習とともに新たに以下の３点を身につける。 （1）Adobe Premiere proの基本的な使い方を習得する。 （2）Adobe Photoshopの応用方法を習得する。 （3）Adobe Illustratorの応用方法を習得する。						
評価方法と基準	1．実技試験（%）：50% 2．.課題（%）：50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	WindowsとMacの違いを理解し、ショートカットキーを習得する。	キーボード配列を覚える。ショートカットを覚える。
2	講義	ITリテラシーを理解し、ビジネスにおけるWebメールの送り方を習得する。	ITリテラシー理解度テストを行う。
3	講義	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの横軸の作成を課題に用紙の設定を習得する。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。
4	講義	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの横軸の作成を課題にフォントとサイズの設定を習得する。	身近な印刷物で文字の大きさなどを理解することが出来るよう提示された課題をやる
5	講義	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの横軸の作成を課題に印刷の設定を習得する。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。
6	講義	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの縦軸が作成出来るようになる。	授業内課題を30分以内で作れることを目標に提示した課題の表を作成する。
7	講義	【Excel】図形描画／イベントシートが作成出来るようになる。	造形描画の種類と使いかたを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
8	講義	【Excel】図形描画／ステージの簡易的な図面が作成出来るようになる。	造形描画の種類と使いかたを覚えることを目標に提示した課題の図形を作成する。
9	講義	【Excel】図形描画／ステージの簡易的な図面が作成出来るようになる。	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した図面を作成する。
10	講義	【Excel】表と計算式／動員集計表を理解する。	計算式の仕組みを覚えることを目標に提示した課題の表を作成する。
11	講義	【Illustrator】基本知識と機能を理解し、等級表を作成する	基礎の仕組みを覚え、慣れておくことを目標に提示した課題の表を作成する。
12	講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、表示・オブジェクト・テキスト入力を理解する	名刺に関するビジネスマナー（渡し方やおじぎ・挨拶等）を調べて資料として提出。
13	講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、レイヤー・レイアウトを理解する	次回の授業に備え名刺作成時に使用するレイヤー・レイアウトを考査し決めておく。
14	講義	【Excel】「明日への扉」タイムテーブル・進行表を作成出来るようになる。	講義内容を元に資料の作成
15	講義	【Excel】復習テスト「明日への扉」ステージ図・セット図を作成する。	講義内容を元に資料の作成
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

必要に応じてプリント配布。ITリテラシー、COMポータル

科目名	音楽史(洋楽)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	西田　剛
学科・コース	音楽ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ科・PAｴﾝｼﾞﾆｱ、照明ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ、舞台制作＆ｽﾃｰｼﾞﾃﾞｻﾞｲﾅｰｺｰｽ	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 2		

教員の略歴	2002年TSM渋谷創立時より17年、音楽史授業担当。ギタリスト、作曲家、ナレーターとしての実務歴37年。
授業の学習内容	この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、ポップ・ロックミュージックの起こりから現代まで、その発達の歴史を深く学びます。 その歴史や文化に触れ、グローバルな視点でアメリカ・イギリス中心とした英語圏におけるポピュラー音楽の位置づけを概観することができる。
到達目標	時代の流れに沿った、ロック・ポップスの発達を深く知ることで、自分たちの作り出す音楽と、ロック・ポップスの歴史・進化を結び付け評価することができる。
評価方法と基準	期末テスト 70% レポート課題提出 30%

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	ロックミュージックのルーツを学ぶ。	ポピュラー音楽を学ぶ事＝アメリカの黒人音楽を知る～授業目的の確認 どのように学ぶのか？　授業の進め方（IT資料、音源、DVD、実演）の確認 オールディーズ資料としてアメリカングラフィティ考察
2	講義	20世紀初期のポピュラーミュージックの歴史を学ぶ	最も売れたアーチストランキング　ビートルズ、プレスリー、マイケル、マドンナ、ツェッペリンの共通点アメリカの黒人音楽を世界に広めたパフォーマー。ブルースの特徴（コード進行、12小節）をクロスロード（ロバートジョンソン、エリッククラプトン）考察しパターンと音階を理解する。
3	講義	ロックンロールの誕生とは、	プレスリー　チャックベリー　リトルリチャードの考察中心に時代背景を交えて、アメリカ黒人音楽であるR&Rを学ぶ。また、自分のアタマで考えることを教える　例えばメンフィスは黒人が多く住んでたと思うか？など。
4	講義	フォークミュージックの再燃と公民権運動を学ぶ	ボブディランを中心にフォークソングを考察　代表曲：風に吹かれて　の歌詞の内容を時代背景とともに理解する。また、時代は異なるが、イマジン：ジョンレノン　の歌詞の本質を学ぶ。
5	講義	イギリス・ポップミュージックの台頭	ビートルズ～　イギリスアーチストのアメリカ市場への侵攻 ベビーブーム世代　当時の若者の考え方を知る。
6	講義	フラワームーヴメントとは、	フラワームーブメント、 ヒッピー、LOVE&PEACE、公民権運動、ベトナム戦争を、音楽に込められた若者のメッセージとともに説明できるようにする。
7	小テスト　講義	前半講義のポイント整理	R&Rの誕生からウッドストックまでの流れを、しっかりと理解する。
8	講義	パンクロック。ニューウエイブとは、	ロンドンパンク（セックスピストルズ、マルコム・マクラーレン、ヴィヴィアン・ウエストウッド）～ニューウエイブの流れ　と70年代のポピュラー音楽の大きな流れ（ハードロック、ファンク、レゲエ、AORなどのジャンルの確立）を対比させることができる。
9	講義	MTVの時代を学ぶ	80年代MTV　80年代ビルボードTOP10　マイケルジャクソン「スリラー」考察 MTVのスタートによりプロモーションのあり方自体に大きな変革をもたらしたこと　シンセサイザーの発達 女性アーチストの躍進にも注目する。
10	講義	ヒップホップの誕生を学ぶ	ディスコ　ダンスクラシック（サタデーナイトフィーヴァーなど）の傾向を踏まえて、ヒップホップとの関連 ヒップホップの始まり（ラップ、ブレイクダンス、グラフィティ）を検証 その他、オールジャンルから超一流のアーチストが集結した「We Are The World」を考察
11	講義	21世紀の始まりを学ぶ	今世紀に入ってからのポピュラー音楽の傾向を理解する 新たなメディア（Youtube）との向き合い方を各自で考える。
12	テスト　講義	復習テスト	答えられなかった箇所を明確にする。
13	講義	進級制作展の課題曲について考察する。	課題曲についてWEB閲覧により調べ、レポートを作成。
14	講義	We are TSM渋谷の課題曲について考察する。	課題曲についてWEB閲覧により調べ、レポートを作成。
15	講義	講義内容の振り返り	時代の流れに沿った、ロック・ポップスの発達を深く知ることと、自分たちが未来に向けて発信してゆく音楽を深いレベルで考えることができる。
準備学習　時間外学習		授業内容について復習し、レポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	イベント制作運営演習1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤　淳 江見　千尋
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ＆ミュージシャンコース	授業形態	演習	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	唐澤：アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務　江見：イベンターとして仕事をスタートし、その後　舞台監督、舞台照明などの業務に携わる						
授業の学習内容	江戸川文化センターで行われる骨髄移植推進キャンペーンニュージカル「明日への扉」の公演を教材にイベントスタッフとして必要な運営・制作の知識を実践的に学ぶ。 実践で行うことにより、舞台を創る流れや細かな段取りを学びながら業界に必要な人材として成長していく。						
到達目標	運営・制作の流れが理解出来る。 公演の際にスタッフの一員として参加出来る。						
評価方法と基準	授業の中でのレポート提出　30% 「明日への扉」に関しての積極的な発言や態度。関わりや、本番日の行動力、スタッフの一員として成り立っているか。それぞれに与えられた担当のなかで仕事を全うしているかを評価　70%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	「明日への扉」の内容について触れ、本公演を開催する意義を理解する	骨髄移植を推進するプロモーションをレポート用紙にて提出する
2	演習	運営のセクションの流れと段取りを学ぶ	運営とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
3	演習	制作のセクションの流れと段取りを学ぶ	制作とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
4	演習	その他のセクション（PA・照明・舞台・衣装管理・メイク）の流れと段取りを学ぶ	昨年のマニュアルを参考に関わり時期を調べておく
5	演習	運営スタッフ・制作スタッフ共通して使用する機材や備品の使い方について学ぶ	昨年のマニュアルを参考に実際に使用していた時期を調べておく
6	演習	各希望セクションに分かれ、運営：公演概要と運営方法を学ぶ　制作：稽古スケジュールを基に稽古期間の流れや	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
7	演習	運営：チケット発売方法と管理方法を学ぶ　制作：台本の使い方を学ぶ・稽古会場の仕込みを学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
8	演習	運営：協賛の必要性を学び協力をお願いする　制作：制作スケジュールの作成・各セクション香盤表を作成	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
9	演習	運営：ホールRHに伴う会場下見、必要備品の準備・調達　制作：ホールRHに伴う会場下見・使用会場の申請・楽屋	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
10	演習	運営：運営方法を学びマニュアルを作成する　制作：搬入・搬出方法を学ぶ・機材管理を学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
11	演習	運営：運営マニュアル読み合わせ　制作：各セクションへの伝達事項を学び実践する	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
12	演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む
13	演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む
14	演習	運営・制作共に終了報告書の作成方法を学び、作成する	授業に引き続き作成し提出
15	演習	各セクションごとに終了報告会を開催する	実践的に各セクションに取り組む
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度「明日への扉」公演マニュアル・概要書・終了報告書・今年度「明日への扉」台本

科目名	イベント制作運営演習2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤　淳 江見　千尋
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ&ミュージシャンコース	授業形態	演習	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	唐澤：アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務　江見：イベンターとして仕事をスタートし、その後　舞台監督、舞台照明などの業務に携わる						
授業の学習内容	ZEPPTOKYOで行われる卒業・進級制作展weareTSM！TSM渋谷！DA TOKYO！の公演を教材にイベントスタッフとして必要な運営・制作の知識を実践的に学ぶ。 実践で行うことにより、コンサートを創る流れや細かな段取りを学びながら業界に必要な人材として成長していく。						
到達目標	運営・制作の流れが理解出来る。 公演の際にスタッフの一員として参加出来る。						
評価方法と基準	授業の中でのレポート提出　30% 「明日への扉」に関しての積極的な発言や態度。関わりや、本番日の行動力、スタッフの一員として成り立っているか。それぞれに与えられた担当のなかで仕事を全うしているかを評価　70%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	卒業・進級制作展の内容について触れ、本公演を開催する意義を理解する	コンセプトの元公演演出の考案レポートを提出
2	演習	運営のセクションの流れと段取りを学ぶ	運営とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
3	演習	制作のセクションの流れと段取りを学ぶ	制作とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
4	演習	その他のセクション（PA・照明・舞台・衣装管理・メイク）の流れと段取りを学ぶ	昨年のマニュアルを参考に関わり時期を調べておく
5	演習	運営スタッフ・制作スタッフ共通して使用する機材や備品の使い方について学ぶ	昨年のマニュアルを参考に実際に使用していた時期を調べておく
6	演習	各希望セクションに分かれ、運営：公演概要とコンセプト内容を学ぶ　制作：公演の流れを理解し稽古スケジュールを組む	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
7	演習	運営：座席管理方法を学ぶ　制作：公演演出の流れを理解し機材の管理を行う	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
8	演習	運営：運営マニュアルの作成方法を学び作成する　制作：制作スケジュールの作成・各セクション香盤表を作成	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
9	演習	運営：ホールRHに伴う会場下見、必要備品の準備・調達　制作：ホールRHに伴う会場下見・使用会場の申請・楽屋振り分け	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
10	演習	運営：運営方法を学び作成する　制作：搬入・搬出方法を学ぶ・機材管理を学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
11	演習	運営：運営マニュアルの読み合わせ　制作：各セクションへの伝達事項を学び実践する	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
12	演習	卒業・進級制作展運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む
13	演習	卒業・進級制作展運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む
14	演習	運営・制作共に終了報告書の作成方法を学び、作成する	授業に引き続き作成し提出
15	演習	各セクションごとに終了報告会を開催する	実践的に各セクションに取り組む
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度「明日への扉」公演マニュアル・概要書・終了報告書・今年度「明日への扉」台本

科目名	DTP1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤　淳
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ&ミュージシャンコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務						
授業の学習内容	現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンターテイメント業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めていきます。パソコンの理解度の向上とソフトウェアのスキルの向上を目的に、現場で役立つことに特化して学んでいきます。						
到達目標	以下の３点が達成出来るようになることを目標としている。 （1）Adobe Illustratorの基本的な使い方 （2）DTPの基本的な解釈と留意点 （3）デザイン的な創作の解釈と留意点						
評価方法と基準	1．データーレポート提出（%）：50% 2．.授業内課題（%）：50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	【Illustrator】基本知識と機能を理解し、等級表を作成する	基礎の仕組みを覚え、慣れておくことを目標に提示した課題の表を作成する。
2	講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、表示・オブジェクト・テキスト入力を理解する	名刺に関するビジネスマナー（渡し方やおじぎ・挨拶等）を調べて資料として提出。
3	講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、レイヤー・レイアウトを理解する	次回の授業に備え名刺作成時に使用するレイヤー・レイアウトを考査し決めておく。
4	講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、数値を入力しての正確な移動を理解する	使い方の復習を目標に提示した課題を作成する。
5	講義	【Illustrator】名刺作成を課題に、印刷設定を理解する	授業内で作ったもの以外に数種類作成し提出する。
6	講義	【Illustrator】オブジェクトを使ったイラスト作成を課題に、ベジェ曲線を理解する	授業で取り組んだ同様の課題を提示し、30分以内で作成出来るようになる。
7	講義	【Illustrator】図面作成を課題にパスツールを理解する	パスの仕組みを復習し、理解することを目標に提示した課題の表を作成する。
8	講義	【Illustrator】図面を作成する	授業内課題を60分以内で作れるようにすることを目標に提示した図面を作成する。
9	講義	【Illustrator】ロゴマークの作成を課題に、文字のアウトライン化・クリッピングマスクを理解する	フォント毎にアウトライン化された場合のオブジェクトを確認して修正する。
10	講義	【Illustrator】ロゴマークの作成を課題に、画像の配置・ライブトレースを理解する。	スキャンしたデータを読み込み、手書きの文字をライブトレースして提出。
11	講義	【Illustrator】これまで学習したスキルを使って地図を作成する。	授業内課題を45分以内で作れるようにすることを目標に提示した課題の表を作成する。
12	講義	【Illustrator】フライヤーの作成を課題にパス内文字ツールを理解する。	授業内容を基に様々な文字の入力方法で入力し、データを提出する。
13	講義	【Illustrator】フライヤーの作成を課題にエフェクト効果を理解する。	エフェクト効果を使った作品を作成し提出する。
14	講義	【Illustrator】「明日への扉」校内宣伝に使用するフライヤーを作成する。	作成したもので実際に校内宣伝を行う。
15	講義	【Illustrator】「明日への扉」ロビー内に展示するポスターを作成する。	作成したものを掲示し来場者の反応からどんな作品が効果的か考察する。
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

Photoshop ver.CS6・Illustrator ver.CS6

科目名	DTP2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤　淳
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ&ミュージシャンコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務						
授業の学習内容	現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンターテイメント業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めていきます。パソコンの理解度の向上とソフトウェアのスキルの向上を目的に、現場で役立つことに特化して学んでいきます。						
到達目標	以下の３点が達成出来るようになることを目標としている。 （1）Adobe Illustratorの基本的な使い方 （2）DTPの基本的な解釈と留意点 （3）デザイン的な創作の解釈と留意点						
評価方法と基準	1．データーレポート提出（%）：50% 2．.授業内課題（%）：50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	【Photoshop】基本知識・レイヤー・デバイスからの取り込みを覚える	作品制作に向けての構想を練り、デザイン案を作成する。
2	講義	作品制作に合う写真素材を定めた画素数や形式を基に撮影する	作品制作課題に向けてフォトロケーションを調べて提出する。
3	講義	【Photoshop】画像解像度を理解する	画像解像度を理解し、1つの写真から72dpiのデータと350dpiのデータを作成し提出。
4	講義	【Photoshop】保存形式を理解する	保存形式によっての特徴を理解するためjpg/gif/pngで保存した画像をそれぞれ提出する。
5	講義	【Photoshop】色調補正・カラーモード・レタッチを理解する	自分で撮影した写真を使って授業内で覚えたトリミングを駆使し作品を提出する。
6	講義	【Photoshop】レタッチを理解する	本日の授業を理解した上で「雪が降っている画像」と「湯気が出ている画像」を作成し提出する。
7	講義	【Photoshop】切り抜きと合成を理解する	切り抜きのクオリティーを高めるために提示された課題を提出する。
8	講義	【Photoshop】作品（フライヤー）制作に取り組む	作品制作に向けての構想を練り、デザイン案を提出する。
9	講義	【Photoshop】作品（フライヤー）制作に取り組む	制作を進めて提出する。
10	講義	＜課題試験＞これまで習得した知識・技術を駆使し、ポストカードを制作する	作品制作に向けての構想を練り、デザイン案を作成する。
11	講義	＜課題試験＞これまで習得した知識・技術を駆使し、ポストカードを制作する	制作を進めて提出する。
12	講義	進級制作展を校内宣伝するためのフライヤーを作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内に設置してもらう。
13	講義	卒業制作展を校内宣伝するためのフライヤーを作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内に設置してもらう。
14	講義	進級制作展で使用するサイン・チケットのデザインを作成する。	作成したデザインを本番日に使用する。
15	講義	卒業制作展で使用するサイン・チケットのデザインを作成する。	作成したデザインを本番日に使用する。
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

Photoshop ver.CS6・Illustrator ver.CS6

科目名	チーム制作プロジェクトA （チーム制作プロジェクト1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	高田　雄貴
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ＆ミュージシャンコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる						
授業の学習内容	[1] ライブイベントの企画制作についての基礎知識を学習する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント（コンサート/ライブ他）企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要な業務を体験学習する						
到達目標	[1] ライブイベントの企画制作を依頼されても対応できる基礎知識を習得する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント（コンサート/ライブ他）企画の実施時における様々な事象の対応力を習得する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要なレベルの実務力を習得する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験（評価割合　40%） [2] 受講態度 ※課題提出（評価割合　60%）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	プロジェクトの進め方の概要説明	プロフィールシートの作成
2	演習	ライブイベント実施に向けて（打合せ）を学ぶ	打合せ準備資料の作成
3	演習	ライブイベント実施[CIVILIAN]現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
4	演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]1st現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
5	演習	ライブイベント実施[Aoyama Project]1st・[QUEENS]1st現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
6	演習	ライブイベントを記録する（映像収録とWEB）の制作を学ぶ	ライブ映像の編集処理
7	演習	各ライブイベント実施に向けて（打合せ）を学ぶ	運営マニュアルの作成
8	演習	各ライブイベント実施に向けて（打合せ）を学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
9	演習	ライブイベント実施[SUN MUSIC GET LIVE]1st現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
10	演習	ライブイベント実施[QUEENS]2nd現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
11	演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]2nd現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
12	演習	ライブイベント実施[SUN MUSIC GET LIVE]2nd現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
13	演習	ライブイベント実施[Pro Musician FES!]現場での動きを学ぶ	運営マニュアルの作成・読み合わせ
14	演習	オーディションイベント実施[コロムビア・オーディション]現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
15	演習	オーディションイベント実施[コロムビア・オーディション]現場での動きを学ぶ	ライブ映像の編集処理
準備学習　時間外学習		授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度実績の概要書・終了報告書参照

科目名	チーム制作プロジェクトA （チーム制作プロジェクト2）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岡　秀樹
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ&ミュージシャンコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	ライブハウス店長・ブッキングマネージャー、アーティストマネージャー						
授業の学習内容	エンターティメントの発信地である「渋谷」を拠点に活動しているライブハウスや音楽施設を知り、企業とプロジェクトを組み、生きたイベント企画・制作・運営・プロモーションを学ぶ。即戦力になる人材育成に向け実践力を身につける。						
到達目標	精度の高い企画書、実施要項、運営マニュアル、プロモーションプランを学生主体で作成できるようにする。イベント企画では、「独創的な企画を提案できる」こと、制作では「人・もの・お金・時間を管理」できること、運営では「進行を管理することができ、安心・安全な運営を円滑に行う」ことができること、プロモーションでは「既成概念に捉われること無く、自分たちに何ができるかを徹底的に追求し、時代に沿ったプロモーションを提案し実行」することを目標とする。						
評価方法と基準	授業内での積極的な発言や態度、プレゼンテーションの出来具合を評価　30% イベント本番日の行動力、企画制作、運営の技術、知識を振り返りシートにて評価　40% メール等のレスポンスの速さ、丁寧さ、プロモーション実行具合を評価30%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	新年度オリエンテーションの実施 (アイスブレイク、ブレインストーミング、映像鑑賞を終えての討論)	クラスでのコミュニケーションの振り返り
2	演習	コンサートの企画・制作・運営の考え方を学び、2年生が運営・制作を行う新入生歓迎ライブを見学する。	新入生歓迎ライブ出演者プロフィール把握、ステージセット把握
3	演習	エンターティメント施設取材①(企画書作成/渋谷施設調べ/アポどりシミュレーション)	渋谷にあるエンターテインメント施設を調べる
4	演習	エンターティメント施設取材②(アポどり/電話・メール・名刺交換シミュレーション)	希望する取材場所の施設の研究
5	演習	エンターティメント施設取材③(取材内容、取材方法を検討)	各自インタビュー記事の研究
6	演習	エンターティメント施設取材④(プレゼンテーション準備/パワーポイント作成/進行表作成/発表シミュレーション)	発表パワーポイント・発表進行表の作成
7	演習	エンターティメント施設取材⑤(プレゼンテーション実施/報告書の作成)	班員にて発表シミュレーション
8	演習	企業プロジェクト①(プロジェクト内容の説明・企業を紹介・担当者自己紹介)	エンターティメント取材報告書完成・提出
9	演習	企業プロジェクト②(企業理念理解/ディスカッション/スケジュール作成)	企業研究(歴史、理念、業務内容)
10	演習	企業プロジェクト③(プロジェクト企画書：プロモーションプランの作成)	ディスカッションした内容を元に企画書・プロモーションリスト作成
11	演習	企業プロジェクト④(プロモーションの実践/運営マニュアルの作成)	プロモーションスケジュール作成、運営マニュアルラフ作成
12	演習	企業プロジェクト⑤(☑イベント当日の運営・制作を実践)☐	運営マニュアルの読み合わせ
13	演習	企業プロジェクト⑥(全体報告会/報告書の作成)	報告会で発表する内容まとめ
14	演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を行う。	運営マニュアル作成・各セクション決め
15	演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を行う。	運営マニュアル読み合わせ
準備学習　時間外学習		各イベントや課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

DVD：MY GENERATION マイ・ジェネレーション(監督：バーバラ・コップ)

科目名	チーム制作プロジェクトB （チーム制作プロジェクト3）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	高田　雄貴
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ＆ミュージシャンコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョード一東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる						
授業の学習内容	[1] ライブイベントの企画制作についての基礎知識を学習する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント（コンサート/ライブ他）企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要な業務を体験学習する						
到達目標	[1] ライブイベントの企画制作を依頼されても対応できる基礎知識を習得する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント（コンサート/ライブ他）企画の実施時における様々な事象の対応力を習得する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要なレベルの実務力を習得する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験（評価割合　40%） [2] 受講態度 ※課題提出（評価割合　60%）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	活動方針設定会議の概要を学ぶ	会議資料準備
2	演習	ライブイベント実施に向けて（打合せ）を学ぶ	打合せ準備資料の作成
3	演習	ライブイベントの告知と準備を学ぶ	イベント実施打合せ・プロモーション
4	演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]現場での動きを学ぶ	イベント後の終了報告書記入
5	演習	ライブイベント実施[Aoyama Project]]現場での動きを学ぶ	イベント後の終了報告書記入
6	演習	ライブイベント実施に向けて（打合せ）]を学ぶ	ライブ映像の編集処理
7	演習	ライブイベントの告知と準備を学ぶ学ぶ	運営マニュアルの作成
8	演習	ライブイベント実施[QUEENS]]現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
9	演習	ライブイベントの告知と準備を学ぶ	イベント実施打合せ・プロモーション
10	演習	ライブイベント実施[SUN MUSIC GET LIVE]]現場での動きを学ぶ	イベント後の終了報告書記入
11	演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]]現場での動きを学ぶ	イベント後の終了報告書記入
12	演習	ライブイベントの内容企画を学ぶ	企画書の作成・イベント企画打合せ
13	演習	ライブイベントの告知と準備を学ぶ	運営マニュアルの作成
14	演習	ライブイベント実施[Aoyama Project]・[QUEENS]現場での動きを学ぶ	イベント後の終了報告書記入
15	演習	年間活動内容総括会議	ライブ映像の編集処理
準備学習　時間外学習		授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度実績の概要書・終了報告書参照

科目名	チーム制作プロジェクトB （チーム制作プロジェクト4）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岡　秀樹
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ&ミュージシャンコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	ライブハウス店長・ブッキングマネージャー、アーティストマネージャー						
授業の学習内容	企業とプロジェクトを組み、イベント企画・制作・運営・プロモーションを、アクティブラーニングによる主体的な学びをゼミ方式で実践する。						
到達目標	企業プロジェクトでは動員や収益など内容だけでなく収支にも着目し、数字をクリアするための方法論を検討し実践する。						
評価方法と基準	授業内での積極的な発言や態度、プレゼンテーションの出来具合を評価　30% イベント本番日の行動力、企画制作、運営の技術、知識を振り返りシートにて評価　40% 収支を測る方法論を理解し、現場での実行力を評価　40%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	特別講義(音楽業界人によるトークセッション)	ゲスト講師への質問事項を考えて提出する。
2	演習	企業プロジェクト①(プロジェクト内容の説明・企業を紹介・担当者自己紹介)	企業研究(歴史、理念、業務内容)資料を提出する。
3	演習	企業プロジェクト②(企業理念理解/ディスカッション/スケジュール作成)	前年度のプロジェクト内容を把握し資料として提出する。
4	演習	企業プロジェクト③(プロジェクト企画書/プロモーションプランの作成)	企画書作成に必要な情報集め(アーティスト情報、アー写など)、SNS配信予定表を提出する
5	演習	企業プロジェクト④(プロモーションの実践/運営マニュアルの作成)	運営マニュアルに必要な情報を提出する。(図面、セット図、セットリストなど)
6	演習	企業プロジェクト⑤☑(イベント当日の運営)☐	運営マニュアル読み込み 各メンバーで打ち合わせ
7	演習	企業プロジェクト⑥(全体報告会/報告書の作成)	報告会で発表する内容まとめ提出。企業への御礼文送信。
8	演習	自主企画①(班分け/アイディアフラッシュ)	A4 1枚に提案したいイベント内容をまとめて提出。
9	演習	自主企画②(コンセプト決め/企画書作成)	A4 で出演者向けに企画書を作成し提出。
10	演習	自主企画③(ブッキング/実施要綱/プロモーションプラン作成)	ブッキング用メール文の作成。プロモーション先リストを作成する。
11	演習	自主企画④(プロモーションツール/運営マニュアル作成)	印刷業者・グッズ製作会社調べ、運営マニュアルに必要な情報を集める(図面、セット図、セットリストなど)
12	演習	自主企画⑤(顔合わせ兼打ち合わせ)	各セクション問題無く進められるように懸念点や疑問点を洗い出しておく。
13	演習	自主企画⑥(運営シミュレーション)☐	備品が揃っているか確認し、足りないものは購入する。
14	演習	自主企画⑦(イベント当日の運営)	運営マニュアル読み込み 各メンバーで打ち合わせ
15	演習	自主企画⑧(全体報告会/報告書の作成)	報告会で発表する内容まとめ、御礼文送信
準備学習　時間外学習		各イベントや課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

都度必要に応じて自作プリント配布

科目名	イベントプロデュース1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	高田　雄貴
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ&ミュージシャンコース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる						
授業の学習内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画（プランニング）についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント（コンサート/ライブ他）企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画（プランニング）について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験（評価割合　40%） [2] 受講態度 ※レポート課題提出（評価割合　60%）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	はじめに　～　企画って何？	本日の授業をもってのレポートを800字以内で提出
2	講義	企画は誰の為　を理解する	本日の授業をもってのレポートを800字以内で提出
3	講義	会場について理解する	全国のホールを調査する
4	講義	5W1Hを理解する	本日の授業をもってのレポートを800字以内で提出
5	講義	イベント本番の時間的流れを理解する	モデルタイムテーブルの作成し提出
6	講義	メディアとプロモーションを理解する	メディアネットアークの調査
7	講義	ホームページとSNSを理解する	本日の授業をもってのレポートを800字以内で提出
8	講義	マーケットについて知る	シンクタンクのレポートを確認する
9	講義	売れてる？ヒットチャートを理解する	ヒットチャート調査のリスト化
10	講義	スタッフについて知る	本日の授業をもってのレポートを800字以内で提出
11	講義	集客するには（入場券とプレイガイド）を理解する	プレイガイドを研究しまとめたものを提出
12	講義	イベントのビジネスモデルを知る	本日の授業をもってのレポートを800字以内で提出
13	講義	企画立案しプレゼンする	アーティスト活動調査
14	講義	（明日への扉）を通してプランニング力を学ぶ	明日への扉を題材にイベント制作を考察する
15	講義	（明日への扉）を通してプランニング力を学ぶ	明日への扉を題材にイベント制作を考察する
準備学習　時間外学習		授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT

科目名	イベントプロデュース2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	高田　雄貴
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・ブロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ＆ミュージシャンコース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる						
授業の学習内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画（プランニング）についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント（コンサート/ライブ他）企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画（プランニング）について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験（評価割合　40%） [2] 受講態度 ※レポート課題提出（評価割合　60%）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	企画項目を整理する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提
2	講義	企画書作成の準備をする・1	アーティストを調査しレポートとして提出
3	講義	企画書作成の準備をする・2	夏フェスティバルを調査しレポートとして提出
4	講義	実在のイベントをモデルに企画書化する・1	イベントを調査しレポートとして提出
5	講義	実在のイベントをモデルに企画書化する・2	モデルタイムテーブルの作成
6	講義	会場設備理論（全国の会場を分析する）ホール編	全国のホールを調査してレポートとして提出
7	講義	会場設備理論（全国の会場を分析する）ライブハウス編	全国のライブハウスを調査してレポートとして提出
8	講義	会場設備理論（全国の会場を分析する）アリーナスタジアム編	全国のアリーナスタジアムを調査してレポートとして提出
9	講義	イベント企画の研究	オリンピックについて調査してレポートとして提出
10	講義	イベントと法規	消防申請について調査しレポートとして提出
11	講義	単体イベントとツアー	クリスマスツアーを調査しレポートとして提出
12	講義	ツアーの企画を立案する	交通インフラを調査してレポートとして提出する
13	講義	イベントのスタイルとビジネスモデル	ACPCの資料を検証しレポートとして提出
14	講義	（明日への扉）を通してプランニング力を学ぶ	明日への扉を題材にイベント制作を考察する
15	講義	（明日への扉）を通してプランニング力を学ぶ	明日への扉を題材にイベント制作を考察する
準備学習　時間外学習		授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT

科目名	タレントマネージメント1	必修 選択	選択	1年次	2	担当教員	片桐　豊
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 2		
教員の略歴	文化放送開発センター（15年）～トップコート（11年）を経て、現サテライト東京代表。タレント育成＆マネジメントやイベント・演劇プロデュースなどの実務経験が豊富。						
授業の学習内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人で有り、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めたい。						
到達目標	□タレントとマネージャー（事務所）の関係や仕事の内容など業界のことを知る □見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養う □相手の気持ちやニーズを考えられるようになる □自分の強み、弱みを認識した上で将来について考えられるようになる □自分の考えたことや想いを自分の言葉で伝えられるようになる						
評価方法と基準	□筆記試験　0点～50点 （企業が従業員に求めることへの理解＝社会に出て働く上ための心構え準備） ・・・出席率（目的を持って授業に出席する。気分で休まない。） ・・・一般的な企業の人事評定項目の把握とその定義や着眼点について理解する。 □総合的な授業態度　0点～50点 ・・・授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	自己紹介現時点での将来目標を自分の言葉で、かつ人前で発表できる。	将来タレントをどのようにマネジメントしたいのかレポート記入し提出。
2	講義	業界で働く上で必要な力を考えさせる 自分で考える。想像力を養う。	自分の目標の整理を行い800字以内で記入し提出。
3	講義	プロデューサーやディレクター、作家などの役割や感性を学ぶ。	1枚の紙で「天国」と「地獄」を表現し提出。
4	講義	芸能プロダクションの役割とタレントとの関係性について学ぶ。	タレント契約書見本（専属・業務提携・新人養成）を確認し、気づいた点やこれからの課題を800字以内に記載し提出。
5	講義	マネージャーの種類と具体的な仕事内容を知る。	自分の好きなタレントの周りのマネージャーを調べて資料を提出。
6	講義	好きなモノを語る力を付ける。好きなタレントについて語ることができる。	3分間で好きなタレントを理由・魅力などを他者にアピールするプレゼンテーションの資料を作成、準備する。
7	講義	音事協・音制連等の存在と事務所にはどんなところがあるか知る。	自分が就職したい事務所を調べて概要を提出する。
8	講義	オーディション採用側が何を見ているかを知る。	自分が就職したい事務所のスタッフ募集要項を調べて提出する。
9	講義	適正診断による性格把握と分析から自分の強み・弱みを把握する。	事前に配布する適性診断を受ける
10	講義	自己分析を踏まえ未来像を語り想像する力と伝える力を身につける。	10年後どうなっていたいか、所定のレポート用紙に記入し提出。
11	講義	興味外の事を語り、感じたことを言葉にする力を身につける　。	美輪明宏「愛の讃歌」の映像を見て感想を800字以内で記入し提出。
12	講義	人事評定項目から経営側のニーズを知る。	人事評定項目から自分がアピール出来ることを考察し800字以内で提出。
13	試験	人事評定の項目とその意味をきちんと理解・認識できているか。復習	前週に配布した人事評定表を復習しておく。
14	講義	「明日への扉」にて制作スタッフとして出演者管理を学ぶ	明日への扉の資料を復習する。
15	講義	「明日への扉」にて制作スタッフとして出演者管理を学ぶ	明日への扉の資料を復習する。
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】
実際のタレント契約書・芸能界ベストセレクション・演技テキスト・ドラマ台本など

科目名	タレントマネージメント2	必修 選択	選択	1年次	2	担当教員	片桐　豊
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 2		
教員の略歴	文化放送開発センター（15年）～トップコート（11年）を経て、現サテライト東京代表。タレント育成＆マネジメントやイベント・演劇プロデュースなどの実務経験が豊富。						
授業の学習内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人で有り、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めたい。						
到達目標	□タレントとマネージャー（事務所）の関係や仕事の内容など業界のことを知る □見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養う □相手の気持ちやニーズを考えられるようになる □自分の強み、弱みを認識した上で将来について考えられるようになる □自分の考えたことや想いを自分の言葉で伝えられるようになる						
評価方法と基準	□筆記試験　0点～50点 ・・・一般的な企業の人事評定項目の把握とその定義や着眼点について理解する。　（企業が従業員に求めることへの理解＝社会に出て働く上ための心構え準備） □総合的な授業態度　0点～50点 ・・・出席率（目的を持って授業に出席する。気分で休まない。） ・・・授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	活躍している芸能人の行動から学ぶ社会で好まれる資質を知る①	松坂桃李・堺正人・山寺宏一らのエピソードを受けて感想レポートを800字以内で提出する。
2	講義	活躍している芸能人の行動から学ぶ社会で好まれる資質を知る②	TAKAHIRO氏のチャレンジのエピソードを受けての感想レポートを800字以内で提出する。
3	講義	俳優の仕事や気持ちを理解するため簡単なテキストで演技体験をする	事前に配布するA41枚の会話台本を覚えてくる。
4	講義	同じセリフを深く追求することでタレントや俳優に求められる役割を知る。	事前に配布する独白セリフの登場人物の性格を分析した資料を提出する。
5	講義	企業のニーズを理解した上で、目指す企業に合わせた自己PRができるようになる	就活を想定した自己PRを考察し、提出する。
6	講義	企業のニーズを理解した上で、目指す企業に合わせた自己PRができるようになる	就活を想定した自己PRを考えて提出する。
7	講義	ファンクラブについての講義①　ファンイベントの企画を理解する	自分な好きなタレントらのファンイベントの例を調べて提出する。
8	講義	ファンクラブについての講義② 応援グッズ販売から見る音楽ビジネス	自分の好きなタレントらのグッズの例を調べて提出する。
9	講義	芸能界お金事情　タレントのギャラ・Mgの給与などの相場を知る	本日の授業を終えた上で、タレントクラス表を作成し、提出する。
10	講義	これから売れる（人気者になる）と思うタレントを予想・プレゼンする①	これから売れると思うタレント候補とその根拠を調べて提出する。
11	講義	これから売れる（人気者になる）と思うタレントを予想・プレゼンする①	これから売れると思うタレント候補とその根拠を調べて提出する。
12	講義	とあるディズニーダンサーのエピソードから、エンターテインメント業界で働くことの心構えを再認識する	本日の講義を終え、800字以内で感想レポートを提出する。
13	試験	前期・後期を踏まえた上での筆記試験を実施	出来なかった部分や分からなかった部分を訂正して提出する。
14	講義	卒業制作展にて制作スタッフとしての出演者管理を学ぶ。	卒業制作展の資料を復習
15	講義	卒業制作展にて制作スタッフとしての出演者管理を学ぶ。	卒業制作展の資料を復習
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】
実際のタレント契約書・芸能界ベストセレクション・演技テキスト・ドラマ台本など

科目名	タレントマネジメントアドバンス	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀内　梓
学科・ｺｰｽ	音楽テクノロジー科・マネージャーコース	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 2		
教員の略歴	エイベックス･エンタテインメント株式会社　プラットフォーム事業本部 / マーケティングユニット / MD事業グループ / MD企画第1ユニット						
授業の学習内容	マネージャーとしての音楽業界の基礎知識を学び、実習を通して即戦力となる人材育成を行うカリキュラム。						
到達目標	音楽業界が求める人材になる為の基礎知識を身につける。 実習通して自ら調べ考える力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	本授業における目的設定の共有	事前に目的（目標）と自己PRをまとめて提出
2	講義	ライブを取り巻く音楽業界の構造-1 基本知識	ワークシート提出
3	講義	ライブを取り巻く音楽業界の構造-2 マネタイズ	ワークシート提出
4	講義	マネージャーとは-1 基本知識	ワークシート提出
5	講義	マネージャーとは-2 企画やマネタイズ	ワークシート提出
6	講義	ブランディング戦略-1 ブランディングとは？	ワークシート提出
7	講義	ブランディング戦略-2 ブランディングとは？/プレゼンについて説明	ワークシート提出／プレゼン準備
8	講義	ブランディング戦略-3 プレゼンパート	ワークシート提出／プレゼン準備
9	講義	ブランディング戦略-4 プレゼンパート	ワークシート提出／プレゼン準備
10	講義	ブランディング戦略-5 プレゼンパート	ワークシート提出
11	講義	復習・資料ブラッシュアップ	ワークシート提出
12	講義	ブランディング戦略-6 プレゼンパート	ワークシート提出／プレゼン準備
13	講義	ブランディング戦略-7 プレゼンパート	ワークシート提出／プレゼン準備
14	講義	定期試験	ワークシート提出
15	講義	振り返り	ワークシート提出／プレゼン資料最終提出
準備学習　時間外学習		設定した目的と前週を振り返り、復習をする。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	音楽業界知識1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	高田　雄貴
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ&ミュージシャンコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる						
授業の学習内容	[1] 音楽業界へ進む上で必要とされる基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスの企業で勤務する際に必要なビジネススキルの基礎知識や実務の基本を学習するを学習する [3] 最新の音楽業界の動向や、一般的なメディアの取り扱いなどを検証分析することで、音楽ビジネスにおけるマーケティングの基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職した際に、先輩業界人達とスムーズにコミュニケーションを取る為に必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職した際に、音楽業界人としてだけでなく一般社会人との業務において必要な基礎知識や実務の流れを構築する [3] 音楽業界への就職後に必要となる、業界人としての目線で流行やトレンドを読むセンスを身につける						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験（評価割合　40%） [2] 受講態度 ※レポート課題提出（評価割合　60%）						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	音楽ビジネスの仕組みを知る	音楽事業者協会を調査する
2	講義	売れてるってどう言う事	ヒットチャート（オリコン）を調査する
3	講義	制作会議の進め方	会議の種類について調査する
4	講義	CDはどのような流れでマーケットに出るのか	音楽制作者連盟を調査する
5	講義	ビジネス文書の送り方	仮メールアドレスにビジネス文書を送る
6	講義	5月の音楽業界と全国展開	ガントチャートについて知る
7	講義	平成のエンタテインメント業界史を振り返る	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し
8	講義	AIDMAの法則とプロモーション	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し
9	講義	年間計画とタイムマネジメント	ガントチャートについて知る
10	講義	音楽フェスティバルについて知る	今年開催の音楽フェスの調査リスト化
11	講義	海外のエンタテインメント（シルクドソレイユ）の研究	テーマパークを調査する
12	講義	音楽ビジネスの収益モデル	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し
13	講義	ターゲットを分析する（女性向け雑誌のマッピングから見る）	雑誌協会について調査する
14	講義	（明日への扉）を通して音楽ビジネススキルを学ぶ	明日への扉を通して音楽ビジネススキルを考察する
15	講義	（明日への扉）を通してビジネススキルを学ぶ	明日への扉を通してビジネススキルを考察する
準備学習　時間外学習		授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT

科目名	音楽業界知識2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	高田　雄貴
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・プロマネージャーコース・スーパーマネージャーコース・スタッフ&ミュージシャンコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる						
授業の学習内容	[1] 音楽業界へ進む上で必要とされる基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスの企業で勤務する際に必要なビジネススキルの基礎知識や実務の基本を学習するを学習する [3] 最新の音楽業界の動向や、一般的なメディアの取り扱いなどを検証分析することで、音楽ビジネスにおけるマーケティングの基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職した際に、先輩業界人達とスムーズにコミュニケーションを取る為に必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職した際に、音楽業界人としてだけでなく一般社会人との業務において必要な基礎知識や実務の流れを構築する [3] 音楽業界への就職後に必要となる、業界人としての目線で流行やトレンドを読むセンスを身につける						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験（評価割合　40%） [2] 受講態度 ※レポート課題提出（評価割合　60%）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	演劇の世界（ロングランミュージカル）	劇団四季について調査しレポートとして提出
2	講義	レコード業界のビジネスモデル	レーベルについて調査しレポートとして提出
3	講義	マーケットの変遷（東京中心から地元主義）	地域密着アーティストを調査しレポートとして提出
4	講義	クチコミプロモーションからSNSへ	SNSの媒体を調査しレポートとして提出
5	講義	ファンクラブビジネスについて知る	ファンクラブについて調査しレポートとして提出
6	講義	イベントと保険を学ぶ	各保険について調査しレポートとして提出
7	講義	プロモーションについて考える	本日の授業をもとにプロモーション案を提案
8	講義	アーティストという職業について知る（声優編）	声優を調査しレポートとして提出
9	講義	アーティストという職業について知る（YOUTUBER編）	YOUTUBERを調査しレポートとして提出
10	講義	著作権について考える	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
11	講義	仕事のできない人は「5W1H」がわかっていない	授業で出された課題に取り組む
12	講義	今さら聞けないメールの作法、宛名の書き方	仮メールアドレスにビジネスメールとしての文章を送信
13	講義	音楽業界の仕事基礎知識を再確認	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
14	講義	音楽ビジネスの仕組みを知る	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
15	講義	音楽ビジネスの仕組みを知る	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
準備学習　時間外学習		授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

自作PPT・プリント配布

科目名	著作権1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	峰松　毅
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作、PAエンジニア、照明スタッフ、楽器リペア＆テクニシャンコースト企画制作コース・マネージャーコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	ビクターではカラオケのレコーディングディレクターを、バンダイではアニメ特撮系の音楽プロデューサーを務める。 現在はライセンスゲートを設立しゲーム系の音楽配信を中心にライセンス事業を展開。						
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、著作権の知識が必要となる。本講義では音楽における権利の基礎とその現状を学び、実際の活動に役立てるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要な著作権の基礎知識を習得し説明ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義	著作権の概要について学び理解し説明ができる	著作権の概要について学び理解しレポート作成
2	講義	アーティスト契約についての理解し説明ができる。	アーティスト契約についての理解しレポート作成
3	講義	契約書の基本的な読み方を理解し説明ができる	契約書の基本的な読み方を理解しレポート作成
4	講義	著作権法について理解し説明ができる。	著作権法について理解しレポート作成
5	講義	SNSにおける著作権を知り説明ができる。	SNSにおける著作権を知り理解しレポート作成
6	講義	著作物の条件を理解し説明ができる	著作物の条件を理解しレポート作成
7	講義	音源が売れた場合の作詞、作曲印税について理解し説明ができる	音源が売れた場合の作詞、作曲印税について理解しレポート作成
8	講義	アーティストに支払われる印税について理解し説明ができる	アーティストに支払われる印税について理解しレポート作成
9	講義	JASRACを知り説明ができる	JASRACを知り理解しレポート作成
10	講義	音楽出版社の役割を理解し説明ができる	音楽出版社の役割理解しレポート作成
11	講義	動画サイトにおける音楽使用の現状を知り説明ができる	動画サイトにおける音楽使用の現状を理解しレポート作成
12	講義	動画サイトにおける音楽使用の現状を知り説明ができる	動画サイトにおける音楽使用の現状を理解しレポート作成
13	講義	再販制度の功罪を理解し説明ができる	再販制度の功罪を理解しレポート作成
14	講義	替え歌と著作者人格権の理解をし説明ができる。	替え歌と著作者人格権の理解しレポート作成
15	講義	復習試験	振り返りをおこない、レポートにまとめる
準備学習　時間外学習		業界で活躍するための権利を知る。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】			

科目名	文章基礎1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	天井　潤之介
学科・コース	【音楽テクノロジー科】メディアクリエーターコース	授業 形態	講義	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	株式会社ロッキング・オン勤務、退社後、編集者／音楽評論家／音楽レーベル監修						
授業の学習内容	「書く」という技術の習得。そのためのルールと基本構造を学んでもらいます。自分が考えている・思っていることを言葉／文字に変換する。そしてその言葉／文字を使いこなして、自分の考えや意図する思いを相手に正確に「伝える」ためにはどうすればよいのか。文章力の養成を通じて、思考力やコミュニケーション能力も養成することができればベストだと考えています。授業の進め方ですが、一コマめにその日の課題となる授業内容をレクチャーし、二コマめにその授業内容に沿ったライティングを実践してもらいます。						
到達目標	「書く」という技術は、企画立案や会議でのプレゼンテーションなど、自分の考えや意図を相手に正しく伝えるという様々なビジネスの場面で基礎となるものです。授業では主に音楽に関するテーマの文章作成を課すことが多くなると思いますが、そうした作業を通じて、説得力と具体性を持った論理の筋道を立てることが出来るようになり、個人的な感想や感動を「情報整理／分析」へと昇華できるような技術と能力を養うことが出来るようになる。						
評価方法と基準	文章能力課題レポート提出 50% 課題の提出が前提、原稿の出来栄えを評価。 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	年間の授業方針と文章力の必要性について学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
2	講義	句読点を正しく使い、文意の伝わる文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
3	講義	改行を使いこなし、内容や趣旨を意識した文章作成が出来るようになる	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
4	講義	例文の校正・添削を通じて、「主語・述語」の使い方を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
5	講義	例文の校正・添削を通じて、「修飾語」の使い方を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
6	講義	助詞を正しく使いこなし、誤読や誤解を生まない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
7	講義	書き言葉と話し言葉の違いを学び効果的な使い方で文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
8	講義	起承転結を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
9	講義	両論併記を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
10	講義	文章にリズムをつけて読み手が飽きない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
11	講義	漢字とひらがなのバランスを考え読みやすい文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
12	講義	同義語を意識し語彙力を上げ表現力豊かな文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
13	講義	段落を活用し各コンテンツに適した文字数でまとめることを学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
14	講義	「明日への扉」告知の際に配布する新聞記事の文章を作成(文章構成～たたきまで)	授業に続き文章を作成し提出
15	講義	「明日への扉」告知の際に配布する新聞記事の文章を作成（文章作成～校正・添削し完成まで）	授業に続き文章を作成し提出
準備学習　時間外学習		授業内で出される課題の作成。文章に慣れた習慣作り。	

【使用教科書・教材・参考書】

自作プリント配布

科目名	文章基礎2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	天井　潤之介
学科・コース	【音楽テクノロジー科】メディアクリエーターコース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	株式会社ロッキング・オン勤務、退社後、編集者／音楽評論家／音楽レーベル監修						
授業の学習内容	前期の授業を踏まえ、より実践的な「書く」という技術の習得。具体的には「WEBコンテンツ制作」の授業と連動する形で、ビジネスメール作成や作品のレヴュー、またインタヴュー記事の作成などを通じて文章力の向上を目指します。						
到達目標	前期「文章基礎」で学んだ「書く」という技術のルールと基本構造をもとに、ビジネスの場面でも役立つ文章力を身に付けることが目標になります。「WEBコンテンツ制作」の授業とも連動した実践的な文章作成を行いつつ、構成や起承転結を意識した長めの文章も視野に入れた文章力の向上を目指します。						
評価方法と基準	文章能力課題レポート提出 50% 課題の提出が前提、原稿の出来栄えを評価。 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	例文や自分で書いた文章の要約・添削を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
2	講義	新聞記事の資料を要約し添削が出来るようになる	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
3	講義	新聞記事の読解を行い、筆者の意図を読み取れるようになる	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
4	講義	レコード会社の資料を要約し添削が出来るようになる	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
5	講義	レコード会社の資料読解を行い、筆者の意図を読み取れるようになる	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
6	講義	映画のあらすじを要約し添削が出来るようになる	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
7	講義	映画のあらすじ読解を行い、筆者の意図を読み取れるようになる	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
8	講義	これまで学んだ技術をもとに音楽作品のレビュー原稿(紙面媒体)を作成する	授業に続きレビュー原稿を完成させて提出
9	講義	これまで学んだ技術をもとに音楽作品のレビュー原稿(WEB媒体)を作成する	授業に続きレビュー原稿を完成させて提出
10	講義	これまで学んだ技術をもとにインタビュー音源を文字おこしし、原稿（紙面媒体）を作成する	授業に続きインタビュー原稿を完成させて提出
11	講義	これまで学んだ技術をもとにインタビュー音源を文字おこしし、原稿（WEB媒体）原稿を作成する	授業に続きインタビュー原稿を完成させて提出
12	講義	進級制作展出演アーティストのインタビュー音源を文字おこしし、原稿（紙面媒体）を作成する	授業に続きインタビュー原稿を完成させて提出
13	講義	進級制作展出演アーティストのインタビュー音源を文字おこしし、原稿（WEB媒体）を作成する	授業に続きインタビュー原稿を完成させて提出
14	講義	進級制作展観覧、レビューを書くための素材を集める	実際に会場に足を運びボイスレコーダーとメモで資料をつ
15	講義	進級制作展レビュー制作	授業に続きレビュー原稿を完成させて提出
準備学習　時間外学習		授業内で出される課題の作成。文章に慣れた習慣作り	

【使用教科書・教材・参考書】

自作プリント配布

科目名	コンサートBasic1 （PA Basic1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新部有亮
学科・コース	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	90 6		
教員の略歴	株式会社フライアウト企画に属し、PAエンジニアとして活動している。実務歴12年。						
授業の学習内容	PAエンジニアとしての基本を身につける。業界用語、機材名称、基礎体力、安全管理を完全に理解する。						
到達目標	音の流れ、音の出し方を理解し、PAスタッフとしての基本的なノウハウと応用力を身につける。 スタッフ間のコミュニケーションをとることができ、現場に必要な知識と体力を1年間で身につける。						
評価方法と基準	実技試験にて評価 100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	自己紹介。職業理解を深める心構え。安全教育。機材取り扱い。マイクスタンド等の使用方法。	機材取り扱い、マイクスタンド等の使用方法について復習レポートを作成。
2	演習	簡易セット1回目。コネクター種類把握。簡易セットの機材把握。	コネクター種類、簡易セットの機材について復習レポートを作成。
3	演習	簡易セット2回目。簡易セット設営、撤去、チェックができるようになる。	簡易セット設営、撤去、チェックについて復習レポートを作成。
4	演習	簡易セット3回目。EQを追加。設営、撤去、チェックができるようになる。	EQについて復習レポートを作成。
5	演習	簡易セット4回目。EQ,マルチ追加。	マルチシステムについて復習レポートを作成。
6	演習	簡易セット5回目。ステージモニター、エフェクター追加。学園祭イベントを考える。	モニター、エフェクターについて復習レポートを作成。
7	演習	イベントにおけるPAシステムのプランニング。電気知識を活用する。	プランニング、電気知識について復習レポートを作成。
8	演習	簡易セット6回目。変化に対応できる柔軟性を身につける。	簡易セットについて学んだことをあらためて振り返り確認しておく。
9	演習	簡易セット7回目。チーム力を活用し、制限の中で結果を出す。	簡易セットについて学んだことをあらためて振り返り確認しておく。
10	演習	マルチウェイスピーカーについて。	マルチウェイスピーカーについて復習レポートを作成。
11	演習	ステージワーク1回目。イベント、体験入学を見越した内容。	ステージワークについて復習レポートを作成。
12	演習	明日への扉のスタッフとして参加し、仕込み、リハーサルをする。	イベントに向けて打合せ、リハーサル立会いなど準備をしっかり行ない、レポートを作成。
13	演習	明日への扉のスタッフとして参加し、本番、撤収作業をする。	イベントの本番、バラシなどをしっかり行ない、レポートを作成。
14	演習	ステージワーク2回目。イベント、体験入学を見越した内容。	ステージワークについて復習レポートを作成。
15	試験	テストを実施。	前期総まとめをレポート作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートやイベントに向けての準備、リハーサルを行う。	

【使用教科書・教材・参考書】　PA入門

科目名	コンサートBasic1 （照明Basic1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐々木 治郎
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明ライティング	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	大手照明会社に11年間勤務し、他方面の照明オペレートを経験。現在フリーランスの照明家として活動。実務歴26年。						
授業の学習内容	照明基礎の習得のため、前期は比較的講義の要素が多くなるが、現場で重要な”声を出してコミュニケーションをとる”など体や声を使う演習授業が中心になり、卒業後舞台人になるための基本所作も覚えていく。						
到達目標	学校にある基本の機材の名称、使い方を覚える。光の原理と舞台基礎用語、仕込みの方法、電気計算や安全など舞台人としての基礎全般を習得する						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	社会人になる心構え等の説明を交え、照明業務と現場で求められる人材像を知る	授業時に取ったメモを見返して理解を深める。
2	演習	学校にある代表的な器材の説明と仕組み、アクセサリーなどを理解する。	授業で学んだ内容について復習レポートを作成。
3	演習	電気基礎知識、容量計算などケーブル配線、仕様の違いを理解する	授業で学んだ内容について復習レポートを作成。
4	演習	パイプ回路を使っての回路とり擬似体験をす	授業で学んだ内容について復習レポートを作成。
5	演習	調光卓の基本的な使い方を理解する	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
6	演習	イベントに向けての準備作業を学ぶ	授業内容に即した課題をレポートとして提出する。
7	演習	パイプ回路を使っての回路とり擬似体験をす	授業で学んだ内容について復習レポートを作成。
8	演習	調光ユニットの説明と灯体の点灯原理を理解する	授業で学んだ内容について復習レポートを作成。
9	演習	復習とユニット表の作成方法を学ぶ	授業で学んだ内容について復習レポートを作成。
10	演習	信号からのLEDやムービングの解説、PINのQ出し、使い方を学ぶ	授業で学んだ内容について復習レポートを作成。
11	演習	前期まとめ、質疑応答	質問疑問をまとめてくる。
12	演習	「明日への扉」スタッフとして参加し、照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13	演習	「明日への扉」スタッフとして参加し、舞台照明の演出を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	演習	パイプ回路を使っての回路とり擬似体験をす	自身で答え合わせをし、分からなかった事について調べクリアにしておく。
15	試験	実技試験と筆記試験を行う。	自身で答え合わせをし、分からなかった事について調べクリアにしておく。
準備学習　時間外学習		授業で学んだ内容について復習レポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

ステージ舞台入門

科目名	コンサートBasic1 （ムービングBasic1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	橋本真也
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明ライティング	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	TSM卒業後、照明会社PACに就職し、現在はフリーランスの照明家として、ライブやコンサート、芝居、施設照明のプランニング、ムービングライトのオペレーターとして活躍。実務歴17年。						
授業の学習内容	現代のコンサートや舞台、その他様々なイベントに於ける照明演出で必須となったムービングライト。その特性と機能を学ぶことは、照明会社に就職する上でも非常に有利な条件となります。照明概論や照明BASICとも連動し、学校行事や企業プロジェクトイベント等でオペレートができるように、また将来的にエンターテイメント業界で活躍できる人材となれるよう指導していきます。						
到達目標	ムービングライトの仕込みが出来、基本的な操作から扱い方、メンテナンス、トラブル対応、ムービングライトでできる演出方法を身につけます。 ムービング卓グランドMAの操作方法を身につけ、簡単なシーンの作成、修正から実践でも対応できるようになります。 何度も触って、失敗して、機材に慣れることが大切だと考えます。						
評価方法と基準	定期試験（実技試験）にて評価 100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	授業の進め方、イベントホール使用方法、基本的なアクセスの仕方を学ぶ。	授業で学んだ内容を復習し、覚える。
2	演習	ムービングライトの主な機能を知る。注意事項を知る。仕込み方法を学ぶ。	授業で学んだ内容を復習し、覚える。
3	演習	簡単なシーンの作成。卓の主な用語、機能を学ぶ。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
4	演習	シーンの作成やバックアップの方法を学ぶ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
5	演習	シーケンスの扱い方。タイムの概念を理解する。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
6	演習	ムービング卓の基本的なセットアップ方法を学ぶ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
7	演習	シーケンスの理解を深める。トラッキングを理解する。	授業で学んだ内容を実際に機材に触れて復習する。
8	演習	小復習の時間。これまで学んできた内容を振り返り、もれなくしっかり理解することを目的とする。	復習として今までに学んだ内容に聞き逃しがないかを確認し、質問事項にしてまとめる。
9	演習	ムービングライトの基本的なセッティングを学ぶ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
10	演習	チェイスの作成、修正の仕方を学ぶ。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
11	演習	キューのリンク、ループについて学ぶ。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
12	演習	プリセットの作成、修正、使用方法を学ぶ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
13	試験	フェーダー、ボタンの機能変更について学ぶ。 ／2限目に試験を行う	試験にて出来なかった部分を復習する。
14	演習	「明日への扉」照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となるムービングの仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	演習	「明日への扉」照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となるムービングの仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
準備学習　時間外学習		基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートBasic1 （イベントスタッフワークBasic1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大島直子
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作＆ステージデザイナー、コンサート企画制作コース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	イベントやコンサートの制作・進行、事務局、発表会、企業物などオールジャンルの仕事をしています。実務歴17年。						
授業の学習内容	進級制作でもある「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」のイベントにおける制作業務を学び、報告書の作成を学ぶ。1年間の集大成のイベントを各学科・コースや合同日（葛西校）を連携しながら、進行及び制作業務を行う。						
到達目標	各学科・コースの枠を超えて、 イベントを新規で作り上げていく為のコミュニケーション能力を身につけることが出来る。 イベント本番の役割をシミュレーションし、事前準備の大切さや見やすい資料作成の基本を習得することが出来る。						
評価方法と基準	実技試験（イベントでの制作業務と作成された報告書を評価する。） 50% 資料作成のレポート提出を評価 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	「学園祭」「明日への扉」の概要を知り、舞台・制作・運営のチーム分け、演目担当分けを行う。各担当ごとに連絡先交換と各グループで挨拶をする。	今後1つのチームとして作業するため、授業以外でもコミュニケーションをとる意識を持つ。
2	演習	「学園祭の演目を理解する。「学園祭の昨年の資料確認する。	データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。
3	演習	舞台監督と制作の役割・内容を学ぶ。打合せ内容の共有をする。	授業内容について復習しレポートを作成。
4	演習	各演目担当チームごとに、担当教務に挨拶にいく。打合せ内容の共有をする。	イベント資料を管理し、チームで共有する環境を整えておく。
5	演習	各演目の現状確認（報告会）、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	※舞台・運営と合同ミーティング 情報共有をする。
6	演習	各演目の現状確認（報告会）、必要資料を作成する。制作チームごとにミーティングを行い、シーバーの使い方を学ぶ。	※舞台・運営と合同ミーティング 情報共有をする。
7	演習	「学園祭」の反省会、資料まとめを行う。「明日への扉」映像を見る。	イベント資料を管理し、次年度のために整理しておく。
8	演習	「明日への扉」結団式にて主旨、目的を理解する。	結団式内容をレポートにまとめる。
9	演習	「明日への扉」の舞台監督と制作の役割・内容説明と担当割り、スケジュール確認	資料作成。
10	演習	「明日への扉」現状確認（報告会）、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。稽古場のバミリを行う。	資料作成。
11	演習	「明日への扉」台本読み、ト書きを学ぶ。 外部リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。	資料作成。
12	演習	「明日への扉」の制作スタッフとして稽古に立会い、内容変更等情報共有する。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかり行なう。
13	演習	「明日への扉」の舞台監督、制作スタッフとして本番を行う。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかり行なう。
14	演習	「明日への扉」の終了報告書作成する。各演目・担当ごとに反省会・次回にむけての改善点を共有する。2年生から1年生への引き継ぎを行う。	終了報告書作成のための資料をまとめ
15	試験	振り返り試験を実施。	引き継ぎ事項をまとめておく。
準備学習　時間外学習		打合せや授業内容についての資料やレポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年の学園祭資料、明日への扉2018公演DVD、資料

科目名	コンサートBasic1 （舞台監督演習Basic1）	必修 選択	選択	年次	1 年	担当教員	北　英樹
学科・コース	舞台制作コース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年。						
授業の学習内容	舞台監督、舞台制作に関する基礎知識に関する講義及び実技						
到達目標	学内イベントや就職活動で必要となる舞台監督・制作業務の基礎的な知識とスキルを身につけることが出来る。						
評価方法と基準	1.実技試験（ 30% ） 2 .筆記試験 （ 70 % ）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	オリエンテーション 前期授業内容についての説明と舞台監督の概要を学ぶ。	舞台監督・制作に必要なものを準備しておく。
2	演習	舞台監督に関しての基礎知識 を学ぶ。	舞台監督について調べレポートを作成。
3	演習	舞台制作に関しての基礎知識を学ぶ。	舞台監督について調べレポートを作成。
4	演習	舞台監督の持物に関しての基礎を学ぶ。	舞台監督の持物について調べレポートを作成。
5	演習	学園祭に関しての基礎知識を学ぶ。	学園祭の内容について資料を確認しておく。
6	演習	舞台に関しての基礎知識を学ぶ。	舞台について復習レポートを作成。
7	演習	舞台制作に関しての基礎知識を学ぶ。	舞台制作に関して基礎知識1の復習をレポートにまとめる。
8	演習	舞台美術に関しての基礎知識を学ぶ。	舞台美術について復習レポートを作成。
9	演習	舞台制作としての演劇の基礎知識を学ぶ。	演劇について調べ、レポートを作成。
10	演習	舞台監督に関しての知識（応用編）を学ぶ。	舞台監督に関して基礎知識1の復習をまとめる。
11	演習	舞台制作としての演劇の台本分析する。	明日への扉の台本を読んでおく。
12	演習	明日への扉の舞台監督スタッフとして稽古立会いから仕込み、リハーサル進行を行う。	明日への扉現場について復習レポートを作成。
13	演習	明日への扉の舞台監督スタッフとして積込、搬入搬出、仕込み、本番進行、撤収作業の進行を行う。	明日への扉現場について終了報告書を作成。
14	演習	明日への扉の舞台監督について考察する。	次年度明日への扉に向けての資料整理。
15	演習	前期振り返りテストを実施する。	前期まとめのレポートを作成。
準備学習　時間外学習		準備学習：各授業のテーマを調べる。時間外学習：授業日の曜日に必ず復習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

学内に有る全ての機材の使用

科目名	コンサートBasic1 （楽器リペア1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石井正人
学科・コース	音楽テクノロジー科・楽器リペア＆テクニシャンコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	90 6		
教員の略歴	TSMギタークラフトコース卒。2002年フジゲン（株）に入社し、リペアスタッフ長、店舗店長、国内営業所長などを歴任。2011年退社後、フリーランスのセットアッパーとして活動。「パーフェクト・ギター・セットアップ・メソッド」の著者。実務歴16年。						
授業の学習内容	エレキギターやエレキベース、アコースティックギターの基本的な構造や仕組みを理解し、メンテナンス・リペアに対する考え方や手法を学ぶ。そのための半田技術や工具の使い方も習得する。						
到達目標	エレキギター・エレキベース、アコースティックギターのメンテナンス＆リペアの基礎知識と技術を習得する。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	エレキギター・エレキベースの基本的な構造や仕組みを覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
2	演習	アコースティックギターなどの基本的な仕組みを覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
3	演習	エレキギターの基本的なメンテナンス手法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
4	演習	エレキベースの基本的なメンテナンス手法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
5	演習	アコースティックギターの基本的なメンテナンス手法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
6	演習	エレキギター・エレキベースの電気回路について、その基本的な仕組みを覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
7	演習	シールドケーブルの製作方法を身につけると共に、それに必要な半田技術を覚える	半田技術の復習をする。
8	演習	エレキギター・エレキベースのよく起こる電気回路のトラブルについて、その事象や対処方法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
9	演習	ギター・ベースの弦に関わる各部のトラブルについて、その事象や対処方法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
10	演習	ギター・ベースの弦に関わる各部のトラブルについて、その事象や対処方法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
11	演習	アコースティックギターの弦に関わる各部のトラブルについて、その事象や対処方法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
12	演習	明日への扉に参加し、劇中バンドの楽器メンテナンスを行う。	実際のメンテナンス業務の報告と気づいた点をまとめてレポート提出する。
13	演習	明日への扉に参加し、楽器スタッフとしての現場力やコミュニケーション力を養う。	イベント参加で気づいた点をまとめてレポート提出する。
14	演習	これまでに学んだ事を復習しながら、メンテナンスやリペアにおける基本的な考え方、アプローチを自身で考えられる様になる	※授業内に終わらなかった作業は時間外学習とす
15	試験	試験を実施する。	総まとめとしてのレポートを作成。
準備学習　時間外学習		準備学習として、毎回の授業において、良かった事や悪かった事を書き出し、反省、次への対策を練る事を習慣付ける	

【使用教科書・教材・参考書】

各種工具類

科目名	コンサートBasic1 （楽器リペアBasic1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石井正人
学科・コース	音楽テクノロジー科・楽器リペア＆テクニシャンコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	TSMギタークラフトコース卒。2002年フジゲン（株）に入社し、リペアスタッフ長、店舗店長、国内営業所長などを歴任。2011年退社後、フリーランスのセットアッパーとして活動。「パーフェクト・ギター・セットアップ・メソッド」の著者。実務歴16年。						
授業の学習内容	エレキギターやエレキベース、アコースティックギターの基本的な構造や仕組みを理解し、メンテナンス・リペアに対する考え方や手法を学ぶ。そのための半田技術や工具の使い方も習得する。						
到達目標	エレキギター・エレキベース、アコースティックギターのメンテナンス＆リペアの基礎知識と技術を習得する。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	エレキギター・エレキベースの基本的な構造や仕組みを覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
2	演習	アコースティックギターなどの基本的な仕組みを覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
3	演習	エレキギターの基本的なメンテナンス手法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
4	演習	エレキベースの基本的なメンテナンス手法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
5	演習	アコースティックギターの基本的なメンテナンス手法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
6	演習	エレキギター・エレキベースの電気回路について、その基本的な仕組みを覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
7	演習	シールドケーブルの製作方法を身につけると共に、それに必要な半田技術を覚える	半田技術の復習をする。
8	演習	エレキギター・エレキベースのよく起こる電気回路のトラブルについて、その事象や対処方法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
9	演習	ギター・ベースの弦に関わる各部のトラブルについて、その事象や対処方法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
10	演習	ギター・ベースの弦に関わる各部のトラブルについて、その事象や対処方法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
11	演習	アコースティックギターの弦に関わる各部のトラブルについて、その事象や対処方法を覚える	授業内容についての復習レポートを作成。
12	演習	明日への扉に参加し、劇中バンドの楽器メンテナンスを行う。	実際のメンテナンス業務の報告と気づいた点をまとめてレポート提出する。
13	演習	明日への扉に参加し、楽器スタッフとしての現場力やコミュニケーション力を養う。	イベント参加で気づいた点をまとめてレポート提出する。
14	演習	これまでに学んだ事を復習しながら、メンテナンスやリペアにおける基本的な考え方、アプローチを自身で考えられる様になる	※授業内に終わらなかった作業は時間外学習とす
15	試験	筆記試験。試験後は答え合わせを行う事で、更に理解度を深める。	試験で出来なかった箇所について見直し、理解できるようにする。
準備学習　時間外学習		準備学習として、毎回の授業において、良かった事や悪かった事を書き出し、反省、次への対策を練る事を習慣付ける	

【使用教科書・教材・参考書】

各種工具類

科目名	コンサートBasic1 （照明概論1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	林之弘
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明ライティングコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	㈱六工房　代表取締役、日本照明家協会理事、日本照明家協会一級技能士。実務歴27年。						
授業の学習内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける。 ②現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	①前期中に予定されているミュージカル「明日への扉」で、仕込み、本番、撤去のサポートができる。 ②学校機材の名前と使い方がわかる						
評価方法と基準	筆記試験 ※ペーパーテストにて、仕込み、本番、撤去に必要な専門用語、機材知識の理解度を測定。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明を復習する。
2	演習	すぐに必要な専門用語/脚立の安全に使用できる	すぐに必要な専門用語/脚立の安全について復習レポートを作成。
3	演習	機材知識1　フラッドライト、スポットライトが理解できる	機材知識1　フラッドライト、スポットライトについて復習レポートを作成。
4	演習	機材知識2　プロファイルスポット、ノンレンズスポット、パーライトが理解できる	機材知識2　プロファイルスポット、ノンレンズスポット、パーライトについて復習レポートを作成。
5	演習	機材知識3　ムービングライト、効果機が理解できる	機材知識3　ムービングライト、効果機について復習レポートを作成。
6	演習	電球、フィルター、ゴボ、ケーブル知識①が理解できる	電球、フィルター、ゴボ、ケーブル知識①について復習レポートを作成。
7	演習	公演が行われる場の人たちが理解できる	公演が行われる場の人たちについて復習レポートを作成。
8	演習	舞台における照明の仕事が理解できる	舞台における照明の仕事について復習レポートを作成。
9	演習	照明実務1　ミュージカル公演に向けて・公演準備（持ち物:明日への扉上演台本)ができる	照明実務1　ミュージカル公演に向けて・公演準備について復習レポートを作成。
10	演習	照明実務2　仕込み図を読む/ミュージカル公演を題材に図面を読解できる	仕込み図について復習レポートを作成。
11	演習	照明実務3　ピンスポット・フォロー/ミュージカル公演を題材に基本動作ができる	ピンスポット・フォロー/ミュージカル公演について復習レポートを作成。
12	演習	「明日への扉」スタッフとして参加し、照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13	演習	「明日への扉」スタッフとして参加し、舞台照明の演出を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	試験	前期まとめテスト	テストの振り返り。出来なかった部分の確認。
15	演習	前期のまとめを行い、明日への扉の各セクション報告書を作成する。	前期まとめの復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

iPad版　ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞

科目名	コンサートBasic2 （PA Basic2）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	新部有亮
		授業形態	演習	総時間（単位）	90 6		
学科・コース	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース						
教員の略歴	株式会社フライアウト企画に属し、PAエンジニアとして活動している。実務歴12年。						
授業の学習内容	PAエンジニアとしての基本を身につける。前期に引き続き、基礎的な技術を学ぶのは勿論のこと、授業内でもグループ作業の割合が増してゆくため、リーダーシップを身につけ自分で考える能力を養う。他者の意見を取り入れ、より良い作業効率を見つけ出してゆく。						
到達目標	コミュニケーション能力をさらに高めてゆく。アナログ機器だけでなくデジタル機器にも対応できる知識を身につけることが出来る。						
評価方法と基準	実技試験にて評価　100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	信号分岐。ハウスミキサー、モニターミキサーの頭分けを理解する。EFXやダイナミクス系を設営できるようにする。	信号分岐、EFXやダイナミクス系の設営について復習レポートを作成。
2	演習	設営実習①ハウス、モニター、ステージそれぞれに分かれて設営を学習する。	ハウス、モニター、ステージの設営について復習レポートを作成。
3	演習	設営実習②スピーカーチューニング(技法)について学習する。	スピーカーチューニング(技法)について復習レポートを作成。
4	演習	設営実習③作業の効率化を考えながら、少人数で設営できるようになる。	教室を使って少人数で設営できるように復習しておく。
5	演習	デジタル卓を理解する①LS-9,X-32などでデジタル卓の設定方法を理解する。	デジタル卓を理解するLS-9,X-32などでデジタル卓の設定方法について復習レポートを作成。
6	演習	アメリカのPAエンジニアの考え方を学び、日本との違いを知る。	授業内容について復習レポートを作成する。
7	演習	デジタル卓を理解する②	デジタル卓について復習レポートを作成。
8	演習	デジタル卓を理解する③	デジタル卓について復習レポートを作成。
9	演習	ライブ実習①　インストバンドのサウンドチェックを学習する	インストバンドのサウンドチェックについて復習レポートを作成。
10	演習	ライブ実習②　ヴォーカル&バンドのサウンドチェックを学習する。	ヴォーカル&バンドのサウンドチェックについて復習レポートを作成。
11	演習	ライブ本番実習①　ボーカル＆バンドのライブ本番を経験する。	ボーカル＆バンドのライブ本番について復習レポートを作成。
12	演習	卒業進級制作展のスタッフとして参加し、仕込み、リハーサルをする。	イベントに向けて打合せ、リハーサル立会いなど準備をしっかり行ない、レポートを作成。
13	演習	卒業進級制作展のスタッフとして参加し、本番、撤収作業をする。	イベントの本番、バラシなどをしっかり行ない、レポートを作成。
14	演習	ライブ本番実習②　ボーカル＆バンドのライブ本番を経験する。	ボーカル＆バンドのライブ本番について復習レポートを作成。
15	演習	復習テストを実施。	後期総まとめをレポート作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートやイベントに向けたプランを作成する。	

【使用教科書・教材・参考書】　PA入門

科目名	コンサートBasic2 （照明Basic2）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐々木 治郎
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明ライティング	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	大手照明会社に11年間勤務し、他方面の照明オペレートを経験。現在フリーランスの照明家として活動。実務歴26年。						
授業の学習内容	本格的に演習授業中心の内容で、仕込みバラシ、シュート明かり作りなど基礎となる現場の流れや現場に入る前の準備符割りデータ作りなどより実践に近いことを学び二年目に応用力を持てる人材になれる人間力を覚える。						
到達目標	前期の知識を応用し、次のステップへ。シュートの技術や効率のいい方法を考えたり照明プランニングする為の基礎知識を学び二年に上がる為の舞台人基礎力マスターを学ぶ。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	器材、ケーブル等のメンテナンスや機材の仕組みや工具の使い方を理解する	器材、ケーブル等のメンテナンスや機材の仕組みや工具の使い方について復習レポート作成
2	演習	明かりつくり①照明データの書き方作り方、用紙作成の書き方を学ぶ	明かりつくりについて復習レポートを作成。
3	演習	物の見え方、効果など光の基本を学ぶ	物の見え方、効果など光の基本について復習レポートを作成。
4	演習	フォーカス①の仕方を学ぶ	フォーカスの仕方について復習レポートを作成。
5	演習	フォーカス②の考え方を学ぶ	フォーカスの考え方について復習レポートを作成。
6	演習	シーン①意味や考え方テクニックを学ぶ	シーンの意味や考え方テクニックについて復習レポートを作成。
7	演習	シーン②仕込み図の考え方と方法論を学ぶ	仕込み図の考え方と方法論について復習レポートを作成。
8	演習	舞台照明効果の理解する	舞台照明効果について復習レポートを作成。
9	演習	明かり作り②データ用紙作成する	音源とデータ用紙の準備。
10	演習	明かり作り③前週のデータを実際に照明してみる	音源とデータ用紙の準備。
11	演習	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
12	演習	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明オペレートの実践と撤収作業を学ぶ。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13	演習	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明オペレートの実践と撤収作業を学ぶ。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	演習	イベントの明かりを実際に作る	音源とデータ用紙の準備。
15	試験	復習試験	講義の振り返り
準備学習　時間外学習		授業内容についての復習レポートの作成、明かり作りの音源選曲とデータ用紙を準備する。	

【使用教科書・教材・参考書】

ステージ舞台入門

科目名	コンサートBasic2 （ムービングBasic2）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	橋本真也
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明ライティング	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	TSM卒業後、照明会社PACに就職し、現在はフリーランスの照明家として、ライブやコンサート、芝居、施設照明のプランニング、ムービングライトのオペレーターとして活躍。実務歴17年。						
授業の学習内容	現代のコンサートや舞台、その他様々なイベントに於ける照明演出で必須となったムービングライト。その特性と機能を学ぶことは、照明会社に就職する上でも非常に有利な条件となります。照明概論や照明BASICとも連動し、学校行事や企業プロジェクトイベント等でオペレートができるように、また将来的にエンターテイメント業界で活躍できる人材となれるよう指導していきます。						
到達目標	ムービングライトの仕込みが出来、基本的な操作から扱い方、メンテナンス、トラブル対応、ムービングライトでできる演出方法を身につけます。 ムービング卓グランドMAの操作方法を身につけ、簡単なシーンの作成、修正から実践でも対応できるようになります。 何度も触って、失敗して、機材に慣れることが大切だと考えます。						
評価方法と基準	定期試験（実技試験）にて評価。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	パッチの仕方についての基本を学ぶ。	授業で学んだ内容を復習し、覚える。
2	演習	様々なエフェクトの知識と基本操作を学ぶ。	授業で学んだ内容を復習し、覚える。
3	演習	様々なエフェクトの知識と基本操作を学ぶ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
4	演習	仕込みに関して、あらためて理解を深める。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
5	演習	調光卓エヴォライト社のパールやアリーナでのムービングライト操作方法を学ぶ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
6	演習	ムービング卓GrandMA1,2onPC操作方法を学ぶ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
7	演習	ムービング卓GrandMA3Dについて学び理解する。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
8	演習	小復習をする。	復習として今までに学んだ内容に聞き逃しがないかを確認し、質問事項にしてまとめる。
9	演習	VIEW作成方法について学ぶ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
10	演習	シーケンスの設定関連について学ぶ。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
11	演習	マトリックス、クイッキーを詳しく理解する。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
12	演習	進級制作展照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となるムービングの仕込み、扱い方、プランニング、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13	演習	卒業制作展照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となるムービングの仕込み、扱い方、プランニング、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	演習	明かり作りの練習をする。	ディスカッションを行ない、互いの感想、意見からの学びを得る。
15	試験	明かり作り練習／後期復習試験を実施する。	ディスカッションを行ない、互いの感想、意見からの学びを得る。
準備学習　時間外学習		基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートBasic2 （イベントスタッフワークBasic2）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	大島直子
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作＆ステージデザイナー、コンサート企画制作コース	授業形態	演習	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	イベントやコンサートの制作・進行、事務局、発表会、企業物などオールジャンルの仕事をしています。実務歴17年。						
授業の学習内容	2年生は卒業制作であり、「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」のイベントにおける制作業務を学び、報告書の作成を学ぶ。1年間の集大成のイベントを各学科・コースや合同日（葛西校）を連携しながら、進行及び制作業務を行う。						
到達目標	各学科・コースの枠を超えて、 イベントを新規で作り上げていく為のコミュニケーション能力を身につけることが出来る。 イベント本番の役割をシミュレーションし、事前準備の大切さや見やすい資料作成の基本を習得することが出来る。						
評価方法と基準	実技試験（イベントでの制作業務と作成された報告書を評価する。） 50% 資料作成のレポート提出を評価 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の概要説明、舞台・制作・運営のチーム分け、演目担当分け、各担当ごとに連絡先交換と各グループで挨拶を行う。	今後1つのチームとして作業するため、授業以外でもコミュニケーションをとる意識を持つ。
2	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の演目について理解する。	授業内容について復習しレポートを作成。
3	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の昨年の映像確認し、内容を把握する。	映像データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。
4	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の昨年の映像確認と舞台監督と制作の役割・内容を理解する。	映像データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。
5	演習	各演目担当チームごとに、担当教務に挨拶にいく。	イベント資料を管理し、チームで共有する環境を整えておく。
6	演習	各演目の現状確認（報告会）、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	申し送り事項について復習しレポートを
7	演習	各演目の現状確認（報告会）、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	※舞台・運営と合同ミーティング 情報共有をする。
8	演習	各演目の現状確認（報告会）、必要資料を作成する 制作チームごとにミーティングとシーバーの使い方を学ぶ。※資料の締め切り確認 ※葛西制作と顔合わせ	授業内容について復習しておく。
9	演習	各演目の現状確認（報告会）、必要資料を作成する。 リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。
10	演習	各演目の現状確認（報告会）、必要資料を作成する。 リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。
11	演習	各演目の現状確認（報告会）、必要資料を作成する。 リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。
12	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の制作スタッフとしてイベントに取り組む。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかり行なう。
13	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の制作スタッフとしてイベントに取り組む。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかり行なう。
14	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の終了報告書作成。 各演目・担当ごとに反省会・次回にむけての改善点を共有する。2年生から1年生への引き継ぎを行う①。	終了報告書作成のための資料をまとめ
15	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の 今年の映像確認し、振り返りを行う。2年生から1年生への引き継ぎ資料の作成を行う②。	引き継ぎ事項をまとめておく。
準備学習 時間外学習		打合せや授業内容についての資料やレポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年のweare公演DVD/学内PC(4F)/昨年の資料（2年生）

科目名	コンサートBasic2 （舞台監督演習Basic2）	必修 選択	選択	年次	1 年	担当教員	北　英樹
学科・コース	舞台制作コース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年。						
授業の学習内容	舞台制作に関する 基礎知識 についての 講義 及び 実技						
到達目標	舞台制作に関してしての 基礎知識 の 理解						
評価方法と基準	1. 実技試験（ 30% ） 2 .筆記試験（ 70% ）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	舞台制作に関しての応用を学ぶ	舞台制作の授業の復習レポートを確認しておく。
2	演習	舞台機構に関しての復習をする。	舞台機構について復習レポートを確認しておく。
3	演習	舞台監督に関しての復習をする。	舞台監督について復習レポートを確認しておく。
4	演習	演劇に関しての応用知識を学ぶ。	演劇について調べ、レポートを作成。
5	演習	舞台制作の作成する資料について学ぶ。	作成した資料の復習をする。
6	演習	アメリカのエンターテイメントにおける舞台監督についてを学ぶ	授業内容について復習レポートの作成。
7	演習	シルク・ドゥ・ソレイユのステージディレクターの役割についてを学ぶ	授業内容について復習レポートの作成。
8	演習	楽器に関しての復習をする。	楽器知識授業の復習レポートを作成。
9	演習	進級展の舞台制作について学ぶ。	進級制作展の内容を把握しておく。
10	演習	We are TSM渋谷に関しての基礎知識を学ぶ。	We are TSM渋谷とは何か 調べる
11	演習	We are TSM渋谷の舞台制作を学ぶ。	We are TSM渋谷の舞台制作に関して調べる
12	演習	We are TSM渋谷にスタッフとして参加する。	打合せ、リハーサル立会い、資料の作成。
13	演習	We are TSM渋谷にスタッフとして参加する。	撤収作業から現状復帰までを行なう。
14	演習	We are TSM渋谷の終了報告資料をまとめる。	次年度に向けての資料修正をする。
15	試験	復習試験の実施。	後期のまとめをレポート作成する。
準備学習　時間外学習		準備学習：各授業のテーマを調べる。時間外学習：授業日の曜日に必ず復習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

学内に有る全ての機材の使用

科目名	コンサートBasic2 （楽器リペア2）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	石井正人
学科・コース	音楽テクノロジー科・楽器リペア＆テクニシャンコース	授業形態	演習	総時間（単位）	90 6		

教員の略歴	TSMギタークラフトコース卒。2002年フジゲン（株）に入社し、リペアスタッフ長、店舗店長、国内営業所長などを歴任。2011年退社後、フリーランスのセットアッパーとして活動。「パーフェクト・ギター・セットアップ・メソッド」の著者。実務歴16年。
授業の学習内容	エレキギターやエレキベース、アコースティックギターの基本的な構造や仕組みを理解し、メーカーによる楽器の特徴を理解してメンテナンス・リペアに対する考え方や手法を学ぶ。さらにはエフェクターについても同様に構造や仕組みを理解し、楽器リペアの総合的な技術と知識を学ぶ。
到達目標	エレキギター・エレキベース、アコースティックギターのメンテナンス＆リペアの基礎知識と技術を習得する。
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	ピックアップの交換方法と、ピックアップによるサウンドの変化を理解する	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
2	演習	Fender系ギター・ベースのナットの交換方法を覚える	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
3	演習	Gibson系・アコースティックギターのナット交換方法を覚える	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
4	演習	ボルトオンネックギター・ベースのフレットの擦り合わせの手順、方法を覚える	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
5	演習	セットネックギター・ベースのフレットの擦り合わせの手順、方法を覚える	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
6	演習	エフェクターの基本的な構造を知り、製作技術を身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
7	演習	エフェクターの基本的な構造を知り、製作技術を身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
8	演習	ギター・ベースの総合的な修理の手順や総合的な判断力、考え方などを身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
9	演習	ギター・ベースの総合的な修理の手順や総合的な判断力、考え方などを身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
10	演習	ギター・ベースの総合的な修理の手順や総合的な判断力、考え方などを身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
11	演習	ギター・ベースの総合的な修理の手順や総合的な判断力、考え方などを身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
12	演習	明日への扉に参加し、劇中バンドの楽器メンテナンスを行う。	実際のメンテナンス業務の報告と気づいた点をまとめてレポート提出する。
13	演習	明日への扉に参加し、楽器スタッフとしての現場力やコミュニケーション力を養う。	イベント参加で気づいた点をまとめてレポート提出する。
14	演習	これまでに学んだ事を復習しながら、メンテナンスやリペアにおける総合的な考え方、アプローチを自身で考えられる様になる	※授業内に終わらなかった作業は時間外学習とす
15	試験	セットアップアレンジの実習　前回授業をテスト形式で行い、その仕上がり具合や理解度を見る	総まとめとしてのレポートを作成。
準備学習　時間外学習		準備学習として、毎回の授業において、良かった事や悪かった事を書き出し、反省、次への対策を練る事を習慣付ける	

【使用教科書・教材・参考書】

各種工具類

科目名	コンサートBasic2 （楽器リペアBasic2）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石井正人
学科・コース	音楽テクノロジー科・楽器リペア＆テクニシャンコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	TSMギタークラフトコース卒。2002年フジゲン（株）に入社し、リペアスタッフ長、店舗店長、国内営業所長などを歴任。2011年退社後、フリーランスのセットアッパーとして活動。「パーフェクト・ギター・セットアップ・メソッド」の著者。実務歴16年。						
授業の学習内容	エレキギターやエレキベース、アコースティックギターの基本的な構造や仕組みを理解し、メーカーによる楽器の特徴を理解してメンテナンス・リペアに対する考え方や手法を学ぶ。さらにはエフェクターについても同様に構造や仕組みを理解し、楽器リペアの総合的な技術と知識を学ぶ。						
到達目標	エレキギター・エレキベース、アコースティックギターのメンテナンス＆リペアの基礎知識と技術を習得する。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	ピックアップの交換方法と、ピックアップによるサウンドの変化を理解する	
2	演習	Fender系ギター・ベースのナットの交換方法を覚える	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
3	演習	Gibson系・アコースティックギターのナット交換方法を覚える	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
4	演習	ボルトオンネックギター・ベースのフレットの擦り合わせの手順、方法を覚える	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
5	演習	セットネックギター・ベースのフレットの擦り合わせの手順、方法を覚える	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
6	演習	エフェクターの基本的な構造を知り、製作技術を身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
7	演習	エフェクターの基本的な構造を知り、製作技術を身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
8	演習	ギター・ベースの総合的な修理の手順や総合的な判断力、考え方などを身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
9	演習	ギター・ベースの総合的な修理の手順や総合的な判断力、考え方などを身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
10	演習	ギター・ベースの総合的な修理の手順や総合的な判断力、考え方などを身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
11	演習	ギター・ベースの総合的な修理の手順や総合的な判断力、考え方などを身につける	授業内容についての復習をしてレポートにまとめる。
12	演習	これまでに学んだ事を復習しながら、メンテナンスやリペアにおける総合的な考え方、アプローチを自身で考えられる様になる	※授業内に終わらなかった作業は時間外学習と
13	演習	卒業制作展に参加し、出演バンドの楽器メンテナンスを行う。	実際のメンテナンス作業の報告と気づいた点をまとめてレポート提出する。
14	演習	卒業制作展に参加し、楽器スタッフとしての現場力やコミュニケーション力を養う。	イベント参加で気づいた点をまとめてレポート提出する。
15	試験	筆記試験と実技試験を実施。 試験後は答え合わせを行う事で、更に理解度を深める。	試験後は答え合わせを行う事で、更に理解度を深める。
準備学習　時間外学習		準備学習として、毎回の授業において、良かった事や悪かった事を書き出し、反省、次への対策を練る事を習慣付ける。	

【使用教科書・教材・参考書】

各種工具類

科目名	コンサートテクニック1 （PAワークショップ1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	東徹郎 松本義正
学科・コース	音楽テクノロジー科 PAエンジニアコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 8		
教員の略歴	東：エムテック所属のPAエンジニアとして、数多くのコンサートやイベント等を手掛ける。実務歴34年。 松本：フリーランスのPAエンジニアとして、数多くのコンサートやイベント等をてがける。実務歴30年。						
授業の学習内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 打合せ、プランニング、仕込み、リハーサル、サウンドチェック、本番、バラシの一連の流れを実際のイベントを通して学び、経験とする。						
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に同セクション内の人間関係をも構築する。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者などとの良好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	顔合わせ自己紹介、機材の持ち方と安全管理について学ぶ。	機材の持ち方と安全管理について復習レポートを作成。
2	演習	マイクとスタンドの種類、ケーブルの巻き方を学ぶ。	マイクとスタンドの種類、ケーブルの巻き方について復習レポートを作成。
3	演習	PA仕込みの練習を行なう。	PA仕込みについて復習レポートを作成。
4	演習	仕込み練習・学園祭セクション決めを行なう。	学園祭セクションで打合せを行なう。
5	演習	仕込み練習・学園祭プランを立てる。	学園祭プランを立てるための打合せや稽古立会い等を行なう。
6	演習	学園祭反省会・明日への扉映像を見た上でセクションを決める。	学園祭反省会・明日への扉映像を見た上でセクションを決める。
7	演習	仕込み練習/LIVE8を学ぶ。	仕込み練習/LIVE8を学ぶ。
8	演習	仕込み練習/Work Benchを学ぶ。	仕込み練習/Work Benchを学ぶ。
9	演習	仕込み練習/DVSを学ぶ。	仕込み練習/DVSを学ぶ。
10	演習	外部ホール実習①外部ホールでの搬入搬出、仕込み、舞台機構、使用マナー等を学ぶ。	外部ホール実習①外部ホールでの搬入搬出、仕込み、舞台機構、使用マナー等を学ぶ。
11	演習	ホール実習②外部ホールで音環境を理解する。	ホール実習②外部ホールで音環境を理解する。
12	演習	ホール実習③外部ホールでのライブシミュレーションを行なう。	ホール実習③外部ホールでのライブシミュレーションを行なう。
13	演習	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14	演習	明日への扉スタッフとして参加し、本番、ばらしを行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、本番、ばらしを行なう。
15	試験	筆記試験と実技試験	筆記試験と実技試験
準備学習　時間外学習		授業内容の復習をレポートとして作成する。イベント等の打合せ、リハーサル立会い、プランニングや資料作成を行なう。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック1 （照明ワークショップ1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐々木治郎 鈴木昌広
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明スタッフ、照明ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ	授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 8		
教員の略歴	佐々木：大手照明会社に11年間勤務し、他方面の照明オペレートを経験。現在フリーランスの照明家として活動。実務歴26年。 鈴木：フリーランスの照明家として、コンサートやイベントで活動。実務歴25年。						
授業の学習内容	舞台照明の仕事をするにあたり、基礎を踏まえた内容の授業をメインとする。現場で求められる人間性、技術力、行動力などの人材育成を目的とした実習として、ベーシック、アドバンスを活かした現場総合力を身につけるための授業。実習を繰り返すことで現場で求められる基礎知識と動きなどを覚え即戦力になる人材を育成する。						
到達目標	照明基礎のベーシック、アドバンスを活かしたより実践的な技術の習得と学年を超えた照明スタッフとしてのコミュニケーション力を学び、より現場らしい業務内容の体験の中で社会人になる意識を持たせる。メンテナンスを通じて器材の仕組みや工具の使い方を学ぶ。仕込みバラシと明かり作り作業の反復練習で照明効果の理解をする。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	火曜の授業の確認や学校イベントなどの把握と協調関係の大事さなどを学ぶ。	授業時に取ったメモを見返して理解を深める。
2	演習	教室機材の器材を覚える。	授業で学んだ内容を復習する。
3	演習	実際に明かりを出しながら基本明かりの解説をし、理解する。	授業で学んだ内容を復習する。
4	演習	光と影が表わす印象と表現を理解する。	授業で学んだ内容を復習する。
5	演習	光の方向性や色から受けるイメージを感じる。	様々なイメージを日常や映像を通して膨らませる。
6	演習	テーマに沿った明かりを表現してみる。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
7	演習	電気基礎の理解をする。	授業内容に即した課題をレポートとして提出する。
8	演習	調光信号とユニットの理解をする。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
9	演習	仕込み図を作成する。	授業で学んだ内容を復習する。
10	演習	仕込みバラシをしてみる。	前週の仕込み図を完成させる。
11	演習	前期を終えるにあたり質問復習をする。	質問疑問をまとめてくる。
12	演習	イベントに向けての事前準備をする。	台本や資料に目を通しておく。
13	演習	「明日への扉」照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	演習	「明日への扉」照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	試験	実技試験と筆記試験を行う。	自身で答え合わせをし、分からなかった事について調べクリアにしておく。
準備学習　時間外学習		常に帰ってからの復習と理解を深め、実習や現場での動きに活かせるようにする。	

【使用教科書・教材・参考書】

ステージ舞台入門

科目名	コンサートテクニック1 （舞台制作ワークショップ1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	90 6		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督を担当。実務歴25年。						
授業の学習内容	テキストを中心に舞台の基礎を学び、アイドルイベントやお笑いイベント、学園祭、明日への扉公演の舞台監督、舞台制作スタッフに必要な知識と技術を実践的に学ぶ。						
到達目標	●知識と基に、作業工程や操作法を身につけることが出来る。 ●舞台全体を把握できる能力を身に付けることが出来る。 ●座学と実習を繰り返して、舞台監督としての成長を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	前期講義と舞台制作についての概要説明のオリエンテーションを行う。	自己紹介内容の準備をする。
2	演習	基本用語（舞台用語）を学ぶ。	スタッフ赤本の復習レポート作成と予習
3	演習	基本用語（舞台セット）を学ぶ。	スタッフ赤本の復習レポート作成と予習
4	演習	基本用語（舞台進行）を学ぶ。	イベント打合せ、資料の作成
5	演習	学園祭準備を通して制作を学ぶ。	イベント打合せ、資料の作成
6	演習	学園祭反省会と引き継ぎ作業を行う。	学園祭時に使用した資料の整理をする。
7	演習	基本用語（各セクション）を学ぶ。	実習準備
8	演習	舞台備品（箱馬・平台）について理解する	実習準備
9	演習	舞台備品（幕）について理解する。	イベント打合せ、資料の作成
10	演習	舞台備品（ステージ設営）について理解する。	イベント打合せ、資料の作成
11	演習	舞台備品（大道具部材）について理解する。	授業内容を復習しレポートを作成。
12	演習	舞台備品（繋ぐ・切る・結ぶ）について理解す	授業内容を復習しレポートを作成。
13	演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	打合せ、稽古立会い、資料の作成。
14	演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	撤収作業から現状復帰までを行なう。
15	試験	前期まとめと復習試験を実施する。	前期のまとめを復習しレポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	

【使用教科書・教材・参考書】

スタッフ赤本・コース教材（メジャー・手袋・カッター）

科目名	コンサートテクニック1 （楽器テクニシャンワークショップ1）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	水見博
学科・コース	音楽テクノロジー科楽器ﾘﾍﾟｱ&ﾃｸﾆｼｬﾝｺｰｽ	授業 形態	演習	総時間 （単位）	90 6		
教員の略歴	株式会社チームアクティブにて楽器テクニシャン、舞台監督として活動。実務歴26年。						
授業の学習内容	楽器テクニシャンとして基礎、機材メンテナンス、現場における所作まで実習を伴い学習する。 ドラムセットのセッティング、ギター、ベース、アンプなどの扱い方、電源の取り方、サウンドメイキングなどを学び、アーティストとの関わり方やマナーも身につけて即戦力を養う。						
到達目標	楽器テクニシャンとして　学内でのライブイベント等の現場を経験し、対応力、コミュニケーション、機材メンテナンスなどの技術を身につけることで、楽器テクニシャンとしての職業選択を持たせ、アーティストから必要とされる知識、技術を身につけることが出来る。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	前期講義と楽器テクニシャンについての概要説明のオリエンテーションを行	スケジュールの調整と必要な道具、備品を揃える。
2	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（1）	メンテナンス機材の選定をする。
3	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（2）	メンテナンス機材の復旧確認をする。
4	演習	学内イベントに向けて考査、考察（1）	イベント実施内容資料収集
5	演習	学内イベントで現場に必要な知識と技術を学ぶ。	実施イベント資料の復習
6	演習	学園祭楽器テクニシャン業務について考査する。	実施イベント資料に基づいての考察
7	演習	学園祭反省会と終了報告書作成する。	実施イベント資料に基づいての考察
8	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（3）	メンテナンス機材の選定
9	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（4）	メンテナンス機材の復旧確認
10	演習	ミュージカル明日への扉について考察する。	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察
11	演習	校内機材への深認識、再確認をし共有する。	校内機材の使用方向考察
12	演習	学内イベントに向けて考査、考察（2）	イベント実施内容の収集と資料作成。
13	演習	明日への扉で楽器テクニシャンスタッフの実践経験を積む。	明日への扉の資料作成と反省点をまとめる。
14	演習	明日への扉で楽器テクニシャンスタッフの実践経験を積む。	明日への扉の資料作成と反省点をまとめる。
15	試験	復習テスト	前期のまとめをレポート作成する。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポート、イベントの打合せ、資料の作成をおこなう。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック2 （PAワークショップ2）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	東徹郎 松本義正
学科・コース	音楽テクノロジー科 PAエンジニアコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 8		
教員の略歴	東：エムテック所属のPAエンジニアとして、数多くのコンサートやイベント等を手掛ける。実務歴34年。 松本：フリーランスのPAエンジニアとして、数多くのコンサートやイベント等をてがける。実務歴30年。						
授業の学習内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 進級制作展、卒業制作展を成功に導くためのプランニングやオペレーションを学ぶ。						
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に同セクション内の人間関係をも構築することが出来る。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者などとの良好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	仕込練習/LS9の操作方法を修得する。	LS9の操作方法について復習レポートを作成。
2	演習	仕込練習/X32の操作方法を修得する。	X32の操作方法について復習レポートを作成。
3	演習	仕込練習/QL5の操作方法を修得する。	QL5の操作方法について復習レポートを作成。
4	演習	仕込練習/CL5の操作方法を修得する。	CL5の操作方法について復習レポートを作成。
5	演習	仕込練習/SD8の操作方法を修得する。	SD8の操作方法について復習レポートを作成。
6	演習	外部ホール実習④外部ホールでのアコギ弾き語りライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのアコギ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
7	演習	外部ホール実習④外部ホールでのピアノ弾き語りライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのピアノ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
8	演習	ホール実習③外部ホールでのバンドライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのバンドライブについて復習レポートを作成。
9	演習	We are TSM渋谷のセクション決めを行ない、打合せをする。	セクションごとの打合せ内容をまとめ資料を作成する。
10	演習	We are TSM渋谷打合せ、プランニングをする。	We are TSM渋谷プランの整理をする。
11	演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。（1）	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
12	演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。（2）	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
13	演習	We are TSM渋谷に参加し、プランニング、リハーサル立会い、資料作成を行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14	演習	We are TSM渋谷に参加し、積込、搬入搬出、仕込みから本番、バラシまで行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、本番、ばらしを行なう。
15	試験	We are反省会、アーカイブ作成を行う。	筆記試験と実技試験
準備学習　時間外学習		授業内容の復習をレポートとして作成する。イベント等の打合せ、リハーサル立会い、プランニングや資料作成を行なう。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック2 （照明ワークショップ2）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐々木治郎 鈴木昌広
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明スタッフ、照明ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ	授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 8		
教員の略歴	佐々木：大手照明会社に11年間勤務し、他方面の照明オペレートを経験。現在フリーランスの照明家として活動。実務歴26年。 鈴木：フリーランスの照明家として、コンサートやイベントで活動。実務歴25年。						
授業の学習内容	舞台照明の仕事をするにあたり基礎を踏まえた内容の授業をメインとし現場で求められる人間性、技術力、行動力などの人材育成を目的とした実習としベーシック、アドバンスを活かした現場総合力を身につけるための授業。実習を繰り返すことで現場で求められる基礎知識と動きなどを覚え即戦力になる人材を育成する。						
到達目標	照明基礎のベーシック、アドバンスを活かしたより実践的な技術の習得と学年を超えた照明スタッフとしてのコミュニケーション力を学び、より現場らしい業務内容の体験の中で社会人になる意識を持つことができる。 メンテナンスを通じて器材の仕組みや工具の使い方を学ぶ。仕込みバラシと明かり作り作業の反復練習で照明効果の理解を深める。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
2	演習	照明においてのメンテナンス技術を身につける	工具を持ってくる準備
3	演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
4	演習	内容考察や符割りプランニングなどの理解する	資料
5	演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
6	演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
7	演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
8	演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
9	演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につけること	仕込み図を完成させ当日発表
10	演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
11	演習	卒業公演に向けての机上準備を学ぶ	各種資料
12	演習	後期まとめとして質問や復習	教科書ノートなどのおさらい
13	演習	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	演習	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	試験	実技試験と筆記試験を行う。	自身で答え合わせをし、分からなかった事について調べクリアにしておく。
準備学習　時間外学習		常に帰ってからの復習と理解を深め、実習や現場での動きに活かせるようにする。	

【使用教科書・教材・参考書】

ステージ舞台入門

科目名	コンサートテクニック2 （舞台制作ワークショップ2）	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	90 6		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督を担当。実務歴25年。						
授業の学習内容	アイドルイベントやお笑いイベント等を通して舞台監督、舞台制作スタッフに必要な知識と技術を実践的に学ぶ。 また、実習にて舞台機構を操作し習得する。 卒業進級制作展に向けての打合せや作業を行なう。						
到達目標	舞台公演に必要な知識・使用操作方技術を身につけ、公演の進行を自分自身で行えるようになる。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	前期授業の振り返りと後期講義のオリエンテーションを行う。	PC操作・スタッフ赤本の復習
2	演習	卒業進級制作展開催役割分担を行い、組織体制作りを学ぶ。	授業内容の整理。
3	演習	地絣り・カーペットを敷くスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
4	演習	幕を吊る・道具を飾るスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
5	演習	コンサートホールを理解し、舞台セットを考察する。	授業内容の復習、資料のまとめをレポートとして作成。
6	演習	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
7	演習	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
8	演習	卒業進級制作展の制作スケジュールを管理し、演出内容について考察する。	打合せ、資料作成。
9	演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う①。	打合せ、資料作成し、仕込み作業を行う
10	演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う②。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
11	演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う③。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
12	演習	進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う④。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
13	演習	卒業進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う⑤。	打合せ、リハーサル立会い、資料の作成。
14	演習	卒業進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う⑥。	撤収作業から現状復帰までを行なう。
15	試験	復習試験を実施する。	復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	

【使用教科書・教材・参考書】

スタッフ赤本

科目名	コンサートテクニック2 （楽器テクニシャンワークショップ2）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	水見博
学科・コース	音楽テクノロジー科楽器ﾘﾍﾟｱ&ﾃｸﾆｼｬﾝｺｰｽ	授業 形態	演習	総時間 （単位）	90 6		
教員の略歴	株式会社チームアクティブにて楽器テクニシャン、舞台監督として活動。実務歴26年。						
授業の学習内容	楽器テクニシャンとして基礎、機材メンテナンス、現場における所作まで実習を伴い学習する。 ドラムセットのセッティング、ギター、ベース、アンプなどの扱い方、電源の取り方、サウンドメイキングなどを学び、アーティストとの関わり方やマナーも身につけて即戦力を養う。						
到達目標	楽器テクニシャンとして　学内でのライブイベント等の現場を経験し、対応力、コミュニケーション、機材メンテナンスなどの技術を身につけることが出来る、楽器テクニシャンとしての職業選択を持たせ、アーティストから必要とされる知識、技術を身につける。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	前期講義と楽器テクニシャンについての概要説明のオリエンテーションを行	スケジュールの調整と必要な道具、備品を揃える。
2	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（5）	メンテナンス機材の選定をする。
3	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（6）	メンテナンス機材の復旧を確認しておく。
4	演習	学内イベントに向けて考査、考察（3）	イベント実施内容資料を収集する。
5	演習	学内イベントに向けて考査、考察（4）	イベント実施内容資料を収集する。
6	演習	学内イベントに向けて考査、考察（5）	イベント実施内容資料を収集する。
7	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（7）	メンテナンス機材の選定をする。
8	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（8）	メンテナンス機材の復旧を確認しておく。
9	演習	WE ARE TSM渋谷への考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察
10	演習	WE ARE TSM渋谷リハーサルの準備、考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察
11	演習	WE ARE TSM渋谷リハーサルの準備、考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察
12	演習	WE ARE TSM渋谷外部ホールリハーサルの準備、考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察
13	演習	WE ARE TSM渋谷のスタッフとして現場実習を行う。	WE ARE TSM渋谷の打合せ、資料作成。
14	演習	WE ARE TSM渋谷のスタッフとして現場実習を行う。	WE ARE TSM渋谷終了報告書を作成する。
15	試験	復習試験	後期のまとめを作成する。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習と各種イベントの打合せ、資料作成をする。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	舞台機構調整士1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小瀬高夫
学科・コース	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	一級舞台機構調整技能士。株式会社ヴァーゴ設立。2010年より(株)サンフォニックス入社。実務歴41年。						
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	講師紹介、他人紹介、授業の進め方、教科書についての説明。ケーブル巻きを学ぶ。	シラバス、教科書、確認しておく事。
2	講義	ケーブル、マイクスタンド、ホルダー、マイクについての知識を学ぶ。	ケーブル、マイクスタンド、ホルダー、マイクについて復習レポートを作成。
3	講義	スピーカー、スピーカースタンドについての知識を学ぶ。	スピーカー、スピーカースタンドについて復習レポートを作成。
4	講義	ブロックダイヤグラム、ミキシングコンソール、パワーアンプについての知識を学ぶ。	ブロックダイヤグラム、ミキシングコンソール、パワーアンプについて復習レポートを作成。
5	講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその1について復習レポートを作成。
6	講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその2について復習レポートを作成。
7	講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその3について復習レポートを作成。
8	講義	簡易PAセットにCDを接続し、AUXの使い方とリバーブの接続を学ぶ。	CD接続、AUX,リバーブについて復習レポートを作成。
9	講義	上記のセットにさらにGEQを接続する方法を身につける。	GEQ接続について復習レポートを作成。
10	講義	上記にさらにモニタースピーカーを接続する方法を身につける。	モニタースピーカー接続について復習レポートを作成。
11	講義	上記全セットの組み上げと調整の仕方を身につける。	上記セットを各自組み上げ、調整1について復習レポートを作成。
12	講義	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13	講義	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プランを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	講義	PA簡易セット～モニタースピーカー接続までの全工程の組み上げと調整の仕方について反復練習する。	上記セットを各自組み上げ、調整2について復習レポートを作成。
15	試験	復習期末試験（筆記、実技）	前期の復習、期末試験の準備
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級

科目名	舞台機構調整士2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小瀬高夫
学科・コース	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	一級舞台機構調整技能士。株式会社ヴァーゴ設立。2010年より(株)サンフォニックス入社。実務歴41年。						
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	音について～音はなぜ聞こえるのか～を学ぶ。	音について、音はなぜ聞こえるのか、について復習レポートを作成。
2	講義	音波の伝播や音場、音速について理解する。	音波の伝播 音場 音速 、について復習レポートを作成。
3	講義	周波数、可聴限界周波数、波長、振幅について理解する。	周波数 可聴限界周波数 波長 振幅、について復習レポートを作成。
4	講義	音色、オームヘルムホルツの法則、音波の性質について理解する。	音色 オームヘルムホルツの法則 音波の性質1、について復習レポートを作成。
5	講義	音波の性質2、音圧、音圧レベル、音量について理解する。	音波の性質2 音圧 音圧レベル 音量、について復習レポートを作成。
6	講義	騒音、NC値、音響心理1について学ぶ。	騒音 NC値 音響心理1、について復習レポートを作成。
7	講義	音響心理2について学ぶ。	音響心理2、について復習レポートを作成。
8	講義	電気の基礎1について学ぶ。	電気の基礎1、について復習レポートを作成。
9	講義	電気の基礎2 アース ノイズについて学ぶ。	電気の基礎2 アース ノイズ、について復習レポートを作成。
10	講義	電気音響機器1について学ぶ。	電気音響機器1、について復習レポートを作成。
11	講義	電気音響機器2について学ぶ。	電気音響機器2、について復習レポートを作成。
12	講義	電気音響機器3について学ぶ。	電気音響機器3、について復習レポートを作成。
13	講義	進級制作展に音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	講義	進級制作展に音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	試験	期末復習試験（筆記、実技）	後期の復習、期末試験の準備
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級

科目名	音響電気知識1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小瀬高夫
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
学科・コース	音楽テクノロジー・PAエンジニアコース						

教員の略歴	一級舞台機構調整技能士。株式会社ヴァーゴ設立。2010年より(株)サンフォニックス入社。実務歴41年。
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整を学ぶ。
到達目標	簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	講師紹介、他人紹介、授業の進め方、教科書についての説明。ケーブル巻きを学ぶ。	シラバス、教科書、確認しておく事。
2	講義	ケーブル、マイクスタンド、ホルダー、マイクについての知識を学ぶ。	ケーブル、マイクスタンド、ホルダー、マイクについて復習レポートを作成。
3	講義	スピーカー、スピーカースタンドについての知識を学ぶ。	スピーカー、スピーカースタンドについて復習レポートを作成。
4	講義	ブロックダイヤグラム、ミキシングコンソール、パワーアンプについての知識を学ぶ。	ブロックダイヤグラム、ミキシングコンソール、パワーアンプについて復習レポートを作成。
5	講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその1について復習レポートを作成。
6	講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその2について復習レポートを作成。
7	講義	簡易PAセットの組み上げ方を学ぶ。	簡易PAセット組み上げその3について復習レポートを作成。
8	講義	簡易PAセットにCDを接続し、AUXの使い方とリバーブの接続を学ぶ。	上記にCD接続、AUX、リバーブについて復習レポートを作成。
9	講義	上記のセットにさらにGEQを接続する方法を身につける。	上記にGEQ接続について復習レポートを作成。
10	講義	上記にさらにモニタースピーカーを接続する方法を身につける。	上記にモニタースピーカー接続について復習レポートを作成。
11	講義	上記全セットの組み上げと調整の仕方を身につける。	上記セットを各自組み上げ、調整1について復習レポートを作成。
12	講義	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、仕込み、バラシ、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13	講義	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、仕込み、バラシ、プランを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	講義	上記セットを各自組み上げ、調整2	上記セットを各自組み上げ、調整2について復習レポートを作成。
15	試験	期末復習試験（筆記、実技）	前期の復習、期末試験の準備
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級

科目名	音響電気知識2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小瀬高夫
学科・コース	音楽テクノロジー・PAエンジニアコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	一級舞台機構調整技能士。株式会社ヴァーゴ設立。2010年より(株)サンフォニックス入社。実務歴41年。						
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、簡易PAセット組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	簡易PAセットを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	音について～音はなぜ聞こえるのか～を学ぶ。	音について、音はなぜ聞こえるのか、について復習レポートを作成。
2	講義	音波の伝播や音場、音速について理解する。	音波の伝播、音場、音速について復習レポートを作成。
3	講義	周波数、可聴限界周波数、波長、振幅について理解する。	周波数、可聴限界周波数、波長、振幅について復習レポートを作成。
4	講義	音色、オームヘルムホルツの法則、音波の性質について理解する。	音色 オームヘルムホルツの法則 音波の性質1について復習レポートを作成。
5	講義	音波の性質2、音圧、音圧レベル、音量について理解する。	音波の性質2、音圧、音圧レベル、音量について復習レポートを作成。
6	講義	騒音、NC値、音響心理1について学ぶ。	騒音、NC値、音響心理1について復習レポートを作成。
7	講義	音響心理2について学ぶ。	音響心理2について復習レポートを作成。
8	講義	電気の基礎1について学ぶ。	電気の基礎1について復習レポートを作成。
9	講義	電気の基礎2 アース ノイズについて学ぶ。	電気の基礎2 アース ノイズについて復習レポートを作成。
10	講義	電気音響機器1について学ぶ。	電気音響機器1について復習レポートを作成。
11	講義	電気音響機器2について学ぶ。	電気音響機器2について復習レポートを作成。
12	講義	電気音響機器3について学ぶ。	電気音響機器3について復習レポートを作成。
13	講義	連級制作展に音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	講義	連級制作展に音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	試験	期末復習試験（筆記、実技）	後期の復習、期末試験の準備
準備学習 時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級

科目名	楽器知識1(A)	必修選択	必修・選択等	年次	1	担当教員	水見博
学科・コース	音楽テクノロジー科・コンサート企画制作、マネージャーコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	株式会社チームアクティブにて楽器テクニシャン、舞台監督として従事。実務歴26年。						
授業の学習内容	コンサートスタッフに必要なドラム、ベース、ギター、キーボード等の楽器に関する基礎知識を学ぶ。 各楽器の構造、特徴、形状、音色、略称等を学び、ドラムのセッティング方法を習得する。						
到達目標	楽器に興味を持ち、コンサート現場やプロダクション業務、学校行事等において必要となる基本的な楽器の知識を習得する。						
評価方法と基準	筆記試験　70% レポート課題提出 30%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	オリエンテーション	興味のある楽器について調べておく。
2	講義	楽器の特徴の基礎知識を知り・覚える	楽器販売店に出向き　様々な楽器の視察、カタログの入手
3	講義	DRUMSの基本セットを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ドラムについてレポート作成。
4	講義	DRUMの メーカー名 知る Bass Drum の 構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、バスドラについてレポート作成。
5	講義	Snare Drumの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、スネアについてレポート作成。
6	講義	HI-HATの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ハイハットについてレポート作成。
7	講義	HI-HAT STANDの構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、ハイハットスタンドについてレポート作成。
8	講義	Dr 3点のセッティング・FLOOR TOM の構造・特徴を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、タムについてレポート作成。
9	講義	TOM TOM の構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、タムについてレポート作成。
10	講義	CYMBAL及びCYMBAL STANDのメーカー名・構造・特徴・組立方を知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、シンバルについてレポート作成。
11	講義	DRUMS 基本セット 全体のセッティングを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、セット全般についてレポート作成。
12	講義	DRUMS 基本セット 全体のセッティングを知り・覚える	販売メーカーのHP、収集したカタログを参照し、セット全般についてレポート作成。
13	講義	明日への扉にスタッフとして参加し、仕込みやミュージカル現場についての理解を深める①	使用されている楽器(劇中バンド)についてレポートを作成。
14	講義	明日への扉にスタッフとして参加し、仕込みやミュージカル現場についての理解を深める②	使用されている楽器(BIG BAND)についてレポートを作成。
15	テスト	復習試験	楽器について学んだことの総まとめをレポート作成。
準備学習　時間外学習		授業内容と関連した楽器についてカタログやHP等で調べ、レポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

Ipad、各楽器メーカーの商品カタログ

科目名	楽器知識2(A)	必修選択	必修・選択等	年次	1	担当教員	水見博
学科・コース	音楽テクノロジー科・コンサート企画制作、マネージャーコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	株式会社チームアクティブにて楽器テクニシャン、舞台監督として従事。実務歴26年。						
授業の学習内容	コンサートスタッフに必要なドラム、ベース、ギター、キーボード等の楽器に関する基礎知識を学ぶ。 各楽器の構造、特徴、形状、音色、略称等を学び、ドラムのセッティング方法を習得する。						
到達目標	楽器に興味を持ち授業に於いて基礎知識（名称・構造・特徴・形・音色・セッティング方法・音の出し方）等を習得し、学内イベント等現場での経験を通じ、実践力を養い将来的即戦力につなげる。						
評価方法と基準	筆記試験　70% レポート課題提出 30%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	前期の総復習 DrSETのSETTING	ドラムセッティングの復習レポートを作成。
2	講義	電気に関することを知り、覚える	海外と国内の電源事情を調べてレポートを作成。
3	講義	弦楽器全般について	楽器販売店にてカタログを収集する。
4	講義	弦楽器　ギターについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しギターについてレポート作成。
5	講義	弦楽器　ベースについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しベースについてレポート作成。
6	講義	弦楽器　ギター、ベースアンプの基礎知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しアンプについてレポート作成。
7	講義	弦楽器　ギター、ベースアンプのトランジスターアンプ知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しアンプについてレポート作成。
8	講義	弦楽器　ギター、ベースアンプの真空管アンプ知識について	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照し真空管アンプについてレポート作成。
9	講義	鍵盤楽器　全般においての基礎知識	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照し鍵盤楽器についてレポート作成。
10	講義	鍵盤楽器　デジタルシンセサイザーについて	販売メーカーのHP、収集したカタログの参照しデジタルシンセサイザーについてレポート作成。
11	講義	後期講義に関してのまとめ	上記以外で興味のある楽器について調べてレポート作成。
12	講義	楽器についての総まとめ	過去資料を参照し理解を深める。
13	講義	進級制作展にスタッフとして参加し、楽器仕込みや音についての理解を深める。	使用されている楽器についてレポートを作成。
14	講義	We are TSM渋谷にスタッフとして参加し、楽器仕込みや音についての理解を深める。	使用されている楽器についてレポートを作成。
15	テスト	復習テスト	楽器について学んだことの総まとめをレポート作成。
準備学習　時間外学習		授業で学んだことの復習と楽器のカタログ等を自分で収集し見てレポート作成する。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	REC講座	必修選択	選択	年次	1	担当教員	前田基彦
学科・ｺｰｽ	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	フリーランスエンジニア。自身のスタジオを中心に活動。バンド/劇伴/映画サラウンド等幅広いジャンルに関わる。実務歴25年。						
授業の学習内容	レコーディングに関する基礎項目を習得する授業です。基礎知識を得る事で自身の専攻項目の関係/理解を深められます。難しい項目もありますが判りやすく授業をしますので頑張って参加し学習してください。実技と座学で機材＆音との接しかたや楽曲の捉え方まで多義に渡り解説します。服装はエンジニアリングを行うにふさわしい格好（行動しやすい靴や服で参加する事。スカートは避ける事。） 持ち物は、①授業内で使用する音源等持ち帰り用 USBメモリ・ハードディスクなどの外部記憶媒体　②自分のリファレンス（基準）となるヘッドフォンまたはイヤホン（接続はTRSまたはミニTRS）						
到達目標	レコーディングのワークフロー理解、機材の基礎的使用方法習得、レコーディング業界標準のProtools(プロツールス)の基本的な使用方法習得。						
評価方法と基準	1）筆記テスト50% 2）実技テスト50%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	１年間の計画 機材廻り信号の流れ①を理解する。	ノート復習する。
2	講義	音の聴き方を学ぶ。	楽曲準備　解析復習をレポートにまとめる。
3	講義	プロツールスについて理解する。	WEBサイト閲覧しレポートを作成する。
4	講義	マイクについての知識を学ぶ。	マイク情報を収集しレポートを作成。
5	講義	エフェクターについての知識を学ぶ。	エフェクター情報を収集しレポートを作成。
6	講義	機材廻り信号の流れについての知識を学ぶ。	ノート復習する。
7	講義	レコーディングの基礎知識を学ぶ。	シグナルフローについて復習レポートを作成。
8	講義	学園祭総括。世の中にある機材の情報収集をする。	WEBサイト閲覧により機材情報を収集しまとめる。
9	講義	音の聴き方を学ぶ。	楽曲準備し、解析復習レポートを作成。
10	講義	レコーディング技術を学ぶ。	シグナルフローについて復習レポートを作成。
11	講義	明日への扉 Recチームのワークフロー	配布資料確認
12	講義	サラウンドについて学ぶ。	配布資料確認の上、サラウンドについて復習レポートを作成。
13	講義	試験を実施する。	試験内容の不明点を明確にする。
14	講義	ライブRECシステムについて学ぶ。	配布資料確認の上、ライブRECシステムについて復習レポートを作成。
15	講義	後期授業の総括をする。	ノート復習
準備学習　時間外学習		授業内容の復習やWEBサイト閲覧によりレポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

JAPRS サウンドレコーディング技術概論　Sound & Recording マガジン

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	舞台美術概論	必修選択	選択	年次	1	担当教員	吾郷順治
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作＆ｽﾃｰｼﾞﾃﾞｻﾞｲﾅｰ、照明ﾗｲﾃｨﾝｸﾞｺｰｽ	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	舞台美術デザイナー＆空間デザイナー（コンサート、ミュージカル、ストレートプレイ、イベント等々）として活動。実務歴38年。						
授業の学習内容	舞台美術（セット）はなくてはならない物です。それを理解することはコンサート系コースのどのコースにおいても必ず意味があります。この授業では、紀元前からの舞台史を学び、舞台美術の知識を通してイマジネイションを広げて、スキルを上げていきます。						
到達目標	舞台の歴史を知ることで、これからの新しいイベント、舞台を創造しゆく知識を習得することができ、創造力豊かな舞台スタッフとしての人材を育成する。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台美術全般についての概要を説明する。	授業内容について復習レポートを作成。
2	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ（日本のコンサート）	日本のコンサートについて復習レポートを作成。
3	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ（ミュージカル）	ミュージカルについて復習レポートを作成。
4	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ（ストレートプレイ）	ストレートプレイについて復習レポートを作成。
5	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ（ダンスパフォーマンス）	ダンスパフォーマンスについて復習レポートを作成。
6	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ（世界のコンサート）	世界のコンサートについて復習レポートを作成。
7	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ（ショップデザイン）	ショップデザインについて復習レポートを作成。
8	講義	様々なジャンルのパフォーマンスについて学ぶ（ウィンドウディスプレイ）	ウィンドウディスプレイについて復習レポートを作成。
9	講義	舞台美術スタッフの仕事を学ぶ	舞台美術スタッフの仕事について復習レポートを作成。
10	講義	工具、道具の知識と扱い方を学ぶ	工具、道具の知識と扱い方について復習レポートを作成。
11	講義	美術デザイナーの仕事について学ぶ	美術デザイナーの仕事について復習レポートを作成。
12	講義	舞台演出について学ぶ	舞台演出について復習レポートを作成。
13	講義	演劇公演の美術製作に関わる①	演劇公演の美術製作について復習レポートを作成。
14	講義	演劇公演の美術製作に関わる②	演劇公演の美術製作について復習レポートを作成。
15	試験	復習試験を実施する。	総まとめとしてレポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成する。	

【使用教科書・教材・参考書】

「舞台美術の基礎知識」（レクラム社刊：滝善光著）

科目名	照明概論2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	林之弘
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明ライティングコース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	㈱六工房　代表取締役、日本照明家協会理事、日本照明家協会一級技能士。実務歴27年。						
授業の学習内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける。 ②現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	卒業進級公演に向け、照明制作計画に沿った機材準備・設置・撤去、およびオペレーションに関連する基本的な作業ができる。						
評価方法と基準	筆記試験 ※ペーパーテストにて、仕込み、本番、撤去に必要な専門用語、機材知識の理解度を測定。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台照明の仕事って何？	舞台照明の仕事について復習レポートを作成。
2	講義	安全管理Ⅱ　綱場と高所作業が理解できる	安全管理Ⅱ　綱場と高所作業について復習レポートを作成。
3	講義	電気知識/基礎編が理解できる	電気知識/基礎編について復習レポートを作成。
4	講義	ケーブル知識を身につける②が理解できる	ケーブル知識について復習レポートを作成。
5	講義	舞台機構と舞台照明設備が理解できる	舞台機構と舞台照明設備について復習レポートを作成。
6	講義	DMX信号が理解できる	DMX信号について復習レポートを作成。
7	講義	光と色について理解できる	光と色について復習レポートを作成。
8	講義	仕込み図を作ろう/基本仕込みが書ける	仕込み図を作ろう/基本仕込みについて復習レポートを作成。
9	講義	仕込み図を作ろう/応用作図ができる	仕込み図を作ろう/応用作図について復習レポートを作成。
10	講義	後期まとめ復習テスト	後期まとめについて復習レポートを作成。
11	講義	後期・1年履修項目のまとめ	後期・1年履修項目のまとめについて復習レポートを作成。
12	講義	照明実務4/We　Are　TSMに向けて　実習	照明実務4/We　Are　TSMに向けて　実習
13	講義	進級制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	講義	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明オペレートの実践と撤収作業を学ぶ。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	講義	照明実務5/We　Are　TSMに向けて　復習	We are TSM渋谷の資料作成。
準備学習　時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞

科目名	舞台制作概論1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作＆ｽﾃｰｼﾞﾃﾞｻﾞｲﾅｰｺｰｽ	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		

教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。
授業の学習内容	イベントやコンサートにおける舞台監督の業務を把握し、演目内容を進行していく能力を身につける。 実際のイベントを題材に打合せや資料作成を行う。
到達目標	舞台制作スタッフに必要な知識、スキルを身につけることが出来る。イベント現場で必要となる判断能力を向上させる。
評価方法と基準	筆記試験50% 実技試験50%

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	前期講義と舞台制作についての概要説明を行う。	自己紹介内容を事前に準備する。
2	講義	舞台知識①:舞台監督の作業について理解する。	スタッフ赤本を読んで舞台監督業務に関する復習レポートを作成。
3	講義	舞台知識②:公演内容資料を理解する。	スタッフ赤本を読んで公演内容資料に関する復習レポートを作成。
4	講義	舞台知識③:図面が理解できるようになる。	スタッフ赤本を読んで舞台図面に関する復習レポートを作成。
5	講義	学園祭準備を通して制作を学ぶ。	学園祭の打合せに参加し、資料を作成する。
6	講義	学園祭反省会と引き継ぎ作業を行う。	学園祭時に使用した資料をまとめる。
7	講義	舞台知識④:各スタッフとの共有作業ができるようになる。	舞台スタッフとの共有作業について復習レポートを作成。
8	講義	高所・仮設作業について理解する。	高所・仮設作業について復習レポートを作成。
9	講義	知識応用①:墨出しを学ぶ。	墨出しについて復習レポートを作成。
10	講義	知識応用②:タッパ決めについて学ぶ。	タッパ決めについて復習レポートを作成。
11	講義	知識応用③:リハーサル進行について学ぶ。	リハーサル進行について復習レポートを作成。
12	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	打合せ、稽古立会い、資料の作成。
13	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	撤収作業から現状復帰までを行なう。
14	講義	知識応用④:公演進行の方法について学ぶ。	公演進行について復習レポートを作成。
15	試験	復習試験	前期まとめの復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、学園祭や明日への扉の打合せ、資料作成を行う。	

【使用教科書・教材・参考書】

スタッフ赤本

科目名	舞台制作概論2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作＆ｽﾃｰｼﾞﾃﾞｻﾞｲﾅｰｺｰｽ	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。						
授業の学習内容	公演内容を把握し、必要な資料作成を行う。Excel・PowerPointを使って資料作成を行う。						
到達目標	公演開催において、計画的に進行するための資料を作成するスキルを身につけることが出来る。						
評価方法と基準	筆記試験50% 実技試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	後期講義と舞台制作についての概要説明を行う。	前期授業内容を復習しておく。
2	講義	台本を作成する①:マスター作成ができるようになる。	マスター作成について復習レポートを作成。
3	講義	台本を作成する②:進行内容が書けるようになる。	進行内容を書くことについて復習レポートを作成。
4	講義	台本を作成する③:ト書きについて理解する。	ト書きの理解について復習レポートを作成。
5	講義	オリジナル台本を創ってみる。	オリジナル台本作成の復習レポートを作成。
6	講義	台本を基本に資料を作成する。	台本について復習レポートを作成。
7	講義	台本を印刷製本する。	印刷した台本を読む。
8	講義	We AreTSMの演出内容について考察し、資料を作成する。	We are TSM渋谷の打合せを行う。
9	講義	We AreTSMの舞台監督業務内容を理解する。	We are TSM渋谷の資料を作成する。
10	講義	We AreTSMの舞台監督業務におけるタイムテーブルや図面の作成を行う。	We are TSM渋谷のリハーサルを行う。
11	講義	We AreTSMの演出内容についてあらためて考察し、現状の資料をまとめる。	We are TSM渋谷のリハーサルを行う。
12	講義	We AreTSMの演出内容について照明、PA、映像セクションとの調整を行う。	進級制作展についての資料をまとめる。
13	講義	進級制作展にスタッフとして参加する。	打合せ、ﾘﾊｰｻﾙ立会、資料の作成。
14	講義	卒業進級制作展にスタッフとして参加する。	打合せ、ﾘﾊｰｻﾙ立会、資料の作成。
15	試験	復習試験を実施する。	後期まとめの復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、学園祭や明日への扉の打合せ、資料作成を行う。	

【使用教科書・教材・参考書】

スタッフ赤本

科目名	Vecter Works Basic1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。						
授業の学習内容	図面製作ソフトベクターワークスの基本的な使い方を学び、実践で扱える技術を身につける。						
到達目標	ベクターワークスを使い、図形作成の知識、スキルをを習得する。						
評価方法と基準	知識を測るレポート提出　50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	前期授業についての概要説明、MACの基本操作を学ぶ。	基本的なPC操作の復習レポートを作成。
2	講義	ベクターワークスに慣れる①	授業内容の復習レポートを作成。
3	講義	ベクターワークスに慣れる②	授業内容の復習レポートを作成。
4	講義	直線・曲線を自由に描く	直線、曲線を描く復習レポートを作成。
5	講義	多角線を描く	多角線を描く復習レポートを作成。
6	講義	図形を描く	図形を描く復習レポートを作成。
7	講義	線と図形を組み合わせて描く	図形を描く復習レポートを作成。
8	講義	縮尺を理解し、慣れて使う①	授業内容の復習レポートを作成。
9	講義	縮尺を理解し、慣れて使う②	授業内容の復習レポートを作成。
10	講義	劇場図面を理解する①	様々な劇場の図面を調べてみる。
11	講義	劇場図面を理解する②	様々な劇場の図面を調べてみる。
12	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理
13	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理
14	講義	簡易図面を作成する	授業内容の復習レポートを作成。
15	講義	前期まとめ　復習テスト	前期まとめの復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、資料のまとめ、整理をする。	

【使用教科書・教材・参考書】

ベクターワークス トレーニングブックより抜粋

科目名	Vecter Works Basic2	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。						
授業の学習内容	図面製作ソフトベクターワークスの基本的な使い方を学び、実践で扱える技術を身につける。						
到達目標	ベクターワークスを使い、図形作成・照明仕込み図作成の知識、スキルを習得する。						
評価方法と基準	知識を測るレポート提出　50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	前期授業内容のふりかえり	前期授業内容の復習をしておく。
2	講義	袖幕配置、照明仕込み図のシンボル登録方法を学ぶ。	袖幕、シンボル登録の復習レポートを作成。
3	講義	舞台セット図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
4	講義	舞台セット図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
5	講義	舞台総合図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
6	講義	舞台図面の色つけと照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	色付け、仕込み図の復習レポートを作成。
7	講義	舞台図面のオリジナル図作成と照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	オリジナル図の課題提出、仕込み図復習レポートを作成。
8	講義	舞台のデザイン図と照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	デザイン図の課題提出、仕込み図復習レポートを作成。
9	講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展の内容を調べておく。
10	講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展の内容を調べておく。
11	講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展内容変更修正の把握。
12	講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展内容変更修正の把握。
13	講義	作成した図面を活かし、進級制作展の舞台、照明を仕込む。	進級制作展の図面作成と資料の整理
14	講義	作成した図面を活かし、卒業進級制作展の舞台、照明を仕込む。	卒業進級制作展の図面作成と資料の整理
15	講義	年度末課題復習試験	後期授業の復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、卒業進級制作展の準備を行う。	

【使用教科書・教材・参考書】

ベクターワークス トレーニングブックより抜粋・実公演図面

科目名	Global communication1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	池末　信
学科・ｺｰｽ	音楽テクノロジー科1年　昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト（筆記100%)による採点						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	挨拶が出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 1
2	講義	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 3
3	講義	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 6
4	講義	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 8
5	講義	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 11
6	講義	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 7 &　13
7	講義	継続して質問することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 14
8	講義	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願いできるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 19 & 20
9	講義	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 21 & 23
10	講義	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文できるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 28
11	講義	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明できるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 29 & 30
12	講義	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明できるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 32
13	講義	復習	復習オンラ インプラク ティス
14	定期試験	定期試験	試験を振り替えり、間違ったところを復習しレポートにまとめる。
15	振返り	1~14の振り返り学習をし、総合的に確認し会話習得できる。	1～14の苦手な部分と得意な部分を書き出してレポートにまとめる。
準備学習　時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	

【使用教科書・教材・参考書】

Speak Now 1

科目名	Global communication2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	池末　信
学科・ｺｰｽ	音楽テクノロジー科1年　昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト（筆記100%)による採点						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	挨拶が出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 1
2	講義	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 3
3	講義	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 6
4	講義	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 8
5	講義	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 11
6	講義	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 7 &　13
7	講義	継続して質問することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 14
8	講義	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願いできるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 19 & 20
9	講義	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 21 & 23
10	講義	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文できるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 28
11	講義	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明できるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 29 & 30
12	講義	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明できるようになる	Speak Now 1オンラインプラクティス　Unit 32
13	講義	復習	復習オンラ インプラク ティス
14	定期試験	定期試験	試験を振り替えり、間違ったところを復習しレポートにまとめる。
15	振返り	1~14の振り返り学習をし、総合的に確認し会話習得できる。	1～14の苦手な部分と得意な部分を書き出してレポートにまとめる。
準備学習　時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	

【使用教科書・教材・参考書】

Speak Now 1

科目名	韓国語講座 1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	崔　可暎
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
学科・コース	音楽テクノロジー科1年　昼間部一						
教員の略歴							
授業の学習内容	ハングルの理解、読み、聞き、作文まで対応 学んだ内容を基に、チームワークで会話の練習を行う 教科書で学んだものを応用して活用できるような発表も行う						
到達目標	韓国語での日常会話が可能になる 韓国語能力試験（TOPIK）の獲得を目標にします						
評価方法と基準	試験：100%（筆記、会話、聴解）						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義	ハングルの理解	ハングルについて調べてレポートにまとめる
2	講義	ハングルの読み	ハングルの読みについての復習
3	講義	ハングルの読みのテスト	未達成箇所の復習
4	講義	パッチムの理解	パッチムについて調べてレポートにまとめる
5	講義	リスニング練習・テスト	未達成箇所の復習
6	講義	挨拶の会話文	挨拶の会話文を用いた例文の作成及び挨拶の種類について調べる
7	講義	「あります」「ありません」を使った表現	「あります」「ありません」の例文作成及び形容詞について調べる
8	講義	形容詞の応用	形容詞を用いた例文の作成及び敬語について調べる
9	講義	敬語の理解と使用	敬語で例文の作成及び敬語について調べる
10	講義	過去形文の理解	過去形文の作成及び未来形文について調べる
11	講義	未来形文の理解	未来形文の作成及び可能系文について調べる
12	講義	可能系文の理解	可能系文の作成及び次回授業での作文を構想する
13	講義	作文	韓国のビデオコンテンツ（字幕あり）を鑑賞し、感想文（日本語）を作成する
14	講義	期末テスト	未達成箇所の復習
15	講義	前期実施項目の復習	後期実施項目の予習
準備学習　時間外学習			

【使用教科書・教材・参考書】

韓国語初歩の初歩　CD付／韓国語「文法」トレーニング

科目名	韓国語講座 2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	崔　可暎
学科・コース	音楽テクノロジー科1年　昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	ハングルの理解、読み、聞き、作文まで対応 学んだ内容を基に、チームワークで会話の練習を行う 教科書で学んだものを応用して活用できるような発表も行う						
到達目標	韓国語での日常会話が可能になる 韓国語能力試験（TOPIK）の獲得を目標にします						
評価方法と基準	試験：100%（筆記、会話、聴解）						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義	空港での表現	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（日本語）を作成する
2	講義	郵便局での表現	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（日本語）を作成する
3	講義	旅行先での表現	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（日本語）を作成する
4	講義	映画館・デートでの表現	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（日本語）を作成する
5	講義	病院に行った時の表現	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（日本語）を作成する
6	講義	美容室に行った時の表現	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（日本語）を作成する
7	講義	手紙の表現	韓国のビデオコンテンツ（字幕あり）を鑑賞し、感想文（韓国語）を作成する
8	講義	褒め言葉・指摘言葉	韓国のビデオコンテンツ（字幕あり）を鑑賞し、感想文（韓国語）を作成する
9	講義	リスニングのテスト	韓国のビデオコンテンツ（字幕あり）を鑑賞し、感想文（韓国語）を作成する
10	講義	面接の表現	韓国のビデオコンテンツ（字幕あり）を鑑賞し、感想文（韓国語）を作成する
11	講義	フリートーク（自分の国について）	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（韓国語）を作成する
12	講義	フリートーク（趣味について）	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（韓国語）を作成する
13	講義	作文	韓国のビデオコンテンツ（字幕なし）を鑑賞し、感想文（韓国語）を作成する
14	講義	期末テスト	未達成箇所の復習
15	講義	後期実施項目の復習	総復習
準備学習　時間外学習			

【使用教科書・教材・参考書】

韓国語初歩の初歩　CD付／韓国語「文法」トレーニング

科目名	日本語講座 1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	池村雅彦
学科・コース	音楽テクノロジー科1年　昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	日本語能力試験合格のために必要な文法、語彙の意味、用法を学び練習問題で理解度を確認する。また適切なコミュニケーションがとれるように自然な表現、慣用表現などを導入、練習する。						
到達目標	①日本語能力試験N1合格を目指す。②上級レベルの文法、語彙、慣用表現を使えるようになる。③学んだ表現を使って自身の考え、物事の説明が適切にできる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	日本語講習の重要性と講習内容説明	アンケート
2	講義	レベルチェックテスト、自己紹介	自己の振り返り
3	講義	判断、意志を表す表現が理解できる	レベルチェックテストの復習
4	講義	仮定条件を使って判断、意志を表現することができる	提出文型、表現の復習
5	講義	理由を強調して自身の考えを述べることが出来る	提出文型、表現の復習
6	講義	意向形を使い自身の考えを述べることが出来る	提出文型、表現の復習
7	講義	地位や立場を表す表現を使って自身の判断を述べることができる	提出文型、表現の復習
8	講義	「～ない」を使った間接的な言い方が理解できる	提出文型、表現の復習
9	講義	二重否定、反語を理解し正しく使うことが出来る	提出文型、表現の復習
10	講義	目標、目的をかたい表現で言うことができる	提出文型、表現の復習
11	講義	結果、事実関係を正確に伝えることができる	提出文型、表現の復習
12	講義	時間関係の表現を使い分けることができる	宿題
13	講義	前期実施項目の復習	宿題
14	講義	試験実施	宿題
15	講義	総復習を通して、後期で強化する点を知る	宿題
準備学習　時間外学習			

【使用教科書・教材・参考書】 スピードマスターN1文法、語彙力ぐんぐん1日10分、その他必要に応じた資料

科目名	日本語講座 2	必修選択	必修	年次	1	担当教員	池村雅彦
学科・コース	音楽テクノロジー科1年　昼間部一	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	日本語能力試験合格のために必要な文法、語彙の意味、用法を学び練習問題で理解度を確認する。適切なコミュニケーションがとれるように自然な表現、慣用表現などを導入、練習する。テーマに沿ってグループディスカッション実施、グループの意見をまとめ発表する。						
到達目標	①日本語能力試験N1合格を目指す。②上級レベルの文法、語彙、慣用表現が適切に使えるようになる。③学んだ表現を使って自身の考え、物事の説明が適切にでき、スムーズなコミュニケーションがとれる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	挨拶、自己紹介を日本語でできる。	挨拶の復習と年間勉強計画表を作成
2	講義	大きさや量を強調する表現が理解できる	大きさや量を強調する表現の文型を作りレポート作成
3	講義	「ごとく」を使った表現を使い分けることができる	「ごとく」を使った表現の文型を作りレポート作成
4	講義	連続する動作を表す表現を使うことができる	連続する動作を表す表現の文型を作りレポート作成
5	講義	評価や感情を表す表現を使うことができる	評価や感情を表す表現の文型を作りレポート作成
6	講義	大切で不可欠であることを表現できる	大切で不可欠であることを表現の文型を作りレポート作成
7	講義	価値や能力について適切に表現できる	価値や能力についての表現の文型を作りレポート作成
8	講義	「かいがある」などの似かよった表現が理解できる	「かいがある」などの似かよった表現の文型を作りレポート作成
9	講義	強い感情、気持ちを書き言葉で表せる	強い感情、気持ちの表現の文型を作りレポート作成
10	講義	状況を否定的、消極的な気持ちで表すことができる	状況を否定的、消極的な表現の文型を作りレポート作成
11	講義	驚き、感嘆、疑問などの表現が理解できる	驚き、感嘆、疑問などの表現の文型を作りレポート作成
12	講義	一つの例を示して他にもあることを強調できる	一つの例を示して他にもあることの表現の文型を作りレポート作成
13	講義	価値や能力について適切に表現できる	価値や能力についての表現の文型を作りレポート作成
14	講義	復習試験	試験準備として、これまでのレポートを確認しまとめる。
15	講義	総復習と意見交換	1~11の苦手なところを確認し再度レポートにまとめる。
準備学習　時間外学習			

【使用教科書・教材・参考書】 スピードマスターN1文法、新完全マスターN1語彙、その他必要に応じた資料

科目名	著作権2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	峰松　毅
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	ビクターではカラオケのレコーディングディレクターを、バンダイではアニメ特撮系の音楽プロデューサーを務める。現在はライセンスゲートを設立しゲーム系の音楽配信を中心にライセンス事業を展開。						
授業の学習内容	想像することの大切さとを通し、著作権の意義を教えます。著作権を軽視したことにより生じたトラブルの実例を通し、契約社会の現実を学びます。またグループワークを通し、ネット社会で見落とされがちな会話の重要性を体感させます。						
到達目標	最終的には自分は何を誰にどのようにして伝えたいのかを考えさせます。※マネージャー、企画、作詞、作曲などいずれも自分は誰に何を伝えたいのかを考えさせ、社会の一員であることを考えさせます。 上記を通して著作権の知識を習得することができる。						
評価方法と基準	筆記試験と面談。会話能力（自己表現）も評価の対象とします。						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	自己紹介と講義概要の説明	第一回目の授業は講師の自己紹介と講義の概要を伝えます。最後に宿題を提示。⇒Ａ４一枚にまとめた物語を配布。５人のキャラクターが登場。好感の持てる順に並べます。その根拠をグループワークでを発表。自分の想像力と会話能力を実感させます。
2	講義	グループワーク。「創造」とは何か！を議論します	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。著作権の第一歩は想像することであり、いかに想像力を発揮していないかを体験させます。また人間関係がいかに重要で不可欠であるかを体験させます。次回の課題として原盤権を講義。第三者からの制作依頼を想定。どのような約束
3	講義	原盤権と著作権の概念を事例を通しシミュレーションする体験教室	前回の課題をグループワークで検討。当たり前を見落としていること、契約の大切さを実感させます。現代の傾向として一般化される買い取り契約を講義。宿題として買取を求められた場合を想定。
4	講義	プロデューサー、ディレクター、A&R、マネージャーの基本を学びます	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。著作権及び権利譲渡について講義。そのうえでプロデューサー、Ａ＆Ｒ、ディレクター等、言葉の大切さを教えます。著作権使用料と徴収の仕組み。音楽出版社とｊａｓｒａｃの関係について講義。ある設定を提示し、ｊａｓｒａｃとの
5	講義	作家の印税収入の仕組みを学びます。JASRACと音楽出版社について等	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。ｊａｓｒａｃの必要性及び問題点を講義。海外版権について講義。ある設定を提示。海外の版権を取り扱う場合の注意点を考えさせます。
6	講義	版権とその仕組みを学ぶ　～ビートルズとサンダーバードの場合～	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。キャラクタービジネスが注目された６０年代をもとに権利を守ること活かすことを講義。次回の宿題として俳優のトラブルの実例を講義。どうすれば問題を回避できたか、マネージャーとは何かを考えさせます。
7	講義	もしもあなたがなマネージャーだったら！翻案権を考えます。＜女優土屋アンナの裁判事件＞	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。他人に物事を正確に伝えることの大切さを再度講義。太古の雨ごい儀式をどのようにとらえるかを考えさせます。（合理的か否か）
8	講義	雨ごいは合理的？著作権は別？論理性を考えます。	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。スポティファイと崩壊する？著作権ビジネスを考える。宿題として音楽業界の仕組みをイメージさせます。
9	講義	音楽出版社の調べ方とスポティファイを考える。自己PRを問う！	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。大きく変わる世界情勢とエンターテインメント業界を検討。今、アーティストに求められるものは何かを宿題として提示。
10	講義	世界情勢の混乱：今、アーティストのメッセージとは何か～問われる表現者の意識～	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。ｊａｓｒａｃの問題点を宿題として提示。
11	講義	JASRAC信託契約の落とし穴、原盤印税とは何か	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。
12	試験	復習テスト	面談では講義へのリクエストなどを自由に述べてもらいます。
13	講義	前期のまとめ	前期のまとめ。面談結果及び今後の講義の概要を伝えます。
14	講義	「明日への扉」の台本より著作権を考える	「明日への扉」での運営・制作スタッフとして実践する。
15	講義	「明日への扉」の台本より著作権を考える	「明日への扉」での運営・制作スタッフとして実践する。
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	

【使用教科書・教材・参考書】

個人作成によるパワーポイントファイルとプロジェクターを使用。

科目名	著作権3	必修選択	選択	年次	2	担当教員	峰松　毅
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
学科・ｺｰｽ	ニア、照明スタッフ、楽器ﾘﾍﾟｱ＆ﾃｸﾆｼｬﾝｺｰ						
教員の略歴	ビクターではカラオケのレコーディングディレクターを、バンダイではアニメ特撮系の音楽プロデューサーを務める。現在はライセンスゲートを設立しゲーム系の音楽配信を中心にライセンス事業を展開。						
授業の学習内容	音楽業界で活躍していく為には、高度な著作権の知識が必要となる。本講義では音楽における権利の基礎とその現状を学び、実際の活動に役立てるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要な著作権の高度知識を習得し、説明ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義	海外著作権の概要について学び理解し説明ができる	著作権の概要について学び理解しレポート作成
2	講義	海外でのアーティスト契約についての理解し説明ができる。	アーティスト契約についての理解しレポート作成
3	講義	英文の契約書の基本的な読み方を理解し説明ができる	契約書の基本的な読み方を理解しレポート作成
4	講義	海外の著作権法について理解し説明ができる。	著作権法について理解しレポート作成
5	講義	SNSにおける著作権を知り説明ができる。	SNSにおける著作権を知り理解しレポート作成
6	講義	著作物の条件を理解し説明ができる	著作物の条件を理解しレポート作成
7	講義	海外で音源が売れた場合の作詞、作曲印税について理解し説明ができる	音源が売れた場合の作詞、作曲印税について理解しレポート作成
8	講義	アーティストに支払われる印税について理解し説明ができる	アーティストに支払われる印税について理解しレポート作成
9	講義	国際的な管理会社を知り説明ができる	JASRACを知り理解しレポート作成
10	講義	音楽出版社の役割を理解し説明ができる	音楽出版社の役割理解しレポート作成
11	講義	動画サイトにおける音楽使用の現状を知り説明ができる	動画サイトにおける音楽使用の現状を理解しレポート作成
12	講義	動画サイトにおける音楽使用の現状を知り説明ができる	動画サイトにおける音楽使用の現状を理解しレポート作成
13	講義	再販制度の功罪を理解し説明ができる	再販制度の功罪を理解しレポート作成
14	講義	替え歌と著作者人格権の理解をし説明ができる。	替え歌と著作者人格権の理解しレポート作成
15	講義	復習試験	振り返りをおこない、レポートにまとめる
準備学習　時間外学習		業界で活躍するための権利を知る。準備復習研究時間として週4時間	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	著作権4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	峰松　毅
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 2		
教員の略歴	ビクターではカラオケのレコーディングディレクターを、バンダイではアニメ特撮系の音楽プロデューサーを務める。現在はライセンスゲートを設立しゲーム系の音楽配信を中心にライセンス事業を展開。						
授業の学習 内容	想像することの大切さとを通し、著作権の意義を教えます。著作権を軽視したことにより生じたトラブルの実例を通し、契約社会の現実を学びます。またグループワークを通し、ネット社会で見落とされがちな会話の重要性を体感させます。						
到達目標	最終的には自分は何を誰にどのようにして伝えたいのかを考えさせます。※自分の職業を通して誰に何を伝えたいのかを考えさせ、社会の一員であることを考えさせます。 上記を通して著作権の知識を習得することができる。						
評価方法と基準	筆記試験と面談。会話能力（自己表現）も評価の対象とします。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	著作者人格権から買い取り契約の落とし穴を考える	前期の総括及び後期の講義概要を説明。著作者人格権について講義。ミュージシャンに著作権は発生するかを課題とし次回のグループワークとする。
2	講義	事例をもとにミュージシャンに演奏の権利は発生するのかを考える	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。著作権使用料の基本を講義し、定額制配信を考えさせます。
3	講義	音楽配信の現状から定額制のち問題を問う	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。表現とは何かを講義。欧米とアジア（韓国と日本の演歌）の違い。課題としてある物語からどのような歌詞とメロディーが合うのかを考えさせます。
4	講義	欧米と日本の表現方法の違いを考える	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。俳優（アクター）とは何かを講義。芸能の仕事と著作権について考えさせます。
5	講義	問われる芸能人の問題意識を考える	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。イラスト、写真などの権利を講義。マネージャーと契約業務の例を提示。もしも自分がマネージャーだったらどうするかを宿題とします。
6	講義	マネージャーに問われる著作権意識	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。ライブを行う場合、アーティスト（実演家）とイベンターが確認しなければならない著作権とは何かを宿題とします。
7	講義	コンサートと著作権	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。洋楽をカバーする場合、日本語で歌う場合の注意点を宿題として考えさせます。
8	講義	歌謡曲とJ ポップの違いから著作権を考える	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。ウェブ上で注意すべき著作権を考える。ある動画配信を提示し著作権問題を含んでいるか否かを宿題として提示。
9	講義	ＹＯＵＴＵＢＥと著作権	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。動画配信の活かし方。表現することの難しさを問う。動画企画を宿題とします。
10	講義	表現者とは何か考えそこに発生する著作権を考える	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。ウェブビジネスを宿題として提示。
11	講義	web上の音楽ビジネスから著作権を考える	前回の課題をグループワークで検討し発表させます。
12	試験と面談	筆記テストと２階企画ルームで個人別面談	テスト及び後期講義の質疑応答。
13	講義	後期のまとめ	質疑応答の結果及びリクエスト講義
14	実習	卒業制作展での使用楽曲の著作権を確認す	卒業制作展での運営・制作スタッフとして実践する。
15	実習	卒業制作展DVD配布に伴う著作権を考える	卒業制作展での運営・制作スタッフとして実践する。
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	

【使用教科書・教材・参考書】

個人作成によるパワーポイントファイルとプロジェクターを使用。

科目名	音楽史(邦楽)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	西田　剛
学科・コース	音楽ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ科・PAｴﾝｼﾞﾆｱ、照明ｽﾀｯﾌ、舞台制作、楽器ﾘﾍﾟｱ＆ﾃｸﾆｼｬﾝｺｰｽ	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 2		

教員の略歴	2003年よりTSM渋谷校にて音楽史授業担当。JASRAC準会員。ギタリスト、作曲家として活動。実務歴37年。
授業の学習内容	この授業の目的は「音楽を考える力」を育むことであり、日本におけるポップ・ロックミュージックの起こりから現代まで、その発達の歴史を深く学びます。 その歴史や文化に触れ、広い視点で日本におけるポピュラー音楽の位置づけを概観することができる。
到達目標	時代の流れに沿った、日本のロック・ポップスの発達を深く知ることで、自分たちの作り出す音楽と、日本のロック・ポップスの歴史・進化を結び付け評価することができる。また、進路となる日本のミュージックシーンすなわち業界の先輩となる方々の功績を学ぶ。
評価方法と基準	筆記試験

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	授業の進め方（資料、音源、DVD、実演）の確認 日本のポップスの夜明けについて学ぶ。	美空ひばり、坂本九など昭和の象徴と呼べる大御所　グループサウンズと呼ばれたブームを探る。名曲アナライズに挑戦！上を向いて歩こう（ディグリー、機能など）
2	講義	フォークの時代を知る。	吉田拓郎、井上陽水、かぐや姫などフォークの名曲を歌詞にスポットを当てて時代背景を探る 名曲アナライズ：いとしのエリー
3	講義	日本流の本格派ロック～ニューミュージックについて学ぶ。	フラワートラベリングバンド、ユーミン、CHARなど、70年代のミュージックシーンを探る 名曲アナライズ：Tomorrow never knows
4	講義	歌謡曲とロック・ポップスの融合について学ぶ。	山口百恵、松田聖子、中森明菜など当時のアイドル文化　職業作詞家／作曲家の存在を探る 名曲アナライズ：財津和夫　サボテンの花
5	講義	ジャパニーズ・ニューウエイヴについて学ぶ。	イエローマジックオーケストラ（YMO）を中心に日本独自のテクノポップ世界を探る
6	講義	ロックの大衆化とバンドブームについて考察する。	チェッカーズ、レベッカ、BOOWYなどと共に80年代シーンを探る メジャーデビューについて考察　　バンドブーム
7	講義	ロックの大衆化とバンドブームについて考察する。	TMネットワーク、ブルーハーツ、X JAPANなどと共に80年代シーンを探る 80年代という時代を、オーディションやCMタイアップなどから考察する。
8	講義	９０年代型ロックスターについて学ぶ。	L'Arc～en～Ciel、ドリカム、B'zなどと共に90年代シーンを探る 名曲アナライズ：TSUNAMI
9	講義	９０年代型ロックスターについて学ぶ。	LUNA SEA、GLAYなどと共に90年代シーンを探る 名曲アナライズ：グロリアス
10	講義	オルタナティヴ指向の定着とシーンの二極化について学ぶ。	PIZZICATO FIVE、Mr.Children、椎名林檎などのアーチスト考察 名曲アナライズ：空も飛べるはず
11	講義	９０年以降、多様化を謳歌する日本の音楽シーンを学ぶ。	多様化するシーンを、Globe、MISIA、宇多田ヒカル、MONGOL 800などのアーチストと共に探る。インディーズ、アイドル文化、アニソンなど
12	テスト	筆記試験の実施	試験で不明確だった箇所を調べる。
13	実習	進級制作展の課題曲について考察する。	課題曲についてWEB閲覧により調べ、レポートを作成。
14	実習	We are TSM渋谷の課題曲について考察する。	課題曲についてWEB閲覧により調べ、レポートを作成。
15	講義	まとめ	全体のふりかえり＆未来を探る
準備学習　時間外学習		授業内容について復習しレポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	イベント制作運営演習３	必修選択	選択	年次	2	担当教員	唐澤　淳 江見　千尋
学科・ｺｰｽ	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業形態	演習	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	唐澤：アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務　江見：イベンターとして仕事をスタートし、その後　舞台監督、舞台照明などの業務に携わる						
授業の学習内容	江戸川文化センターで行われる骨髄移植推進キャンペーンニュージカル「明日への扉」の公演を教材にイベントスタッフとして必要な運営・制作の知識を実践的に学ぶ。 実践で行うことにより、舞台を創る流れや細かな段取りを学びながら業界に必要な人材として成長していく。						
到達目標	運営・制作の流れが理解出来る。 公演の際にスタッフの一員として参加出来る。						
評価方法と基準	授業の中でのレポート提出　30% 「明日への扉」に関しての積極的な発言や態度。関わりや、本番日の行動力、スタッフの一員として成り立っているか。それぞれに与えられた担当のなかで仕事を全うしているかを評価　70%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	「明日への扉」の内容について触れ、本公演を開催する意義を理解する	骨髄移植を推進するプロモーションをレポート用紙にて提出する
2	演習	運営のセクションの流れと段取りを学ぶ	運営とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
3	演習	制作のセクションの流れと段取りを学ぶ	制作とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
4	演習	その他のセクション（PA・照明・舞台・衣装管理・メイク）の流れと段取りを学ぶ	昨年のマニュアルを参考に関わり時期を調べておく
5	演習	運営スタッフ・制作スタッフ共通して使用する機材や備品の使い方について学ぶ	昨年のマニュアルを参考に実際に使用していた時期を調べておく
6	演習	各希望セクションに分かれ、運営：公演概要と運営方法を学ぶ　制作：稽古スケジュールを基に稽古期間の流れや段取りを学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
7	演習	運営：チケット発売方法と管理方法を学ぶ　制作：台本の使い方を学ぶ・稽古会場の仕込みを学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
8	演習	運営：協賛の必要性を学び協力をお願いする　制作：制作スケジュールの作成・各セクション香盤表を作成	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
9	演習	運営：ホールRHに伴う会場下見、必要備品の準備・調達　制作：ホールRHに伴う会場下見・使用会場の申請・楽屋振り分け	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
10	演習	運営：運営方法を学びマニュアルを作成する　制作：搬入・搬出方法を学ぶ・機材管理を学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
11	演習	運営：運営マニュアル読み合わせ　制作：各セクションへの伝達事項を学び実践する	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
12	演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む
13	演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む
14	演習	運営・制作共に終了報告書の作成方法を学び、作成する	授業に引き続き作成し提出
15	演習	各セクションごとに終了報告会を開催する	実践的に各セクションに取り組む
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度卒業・進級制作展運営マニュアル・概要書・終了報告書

科目名	イベント制作運営演習4	必修選択	選択	年次	2	担当教員	唐澤　淳 江見　千尋
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業形態	演習	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	唐澤：アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務　江見：イベンターとして仕事をスタートし、その後　舞台監督、舞台照明などの業務に携わる						
授業の学習内容	ZEPPTOKYOで行われる卒業・進級制作展weareTSM！TSM渋谷！DA TOKYO！の公演を教材にイベントスタッフとして必要な運営・制作の知識を実践的に学ぶ。 実践で行うことにより、コンサートを創る流れや細かな段取りを学びながら業界に必要な人材として成長していく。						
到達目標	運営・制作の流れが理解出来る。 公演の際にスタッフの一員として参加出来る。						
評価方法と基準	授業の中でのレポート提出　30% 「明日への扉」に関しての積極的な発言や態度。関わりや、本番日の行動力、スタッフの一員として成り立っているか。それぞれに与えられた担当のなかで仕事を全うしているかを評価　70%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	卒業・進級制作展の内容について触れ、本公演を開催する意義を理解する	コンセプトの元公演演出の考案レポートを提出
2	演習	運営のセクションの流れと段取りを学ぶ	運営とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
3	演習	制作のセクションの流れと段取りを学ぶ	制作とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
4	演習	その他のセクション（PA・照明・舞台・衣装管理・メイク）の流れと段取りを学ぶ	昨年のマニュアルを参考に関わり時期を調べておく
5	演習	運営スタッフ・制作スタッフ共通して使用する機材や備品の使い方について学ぶ	昨年のマニュアルを参考に実際に使用していた時期を調べておく
6	演習	各希望セクションに分かれ、運営：公演概要とコンセプト内容を学ぶ　制作：公演の流れを理解し稽古スケジュールを組む	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
7	演習	運営：座席管理方法を学ぶ　制作：公演演出の流れを理解し機材の管理を行う	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
8	演習	運営：運営マニュアルの作成方法を学び作成する　制作：制作スケジュールの作成・各セクション香盤表を作成	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
9	演習	運営：ホールRHに伴う会場下見、必要備品の準備・調達　制作：ホールRHに伴う会場下見・使用会場の申請・楽屋振り分け	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
10	演習	運営：運営方法を学び作成する　制作：搬入・搬出方法を学ぶ・機材管理を学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
11	演習	運営：運営マニュアルの読み合わせ　制作：各セクションへの伝達事項を学び実践する	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
12	実習	卒業・進級制作展運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む
13	実習	卒業・進級制作展運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む
14	演習	運営・制作共に終了報告書の作成方法を学び、作成する	授業に引き続き作成し提出
15	演習	各セクションごとに終了報告会を開催する	実践的に各セクションに取り組む
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度卒業・進級制作展運営マニュアル・概要書・終了報告書

科目名	チーム制作プロジェクトC （チーム制作プロジェクト5）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岡　秀樹
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業 形態	演習・実習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	ライブハウス店長・ブッキングマネージャー、アーティストマネージャー						
授業の学習内容	エンターティメントの発信地である「渋谷」を拠点に活動しているライブハウスや音楽施設を知り、企業とプロジェクトを組み、生きたイベント企画・制作・運営・プロモーションを学ぶ。即戦力になる人材育成に向け実践力を身につける。						
到達目標	精度の高い企画書、実施要項、運営マニュアル、プロモーションプランを学生主体で作成できるようにする。イベント企画では、「独創的な企画を提案できる」こと、制作では「人・もの・お金・時間を管理」できること、運営では「進行を管理することができ、安心・安全な運営を円滑に行う」ことができること、プロモーションでは「既成概念に捉われること無く、自分たちに何ができるかを徹底的に追求し、時代に沿ったプロモーションを提案し実行」することを目標とする。						
評価方法と基準	授業内での積極的な発言や態度。イベント本番日の行動力。メール等のレスポンスの速さ、丁寧さ。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	実習	新年度オリエンテーション(アイスブレイク、ブレインストーミング、映像鑑賞、討論)	新入生歓迎ライブの打ち合わせ
2	実習	新入生歓迎ライブの運営・制作。	運営マニュアルの事前読み合わせ
3	演習	エンタメ施設取材①(企画書作成/渋谷施設調べ/アポどりシミュレーション)	渋谷にあるエンターテインメント施設を調べて提出
4	演習	エンタメ施設取材②(アポどり/電話・メール・名刺交換シミュレーション)	希望する取材場所の施設の研究を行い資料として提出
5	実習	エンタメ施設取材③(取材内容、取材方法検討)	インタビュー記事を研究し、インタビュー内容を提出
6	演習	エンタメ施設取材④(プレゼン準備/パワーポイント作成/進行表作成/発表シミュレーション)	発表パワーポイント・発表進行表を作成し提出
7	実習	エンタメ施設取材⑤(プレゼンテーション/報告書作成)	班員にて発表シミュレーションを行う
8	実習	企業プロジェクト①(プロジェクト内容説明、企業紹介、担当者自己紹介)	エンタメ取材報告書を作成し提出する
9	実習	企業プロジェクト②(企業理念理解/ディスカッション/スケジュール作成)	関わる企業を研究(歴史、理念、業務内容)し、
10	実習	企業プロジェクト③(プロジェクト企画書：プロモーションプラン作成)	ディスカッションした内容を元に企画書・プロモーションリスト作成
11	実習	企業プロジェクト④(プロモーション実践/運営マニュアル作成)	プロモーションスケジュールを作成、運営マニュアルラフ作成
12	実習	企業プロジェクト⑤☒(イベント当日の運営を実践)☒	運営マニュアルの事前読み合わせ
13	実習	企業プロジェクト⑥(全体報告会/報告書作成)	報告会で発表する内容まとめ
14	実習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を	運営マニュアル作成・各セクション決め
15	実習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を	運営マニュアル読み合わせ
準備学習　時間外学習		各イベントや課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

DVD：MY GENERATION マイ・ジェネレーション(監督：バーバラ・コップ)

科目名	チーム制作プロジェクトC （チーム制作プロジェクト6）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	高田　雄貴
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる						
授業の学習内容	[1] ライブイベントの企画制作についての基礎知識を下級生に説明しながら、理解度をあげる学習をする [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についてより正確に処理できるよう学習をする [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要な業務を体験し、将来に備えた学習をする						
到達目標	[1] ライブイベントの企画制作を依頼されてた際に、自主的に準備・対応できる速度感を習得する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント(コンサート/ライブ他)企画の実施時におけるお客様対応や、様々な事象の対応力を習得する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者として即時にインターンまたは社員として必要なレベルの実務力を養成する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験（評価割合　40%） [2] 受講態度 ※課題提出（評価割合　60%）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	プロジェクトの進め方の概要説明	プロフィールシートの作成
2	演習	ライブイベント実施に向けて（打合せ）を学ぶ	打合せ準備資料の作成
3	演習	ライブイベント実施[CIVILIAN]現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
4	演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]1st現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
5	演習	ライブイベント実施[Aoyama Project]1st・[QUEENS]1st現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
6	演習	ライブイベントを記録する（映像収録とWEB）の制作を学ぶ	ライブ映像の編集処理
7	演習	各ライブイベント実施に向けて（打合せ）を学ぶ	運営マニュアルの作成
8	演習	各ライブイベント実施に向けて（打合せ)を学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
9	演習	ライブイベント実施[SUN MUSIC GET LIVE]1st現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
10	演習	ライブイベント実施[QUEENS]2nd現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
11	演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]2nd現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
12	演習	ライブイベント実施[SUN MUSIC GET LIVE]2nd現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
13	演習	ライブイベント実施[Pro Musician FES!]現場での動きを学ぶ	運営マニュアルの作成・読み合わせ
14	演習	オーディションイベント実施[コロムビア・オーディション]現場での動きを学ぶ	イベント実施打合せ・イベント後の終了報告書記入
15	演習	オーディションイベント実施[コロムビア・オーディション]現場での動きを学ぶ	ライブ映像の編集処理
準備学習　時間外学習	授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。		

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度実績の概要書・終了報告書参照

科目名	チーム制作プロジェクトC （チーム制作プロジェクト7）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岡　秀 樹
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	ライブハウス店長・ブッキングマネージャー、アーティストマネージャー						
授業の学習内容	エンターティメントの発信地である「渋谷」を拠点に活動しているライブハウスや音楽施設を知り、企業とプロジェクトを組み、生きたイベント企画・制作・運営・プロモーションを学ぶ。即戦力になる人材育成に向け実践力を身につける。						
到達目標	精度の高い企画書、実施要項、運営マニュアル、プロモーションプランを学生主体で作成できるようにする。イベント企画では、「独創的な企画を提案できる」こと、制作では「人・もの・お金・時間を管理」できること、運営では「進行を管理することができ、安心・安全な運営を円滑に行う」ことができること、プロモーションでは「既成概念に捉われること無く、自分たちに何ができるかを徹底的に追求し、時代に沿ったプロモーションを提案し実行」することを目標とする。						
評価方法と基準	授業内での積極的な発言や態度、プレゼンテーションの出来具合を評価　30% イベント本番日の行動力、企画制作、運営の技術、知識を振り返りシートにて評価評価　40% メール等のレスポンスの速さ、丁寧さ、プロモーション実行具合を評価30%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	新年度オリエンテーション(アイスブレイク、ブレインストーミング、映像鑑賞、討論)	新入生歓迎ライブの打ち合わせ
2	演習	新入生歓迎ライブの運営・制作。	運営マニュアルの事前読み合わせ
3	演習	エンタメ施設取材①(企画書作成/渋谷施設調べ/アポどりシミュレーション)	渋谷にあるエンターテインメント施設を調べて提出
4	演習	エンタメ施設取材②(アポどり/電話・メール・名刺交換シミュレーション)	希望する取材場所の施設の研究を行い資料として提出
5	演習	エンタメ施設取材③(取材内容、取材方法検討)	インタビュー記事を研究し、インタビュー内容を提出
6	演習	エンタメ施設取材④(プレゼン準備/パワーポイント作成/進行表作成/発表シミュレーション)	発表パワーポイント・発表進行表を作成し提出
7	演習	エンタメ施設取材⑤(プレゼンテーション/報告書作成)	班員にて発表シミュレーションを行う
8	演習	企業プロジェクト①(プロジェクト内容説明、企業紹介、担当者自己紹介)	エンタメ取材報告書を作成し提出する
9	演習	企業プロジェクト②(企業理念理解/ディスカッション/スケジュール作成)	関わる企業を研究(歴史、理念、業務内容)し、
10	演習	企業プロジェクト③(プロジェクト企画書：プロモーションプラン作成)	ディスカッションした内容を元に企画書・プロモーションリスト作成
11	演習	企業プロジェクト④(プロモーション実践/運営マニュアル作成)	プロモーションスケジュールを作成、
12	演習	企業プロジェクト⑤☒ベント当日の運営を実践)☒	運営マニュアルの事前読み合わせ
13	演習	企業プロジェクト⑥(全体報告会/報告書作成)	報告会で発表する内容まとめ
14	演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を行う。	運営マニュアル作成・各セクション決め
15	演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を行う。	運営マニュアル読み合わせ
準備学習　時間外学習		各イベントや課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

DVD：MY GENERATION マイ・ジェネレーション(監督：バーバラ・コップ)

科目名	チーム制作プロジェクトD （チーム制作プロジェクト8）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	高田　雄貴
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる						
授業の学習内容	[1] ライブイベントの企画制作についての基礎知識を下級生に説明しながら、理解度をあげる学習をする [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント（コンサート/ライブ他）企画の実施についてより正確に処理できるよう学習をする [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者としての必要な業務を体験し、将来に備えた学習をする						
到達目標	[1] ライブイベントの企画制作を依頼されてた際に、自主的に準備・対応できる速度感を習得する [2] ライブイベントの実施開催を通じて、イベント（コンサート/ライブ他）企画の実施時におけるお客様対応や、様々な事象の対応力を習得する [3] 企業とライブイベントの実施準備協業を通じて、イベント制作者として即時にインターンまたは社員として必要なレベルの実務力を養成する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験（評価割合　40%） [2] 受講態度 ※課題提出（評価割合　60%）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	活動方針設定会議	会議資料準備
2	演習	ライブイベント実施に向けて（打合せ）	打合せ準備資料の作成
3	演習	ライブイベントの告知と準備	イベント実施打合せ・プロモーション
4	演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]	イベント後の終了報告書記入
5	演習	ライブイベント実施[Aoyama Project]	イベント後の終了報告書記入
6	演習	ライブイベント実施に向けて（打合せ）	ライブ映像の編集処理
7	演習	ライブイベントの告知と準備	運営マニュアルの作成
8	演習	ライブイベント実施[QUEENS]	イベント実施打合せ・イベント後の終了報
9	演習	ライブイベントの告知と準備	イベント実施打合せ・プロモーション
10	演習	ライブイベント実施[SUN MUSIC GET LIVE]	イベント後の終了報告書記入
11	演習	ライブイベント実施[Chuning Candy]	イベント後の終了報告書記入
12	演習	ライブイベントの内容企画	企画書の作成・イベント企画打合せ
13	演習	ライブイベントの告知と準備	運営マニュアルの作成
14	演習	ライブイベント実施[Aoyama Project]・[QUEENS]	イベント後の終了報告書記入
15	演習	年間活動内容総括会議	ライブ映像の編集処理
準備学習　時間外学習		授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度実績の概要書・終了報告書参照

科目名	PCスキルアップ4	必修選択	選択	年次	2	担当教員	唐澤　淳
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務						
授業の学習内容	1年時に習得した「PCスキルアップⅠ・Ⅲ」「DTP」のスキルをベースに応用を学びます。 加えて、重要度が高まっている映像関連の最低限のスキルを身につけます。 実習作業を中心に反復練習を繰り返すことで身体で覚えながら、様々なテクニックも身につけていきます。						
到達目標	一年次に習得した「PCスキルアップⅠ・Ⅲ」「DTP」の復習とともに新たに以下の3点を身につける。 （1）Adobe Premiere proの基本的な使い方を習得する。 （2）Adobe Photoshopの応用方法を習得する。 （3）Adobe Illustratorの応用方法を習得する。						
評価方法と基準	1. レポート提出（%）：50% 2. 筆記課題（%）：50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	【Premiere】基本的な概念を習得する。	基礎の仕組みを覚え、慣れておく。
2	講義	【Premiere】Lyric Video製作を通してレイヤー・タイトル・波形の使い方を習得する。	授業で使用する音源・歌詞を用意し提出。
3	講義	【Premiere】Lyric Video製作を通して文字エフェクト・Fadeの使い方を習得する。	機能の復習として作品制作内歌詞を入力しておく。
4	講義	【Premiere】Lyric Video製作を通して画像・動画の挿入を習得する。	機能の復習として作品制作内画像・動画を挿入しておく。
5	講義	【Premiere他】Illustrator・photoshopとの連携を習得する。	機能の復習として作品制作内でIllustrator・photoshopの要素を入れ込む。
6	講義	【Premiere】Lyric Video製作を通してレンダリングを習得する。	機能の復習として作品制作内レンダリングしておく。
7	講義	【Premiere】Lyric Video製作を通して書き出し・仕上げを習得する。	YouTubeにてアップする。
8	講義	【Premiere】動画素材の撮影・デバイスから動画の取り込み・QT録画を習得する。	次回の授業用に、複数人で１つの被写体を同時に録画してくる。
9	講義	【Premiere】動画作成を課題に複数カメラからの編集を習得する。	スローモーション、早回しをしたら良さそうな素材を撮影してくる。
10	講義	【Premiere】動画作成を課題に速度調整を習得する。	単色の背景の前での動画素材を撮影してくる。
11	講義	【Premiere】動画作成を課題にクロマキーを習得する。	クロマキー合成のクオリティーを上げた編集を再度しておく。
12	講義	【Premiere】動画作成を課題にアフレコを習得する。	作品制作のプランニングをし、絵コンテを描いてくる。
13	講義	【Premiere】「明日への扉」を題材に3分間の映像制作（素材の回収（必要であれば撮影）））	授業内で出来なかった部分を各自進める。
14	講義	【Premiere】「明日への扉」を題材に3分間の映像制作（動画編集）	授業内で出来なかった部分を各自進める。
15	講義	【Premiere】「明日への扉」を題材に3分間の映像制作（書き出し・盤面印刷）	授業内で出来なかった部分を各自進める。
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

インターネット＆ホームページ

科目名	PCスキルアップ5	必修選択	選択	年次	2	担当教員	唐澤　淳
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務						
授業の学習内容	1年時に習得した「PCスキルアップⅠ・Ⅲ」「DTP」のスキルをベースに応用を学びます。 加えて、重要度が高まっている映像関連の最低限のスキルを身につけます。 実習作業を中心に反復練習を繰り返すことで身体で覚えながら、様々なテクニックも身につけていきます。						
到達目標	一年次に習得した「PCスキルアップⅠ・Ⅲ」「DTP」の復習とともに新たに以下の3点を身につける。 （1）Adobe Premiere proの基本的な使い方を習得する。 （2）Adobe Photoshopの応用方法を習得する。 （3）Adobe Illustratorの応用方法を習得する。						
評価方法と基準	1. レポート提出（%）：50% 2. 筆記課題（%）：50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	【Illustrator/Photoshop】就職活動用または学生生活ポートフォリオ作り（構成・作品傾向の解説）	ポートフォリオの作成の為の素材を集める
2	講義	【Illustrator/Photoshop】就職活動用または学生生活ポートフォリオ作り（作成に伴う効果的なエフェクトを知る）	Photoshop ・Illustratorの機能の復習を踏まえポートフォリオの作成を進める
3	講義	【Illustrator/Photoshop】就職活動用または学生生活ポートフォリオ作り	Photoshop ・Illustratorの機能の復習を踏まえポートフォリオの作成を進める
4	講義	【Illustrator/Photoshop】就職活動用または学生生活ポートフォリオ作り	カラーの印刷機で実際に使用できるように印刷しておく
5	講義	【Illustrator/Photoshop】チラシ作成（コピー）を通じてスキルアップと復習	Photoshop ・Illustratorの機能の復習を踏まえチラシの作成を進める
6	講義	【Illustrator/Photoshop】チラシ作成（コピー）を通じてスキルアップと復習	チラシ作成を進めつつ、機能の復習も進める
7	講義	【Illustrator/Photoshop】チラシ作成（コピー）を通じてスキルアップと復習	カラーの印刷機で実際に手元にあるように印刷しておく
8	講義	【Illustrator/Photoshop】カレンダー製作	月に合った素材を集めておく。
9	講義	【Illustrator/Photoshop】カレンダー製作	カラーの印刷機で実際に手元にあるように印刷しておく
10	講義	【Illustrator/Photoshop】ファッション誌の表紙作り	Photoshop ・Illustratorの機能の復習を踏まえ表紙の作成を進める
11	講義	【Illustrator/Photoshop】ファッション誌の表紙作り	カラーの印刷機で実際に手元にあるように印刷しておく
12	講義	【PowerPoint】進級制作展を校内宣伝するための資料を作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内放送してもらう。
13	講義	【PowerPoint】卒業制作展を校内宣伝するための資料を作成する	資料を基に各校舎教職員に確認してもらい校内放送してもらう。
14	講義	【PowerPoint】進級制作展で使用するサイン・チケットのデザインを作成する。	作成したデザインを本番日に使用する
15	講義	【PowerPoint】卒業制作展で使用するサイン・チケットのデザインを作成する。	作成したデザインを本番日に使用する
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

インターネット＆ホームページ・Photoshop ver.CS6・Illustrator ver.CS6

科目名	タレントマネージメント3	必修 選択	選択	2年次	2	担当教員	片桐　豊
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 2		
教員の略歴	文化放送開発センター（15年）～トップコート（11年）を経て、現サテライト東京代表。タレント育成＆マネジメントやイベント・演劇プロデュースなどの実務経験が豊富。						
授業の学習内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人で有り、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めたい。						
到達目標	□タレントとマネージャー（事務所）の関係や仕事の内容など業界のことを知る □見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養う □相手の気持ちやニーズを考えられるようになる □自分の強み、弱みを認識した上で将来について考えられるようになる □自分の考えたことや想いを自分の言葉で伝えられるようになる						
評価方法と基準	□筆記試験　0点～50点 （企業が従業員に求めることへの理解＝社会に出て働く上ための心構え準備） ・・・出席率（目的を持って授業に出席する。気分で休まない。） ・・・一般的な企業の人事評定項目の把握とその定義や着眼点について理解する。 □総合的な授業態度　0点～50点 ・・・授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	自己紹介現時点での将来目標を自分の言葉で、かつ人前で発表できる。	将来タレントをどのようにマネジメントしたいのかレポート記入し提出。
2	講義	業界で働く上で必要な力を考えさせる 自分で考える。想像力を養う。	自分の目標の整理を行い800字以内で記入し提出。
3	講義	プロデューサーやディレクター、作家などの役割や感性を学ぶ。	１枚の紙で「天国」と「地獄」を表現し提出。
4	講義	芸能プロダクションの役割とタレントとの関係性について学ぶ。	タレント契約書見本（専属・業務提携・新人養成）を確認し、気づいた点やこれからの課題を800字以内に記載し提出。
5	講義	マネージャーの種類と具体的な仕事内容を知る。	自分の好きなタレントの周りのマネージャーを調べて資料を提出。
6	講義	好きなモノを語る力を付ける。好きなタレントについて語ることができる。	3分間で好きなタレントを理由・魅力などを他者にアピールするプレゼンテーションの資料を作成、準備する。
7	講義	音事協・音制連等の存在と事務所にはどんなところがあるか知る。	自分が就職したい事務所を調べて概要を提出する。
8	講義	オーディション採用側が何を見ているかを知る。	自分が就職したい事務所のスタッフ募集要項を調べて提出する。
9	講義	適正診断による性格把握と分析から自分の強み・弱みを把握する。	事前に配布する適性診断を受ける
10	講義	自己分析を踏まえ未来像を語り想像する力と伝える力を身につける。	10年後どうなっていたいか、所定のレポート用紙に記入し提出。
11	講義	興味外の事を語り、感じたことを言葉にする力を身につける　　。	美輪明宏「愛の讃歌」の映像を見て感想を800字以内で記入し提出。
12	講義	人事評定項目から経営側のニーズを知る。	人事評定項目から自分がアピール出来ることを考察し800字以内で提出。
13	試験	人事評定の項目とその意味をきちんと理解・認識できているか。復習	前週に配布した人事評定表を復習しておく。
14	講義	「明日への扉」にて制作スタッフとして出演者管理を学ぶ	明日への扉の資料を復習する。
15	講義	「明日への扉」にて制作スタッフとして出演者管理を学ぶ	明日への扉の資料を復習する。
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】
実際のタレント契約書・芸能界ベストセレクション・演技テキスト・ドラマ台本など

科目名	タレントマネージメント4	必修 選択	選択	2年次	2	担当教員	片桐　豊
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 2		
教員の略歴	文化放送開発センター（15年）～トップコート（11年）を経て、現サテライト東京代表。タレント育成＆マネジメントやイベント・演劇プロデュースなどの実務経験が豊富。						
授業の学習内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人で有り、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めたい。						
到達目標	□タレントとマネージャー（事務所）の関係や仕事の内容など業界のことを知る □見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養う □相手の気持ちやニーズを考えられるようになる □自分の強み、弱みを認識した上で将来について考えられるようになる □自分の考えたことや想いを自分の言葉で伝えられるようになる						
評価方法と基準	□筆記試験　0点～50点 （企業が従業員に求めることへの理解＝社会に出て働く上ための心構え準備） ・・・出席率（目的を持って授業に出席する。気分で休まない。） ・・・一般的な企業の人事評定項目の把握とその定義や着眼点について理解する。 □総合的な授業態度　0点～50点 ・・・授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	活躍している芸能人の行動から学ぶ社会で好まれる資質を知る①	松坂桃李・堺正人・山寺宏一らのエピソードを受けて感想レポートを800字以内で提出する。
2	講義	活躍している芸能人の行動から学ぶ社会で好まれる資質を知る②	TAKAHIRO氏のチャレンジのエピソードを受けての感想レポートを800字以内で提出する。
3	講義	俳優の仕事や気持ちを理解するため簡単なテキストで演技体験をする	事前に配布するA4１枚の会話台本を覚えてくる。
4	講義	同じセリフを深く追求することでタレントや俳優に求められる役割を知る。	事前に配布する独白セリフの登場人物の性格を分析した資料を提出する。
5	講義	企業のニーズを理解した上で、目指す企業に合わせた自己PRができるようになる	就活を想定した自己PRを考察し、提出する。
6	講義	企業のニーズを理解した上で、目指す企業に合わせた自己PRができるようになる	就活を想定した自己PRを考えて提出する。
7	講義	ファンクラブについての講義①　ファンイベントの企画を理解する	自分な好きなタレントらのファンイベントの例を調べて提出する。
8	講義	ファンクラブについての講義② 応援グッズ販売から見る音楽ビジネス	自分の好きなタレントらのグッズの例を調べて提出する。
9	講義	芸能界お金事情　タレントのギャラ・Mgの給与などの相場を知る	本日の授業を終えた上で、タレントクラス表を作成し、提出する。
10	講義	これから売れる（人気者になる）と思うタレントを予想・プレゼンする①	これから売れると思うタレント候補とその根拠を調べて提出する。
11	講義	これから売れる（人気者になる）と思うタレントを予想・プレゼンする①	これから売れると思うタレント候補とその根拠を調べて提出する。
12	講義	とあるディズニーダンサーのエピソードから、エンターテインメント業界で働くことの心構えを再認識する	本日の講義を終え、800字以内で感想レポートを提出する。
13	試験	前期・後期を踏まえた上での筆記試験を実施	出来なかった部分や分からなかった部分を訂正して提出する。
14	講義	卒業制作展にて制作スタッフとしての出演者管理を学ぶ。	卒業制作展の資料を復習
15	講義	卒業制作展にて制作スタッフとしての出演者管理を学ぶ。	卒業制作展の資料を復習
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】
実際のタレント契約書・芸能界ベストセレクション・演技テキスト・ドラマ台本など

科目名	新人発掘&プロデュース1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	石田浩太
学科・コース	音楽テクノロジー科・コンサート企画制作/マネージャーコース/スーパーマネジャーコース	授業形態	講義&演習	総時間（単位）	30（2）		
教員の略歴	日本コロムビア株式会社						
授業の学習内容	実際の今の音楽業界で活きるスキル（コミュニケーション・ブランディング・発想・プレゼン）を、INPUT/OUTPUTの両方を通して磨いていく。						
到達目標	前期：有望な新人を発掘し社内プレゼンできるようにする。 後期：発掘した才能を開発し、商品として育成し、デビューまでの道筋をつける。						
評価方法と基準	出席率30% 小テスト・プレゼン30% 前期末テスト30%　積極性10%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義・(演習)	自己紹介（イントロ）**個人プレゼン**	印象に残る自己紹介を準備してきてください
2	(講義)・演習	仕事ってなんだろう（Aメロ）	仕事とは何か考えてきてください
3	(講義)・演習	音楽業界ってなんだろう（Aメロ）	音楽業界の研究をしてきてください
4	(講義)・演習	マネージャー/A&Rってなんだろう（Aメロ）	音楽の仕事の役割を研究してきてください
5	(講義)・演習	新人発掘ってなんだろう（Aメロ）**小テスト**	新人発掘の必要性を考えてきてください
6	(講義)・演習	ヒット分析（Bメロ）	ヒットを研究したいアーティストを選んでおいてください
7	講義・(演習)	ヒット分析（Bメロ）**グループワークにてプレゼン**	伝わりやすいプレゼン方法を考えてきてください
8	(講義)・演習	実際のスカウトに必要な要素は？（サビ）	スカウトに必要な要素を考えてきてください
9	講義・(演習)	スカウト実践（サビ）	自分なりのスカウト方法を考えてきてください
10	講義・(演習)	スカウト実践（サビ）	自分なりのスカウト方法を考えてきてください
11	講義・(演習)	スカウト実践（サビ）**グループワークにてプレゼン**	伝わりやすいプレゼンの準備をしてください
12	(講義)・演習	まとめ（アウトロ）	今までの総復習をしてきてください
13	(講義)・演習	スカウト実践（サビ）	今までの総復習をしてきてください
14	(講義)・演習	テストに向けて	今までの総復習をしてきてください
15	(講義)・演習	まとめ（アウトロ）**前期末テスト**	今までの総復習をしてきてください
準備学習　時間外学習			

【使用教科書・教材・参考書】

PC or タブレット（ネット検索用）・ノート・筆記用具

科目名	新人発掘&プロデュース2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	石田浩太
学科・コース	音楽テクノロジー科・コンサート企画制作/マネージャーコース/スーパーマネジャーコース	授業形態	講義&演習	総時間（単位）	30 (2)		
教員の略歴	日本コロムビア株式会社						
授業の学習内容	実際の今の音楽業界で活きるスキル（コミュニケーション・ブランディング・発想・プレゼン）を、INPUT/OUTPUTの両方を通して磨いていく。						
到達目標	前期：有望な新人を発掘し社内プレゼンできるようにする。 期：発掘した才能を開発し、商品として育成し、デビューまでの道筋をつける。						後
評価方法と基準	出席率30% 小テスト・プレゼン30% 後期末テスト30%　積極性10%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義・(演習)	**自己紹介**（イントロ）　**個人プレゼン**	印象に残る自己紹介を準備してきてください
2	(講義)・演習	新人開発・育成ってなんだろう（Aメロ）	新人開発・育成とは何か調べてきてください
3	(講義)・演習	ヒット分析（育成観点から）（Aメロ）	分析したいアーティストを探してきてください
4	(講義)・演習	ヒット分析（育成観点から）（Aメロ）	分析したいアーティストを探してきてください
5	(講義)・演習	育成プラン作成（Bメロ）	自分なりの育成パターンを作成してください
6	講義・(演習)	育成プラン作成（Bメロ）　**グループワークにてプレゼン**	効果的なプレゼンを考えてきてください
7	(講義)・演習	契約について(Bメロ)	新人はどういった契約になるのか調べてきてください
8	(講義)・演習	契約について（Bメロ）　**小テスト**	後期ここまでの復習をお願いします
9	講義・(演習)	育成実践（サビ）	アーティストとの接し方をイメージしてきてください
10	講義・(演習)	育成実践（サビ）　**演習プロセス評価**	今までの演習イメージを復習してきてください
11	(講義)・演習	まとめ（アウトロ）	今までの総復習をしてきてください
12	(講義)・演習	育成実践振り返り	今までの総復習をしてきてください
13	(講義)・演習	新人発掘、そして育成とは？(振り返り)	自分なりの意見をまとめてください
14	(講義)・演習	総復習	今までの総復習をしてきてください
15	(講義)・演習	まとめ（アウトロ）　**後期末テスト**	今までの総復習をしてきてください
準備学習　時間外学習			

【使用教科書・教材・参考書】

PC or タブレット（ネット検索用）・ノート・筆記用具

科目名	舞台知識Adance1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	江見　千尋
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	イベンターとして仕事をスタートし、その後　舞台監督、舞台照明などの業務に携わる						
授業の学習内容	一年次に履修した「舞台知識」の講義をもとに、講義→演習のかたちで実際の現場で使用できる図面や資料の作成方法を学ぶ。 学内イベントミュージカル「明日への扉」を素材に実際にイベントで使用した上でより良いものにする。						
到達目標	舞台を作っていく具体的な流れ、段取りを把握し実際に現場で活用できる図面や資料を作成出来るようになる。						
評価方法と基準	課題の出来による評価を行う。 30% 期日までに課題が提出されているか・必要な資料が揃っているか・課題のテーマに則しているか・よく考えられたプランになっているかを評価 70%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	会場図面の作成方法を習得する	「明日への扉」で使用する会場の情報を収集しておく
2	講義	「明日への扉」に使用する会場図面の作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
3	講義	進行プランの作成方法を習得する	「明日への扉」で使用する進行の情報を収集しておく
4	講義	「明日への扉」に使用する進行プランの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
5	講義	演出プランの作成方法を習得する	「明日への扉」で登場する演出の情報を収集しておく
6	講義	「明日への扉」に使用する演出プランの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
7	講義	セット図の作成方法を習得する	「明日への扉」で登場するセットの情報を収集しておく
8	講義	「明日への扉」に使用するセット図の作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
9	講義	タイムテーブルの作成方法を習得する	「明日への扉」小屋入り～本番までの各セクションのスケジュールを収集し
10	講義	「明日への扉」に使用するタイムテーブルの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
11	講義	同セクション担当が打ち合わせを行い、各資料問題が無いか確認する	問題や変更があった部分を修正し提出する。
12	講義	授業内課題提出による試験を行う	試験にて出来なかった部分を復習する。
13	講義	「明日への扉」を題材に舞台機構を学ぶ①	本日の授業を基に出された課題を提出する。
14	講義	「明日への扉」を題材に舞台機構を学ぶ①	本日の授業を基に出された課題を提出する。
15	講義	各資料・図面が実際の現場で上手く活用できていたか検証する。	検証の際の改善点を訂正し提出。
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック

科目名	舞台知識Adance2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	江見　千尋
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	イベンターとして仕事をスタートし、その後　舞台監督、舞台照明などの業務に携わる						
授業の学習内容	一年次に履修した「舞台知識」の講義をもとに、講義→演習のかたちで実際の現場で使用できる図面や資料の作成方法を学ぶ。 学内イベントミュージカル「明日への扉」を素材に実際にイベントで使用した上でより良いものにする。						
到達目標	舞台を作っていく具体的な流れ、段取りを把握し実際に現場で活用できる図面や資料を作成出来るようになる。						
評価方法と基準	課題の出来による評価を行う。 30% 期日までに課題が提出されているか・必要な資料が揃っているか・課題のテーマに則しているか・よく考えられたプランになっているかを評価 70%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	会場図面の作成方法を習得する	卒業制作展で使用する会場の情報を収集しておく
2	講義	卒業制作展に使用する会場図面の作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
3	講義	進行プランの作成方法を習得する	卒業制作展で使用する進行の情報を収集しておく
4	講義	卒業制作展に使用する進行プランの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
5	講義	演出プランの作成方法を習得する	卒業制作展で登場する演出の情報を収集しておく
6	講義	卒業制作展に使用する演出プランの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
7	講義	セット図の作成方法を習得する	卒業制作展で登場するセットの情報を収集しておく
8	講義	卒業制作展に使用するセット図の作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
9	講義	タイムテーブルの作成方法を習得する	卒業制作展小屋入り～本番までの各セクションのスケジュールを
10	講義	卒業制作展に使用するタイムテーブルの作成を行う	授業に引き続き作成を行い、提出する
11	講義	同セクション担当が打ち合わせを行い、各資料問題が無いか	問題や変更があった部分を修正し提出する
12	講義	授業内課題提出による試験を行う	試験にて出来なかった部分を復習する
13	講義	卒業制作展の舞台機構を学ぶ①	本日の授業を基に出された課題を提出する。
14	講義	卒業制作展の舞台機構を学ぶ②	本日の授業を基に出された課題を提出する。
15	講義	各資料・図面が実際の現場で上手く活用できていたか検	検証の際の改善点を訂正し提出
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	

【使用教科書・教材・参考書】

「ステージ・PA・照明用語辞典」 リットーミュージック

科目名	Webデザイン1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	福永篤太郎
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	フリーのグラフィック、WEBデザイナー。講師歴23年。						
授業の学習内容	WEBページを作るための講義と、企画・演習、およびWIXによるWEBデザインの制作。 オンラインで作る履歴書やインフォグラフィックの制作方法を学ぶ。						
到達目標	WEBサイトの構造を習得し、WEBデザインやWEB上でのデザインが出来るようになる。						
評価方法と基準	制作課題(Webサイト)の出来により評価する						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	本授業を受講する上での基礎的なWEB用語を習得する。	配布した課題プリントを記入し次回提出
2	講義	ｈｔｌｍ・CSSの解説を行い、インターネットの基礎知識を習得する。	配布した課題プリントを記入し次回提出
3	講義	フラッシュとhtml5の解説を行い、インターネットの基礎知識を理解する。	配布した課題プリントを記入し次回提出
4	講義	adobeソフトの種類と活用方法を習得する。	配布した課題プリントを記入し次回提出
5	講義	adobeDreamweaverの使用用途と活用方法を習得する。	配布した課題プリントを記入し次回提出
6	講義	これまでの講義内容を基に筆記試験を行う。	試験結果を復習し、間違った箇所を直して提出
7	講義	インフォグラフィックの利点と制作方法と習得し、実践できる。	自身のHP作成にあたりお手本のサイトを検証
8	講義	ホームページの作り方の行程を習得する。	本日の授業を基に自作HPの資料を集めておく
9	講義	WIXで自作ホームページの制作にあたり、企画書・構成・ページ数を作成する。	本日の授業に引き続き作成し提出
10	講義	自作ホームページの作成する。	本日の授業に引き続き作成し提出
11	講義	前回に続き同じ内容・ページで違うデザイン・アプローチの制作を行う。	本日の授業に引き続き作成し提出
12	講義	オンライン履歴書の用途と自己PRシートを実用例をもとに作成方法を習得する。	配布した課題プリントを記入し次回提出
13	講義	オンライン履歴書の用途と自己PRシートを実用例をもとに作成する。	本日の授業に引き続き作成し提出
14	講義	「明日への扉」プロモーションサイト制作にあたる企画書・構成・ページ数を作成する。	本日の授業に引き続き作成し提出
15	講義	「明日への扉」プロモーションサイトを制作する。	本日の授業に引き続き作成し提出
準備学習　時間外学習	各イベントや課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		

【使用教科書・教材・参考書】

自作プリント配布（次回までの宿題用）・WIX（https://ja.wix.com/）

科目名	Webデザイン2	必修選択	選択	年次	1	担当教員	天井　潤之介
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		

教員の略歴	株式会社ロッキング・オン勤務、退社後、編集者／音楽評論家／音楽レーベル監修
授業の学習内容	「M-Bug WEB」に掲載されるコンテンツ制作を行うべく、アーティストのインタヴュー記事やブログ記事の制作が出来るようになります。 実践の場での作業や経験が出来るよう、WEBコンテンツを理解し文章力の向上が目的になります。
到達目標	実践的な文章力を身に付けWEBコンテンツを知り、制作することが出来る。
評価方法と基準	・アーティストのインタビュー記事やブログ記事の制作、授業内での記事作成の文章力の評価。 40% ・コンテンツ制作はアーティストや企業様も含めた“共同作業”になりますので、報告や連絡といった最低限のコミュニケーションを疎かにしないマナーや姿勢も評価の基準に含まれます。Webコンテンツの制作作品を評価。60%

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	年間の授業方針、「M-Bug WEB」の更新までの流れを学ぶ	参考にしたいネットニュースのURLを提
2	講義	記事として成り立つための文章構成を学ぶ	本日の授業受講の元、記事を作成し提出
3	講義	アーティスト・企業の意向に沿った記事の書き方を学ぶ	本日の授業受講の元、記事を作成し提出
4	講義	検索エンジンの引っかかり方、SEO対策を学ぶ	本日の授業受講の元、記事を作成し提出
5	講義	画像の使用権利とコンプライアンスを学ぶ	本日の授業受講の元、記事を作成し提出
6	講義	現代のネットニュース内、コンテンツの種類と特徴を学ぶ	本日の授業受講の元、自分が挑戦したいコンテンツを企画書にして提出
7	講義	ネットニュースの記事の書き方や構成を学ぶ	次回記事にしたいアーティストを選出し情報を調べて提出
8	講義	ネットニュースの記事を書く	授業に引き続き、記事を作成し提出
9	講義	ライブレポートの記事の書き方や構成を学ぶ	次回記事にしたいライブを選出し情報を調べて提出
10	講義	ライブレポートの記事を書く	授業に引き続き、記事を作成し提出
11	講義	インタビュー記事の書き方書き方や構成を学ぶ	次回記事にするアーティストの情報を調べて提出
12	講義	インタビュー記事を書く	授業に引き続き、記事を作成し提出
13	講義	「明日への扉」劇中バンドインタビュー記事を作成、インタビューを行う	アーティストへのアポイントを取る、アーティスト写真があれば提出してもらう
14	講義	「明日への扉」劇中バンドインタビュー記事を作成、記事を作成・画像を編集	授業に引き続き、記事を作成し提出
15	講義	「明日への扉」劇中バンドインタビュー記事を作成、アップロードを行う	アップロード後バグが出ていないか確
準備学習　時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	

【使用教科書・教材・参考書】

「M-Bug WEB」http://m.shibuya.ac.jp/

科目名	文章基礎3	必修選択	選択	年次	2	担当教員	天井　潤之介
学科・コース	音楽テクノロジー科・コンサート企画制作/マネージャー/スーパーマネージャー	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	株式会社ロッキング・オン勤務、退社後、編集者／音楽評論家／音楽レーベル監修						
授業の学習内容	「書く」という技術の習得。そのためのルールと基本構造を学んでもらいます。自分が考えている・思っていることを言葉／文字に変換する。そしてその言葉／文字を使いこなして、自分の考えや意図する思いを相手に正確に「伝える」ためにはどうすればよいのか。文章力の養成を通じて、思考力やコミュニケーション能力も養成することができればベストだと考えています。授業の進め方ですが、一コマめにその日の課題となる授業内容をレクチャーし、二コマめにその授業内容に沿ったライティングを実践してもらいます。						
到達目標	「書く」という技術は、企画立案や会議でのプレゼンテーションなど、自分の考えや意図を相手に正しく伝えるという様々なビジネスの場面で基礎となるものです。授業では主に音楽に関するテーマの文章作成を課すことが多くなると思いますが、そうした作業を通じて、説得力と具体性を持った論理の筋道を立てること、個人的な感想や感動を「情報整理／分析」へと昇華できるような技術と能力を養うことが目標です。						
評価方法と基準	課題の提出が前提、原稿の出来栄えを評価します。学習内容と到達目標を踏まえた上での総合判断を評価の基準とします。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	年間の授業方針と文章力の必要性について学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
2	講義	句読点を正しく使い、文意の伝わる文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
3	講義	改行を使いこなし、内容や趣旨を意識した文章作成が出来るようになる	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
4	講義	例文の校正・添削を通じて、「主語・述語」の使い方を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
5	講義	例文の校正・添削を通じて、「修飾語」の使い方を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
6	講義	助詞を正しく使いこなし、誤読や誤解を生まない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
7	講義	書き言葉と話し言葉の違いを学び効果的な使い方で文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
8	講義	起承転結を意識した文章を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
9	講義	起承転結を意識した文章を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
10	講義	起承転結を意識した文章を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
11	講義	両論併記を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
12	講義	両論併記を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
13	講義	両論併記を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
14	講義	授業の総振り返り	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
15	講義	テスト	
準備学習　時間外学習		授業内で出される課題の作成。文章に慣れた習慣作り。	

【使用教科書・教材・参考書】

自作プリント配布

科目名	文章基礎4	必修選択	選択	年次	2	担当教員	天井　潤之介
学科・コース	音楽テクノロジー科・コンサート企画制作/マネージャー/スーパーマネージャー	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	株式会社ロッキング・オン勤務、退社後、編集者／音楽評論家／音楽レーベル監修						
授業の学習内容	「書く」という技術の習得。そのためのルールと基本構造を学んでもらいます。自分が考えている・思っていることを言葉／文字に変換する。そしてその言葉／文字を使いこなして、自分の考えや意図する思いを相手に正確に「伝える」ためにはどうすればよいのか。文章力の養成を通じて、思考力やコミュニケーション能力も養成することができればベストだと考えています。授業の進め方ですが、一コマめにその日の課題となる授業内容をレクチャーし、二コマめにその授業内容に沿ったライティングを実践してもらいます。						
到達目標	「書く」という技術は、企画立案や会議でのプレゼンテーションなど、自分の考えや意図を相手に正しく伝えるという様々なビジネスの場面で基礎となるものです。授業では主に音楽に関するテーマの文章作成を課すことが多くなると思いますが、そうした作業を通じて、説得力と具体性を持った論理の筋道を立てること、個人的な感想や感動を「情報整理／分析」へと昇華できるような技術と能力を養うことが目標です。						
評価方法と基準	課題の提出が前提、原稿の出来栄えを評価します。学習内容と到達目標を踏まえた上での総合判断を評価の基準とします。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	前期の復習。文章力の基礎を固める。	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
2	講義	前期の復習。文章力の基礎を固める。	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
3	講義	前期の復習。文章力の基礎を固める。	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
4	講義	両論併記を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
5	講義	両論併記を意識した文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
6	講義	文章にリズムをつけて読み手が飽きない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
7	講義	文章にリズムをつけて読み手が飽きない文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした200字程度の課題提出
8	講義	漢字とひらがなのバランスを考え読みやすい文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
9	講義	漢字とひらがなのバランスを考え読みやすい文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
10	講義	同義語を意識し語彙力を上げ表現力豊かな文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
11	講義	同義語を意識し語彙力を上げ表現力豊かな文章作成を学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
12	講義	段落を活用し各コンテンツに適した文字数でまとめることを学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
13	講義	段落を活用し各コンテンツに適した文字数でまとめることを学ぶ	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
14	講義	授業の総振り返り	本日の授業を基にした400字程度の課題提出
15	講義	テスト	
準備学習　時間外学習		授業内で出される課題の作成。文章に慣れた習慣作り。	

【使用教科書・教材・参考書】

自作プリント配布

科目名	動画撮影&編集1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	鈴木新吾
学科・コース	音楽テクノロジー科・コンサート企画制作/マネージャーコース/スーパーマネージャー	授業形態	演習	総時間（単位）	60 (4)		
教員の略歴	テイチクやコロンビアなどのアーティストのMVを監督。現在はニッスイや資生堂のweb、SNS動画広告の監督を務める。						
授業の学習内容	カメラの種類、特性、撮影技法について学び基本的操作が出来るようになる 映像演出、コンテ作成が出来るようになる Adobe Premiere Proの基本操作が出来るようになる（映像編集） Adobe Photoshopの基本操作が出来るようになる（グラフィック） 学内で行われるイベントの撮影企画制作をし、撮影、編集、最終的にYouTubeなどにアップロードする						
到達目標	Adobe Premiere Pro、Adobe Photoshop、 構成、台本作成、撮影機材、撮影方法、編集、オーディオ編集の基本操作知識、理解						
評価方法と基準	制作物評価：20% 達成度テスト（実技）：80%・達成目標なるアプリケーションの基本操作のチェック						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	カメラの種類、動画フォーマットの種類、特性、撮影技法（アングル、サイズ）動画の構成、演出について学ぶ	学生自身が持っているスマートフォンを使用して授業で学んだことを踏まえて自己紹介動画を作成し、次回提出（編集やテロップなどはいれず、失敗しても収録を止めてやり直さない）
2	演習	コンピューターに関する理解、Adobe Premiere Pro、Adobe Photoshop、を理解する	授業で学んだ内容を復讐する
3	演習	【Premiere Pro】基礎技術習得 動画編集を行ううえでのプロジェクト、環境設定、ワークスペースの習得	次週の授業から編集が始めれるように復讐する
4	演習	【Premiere Pro】基礎技術習得 以前撮影した自己紹介動画の取り込み方法、編集を行ううえでの構成、注意事項、ショートカットキーのの習得し編集を行う	復讐しながら自己紹介動画の作成
5	演習	【Premiere Pro】基礎技術習得 動画編集の際に必要な特殊効果、タイトル、テロップ、グラフィックの挿入方法を学ぶ	作品を完成させて次週提出
6	演習	【Premiere Pro】基礎技術習得 オーディオの編集、エフェクトの追加、BGMの追加、カラーグレーディング、動画の書き出しにおける設定、アップロード方法の習得	作品提出、総評
7	演習	【Photoshop】 作成する上でのプロジェクト、環境設定、ワークスペースの習得、素材も元にショートカットキーの習得	次週の授業から編集が始めれるように復讐する
8	演習	【Photoshop】 動画素材も元に文字起こし等のテロップ作成方法の習得	作品を完成させて提出
9	演習	民生用カメラと業務用カメラの違い、標準的な撮影時のセッティング、照明、ホワイトバランスなどの撮影テクニック講座	授業で学んだ内容を復讐する
10	演習	メイキング撮影、インタビューでの構成、演出、のテクニック講座、明日への扉メイキング映像撮影の企画、セクション決め	今まで学んだ内容を復讐し、イベント撮影で実践出来るようにする
11	演習	今まで学んだ編集テクニックをおさらい。課題を与え時間内に完成させ、ショートカットキーやより実践的なテクニックを学ぶ	次週のテストに向けて復讐と確認
12	演習	【Photoshop】　達成度テスト　テスト解説	次週のテストに向けて復讐と確認
13	演習	【Premiere Pro】　達成度テスト　テスト解説	迷った部分を復讐する
14	演習	授業の振り返り	前期内の授業のまとめ
15	演習	テスト	
準備学習　時間外学習		授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらなかったものを準備学習とします	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	動画撮影&編集2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	鈴木新吾
学科・コース	音楽テクノロジー科・コンサート企画制作/マネージャーコース/スーパーマネージャー	授業形態	演習	総時間（単位）	60 (4)		
教員の略歴	テイチクやコロンビアなどのアーティストのMVを監督。現在はニッスイや資生堂のweb、SNS動画広告の監督を務める。						
授業の学習内容	カメラの種類、特性、撮影技法について学び基本的操作が出来るようになる 映像演出、コンテ作成が出来るようになる Adobe Premiere Proの基本操作が出来るようになる（映像編集） Adobe Photoshopの基本操作が出来るようになる（グラフィック） 学内で行われるイベントの撮影企画制作をし、撮影、編集、最終的にYouTubeなどにアップロードする						
到達目標	Adobe Premiere Pro、Adobe Photoshop、 構成、台本作成、撮影機材、撮影方法、編集、オーディオ編集の基本操作知識、理解						
評価方法と基準	演習の成果（準備含め）:50%　課題の作成:50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	明日への扉メイキング映像の編集、ナレーション入れ、パッケージデザイン	イベントで撮影したものをチームで作成
2	演習	明日への扉メイキング映像の編集、ナレーション入れ、パッケージデザイン	イベントで撮影したものをチームで制作、各チームつなぎ合わせ次
3	演習	明日への扉メイキング映像の編集、完成、YouTubeなどにアップロード	完成、試写、総評、制作した作品に対してのディスカッション
4	演習	撮影テクニック総復讐①構成、演出 前回のイベント撮影の反省を活かし、次回に向けて構成、演出論を学ぶ	ドキュメンタリー番組、映画などを視聴し情報収集
5	演習	撮影テクニック総復讐②撮影 前回のイベント撮影の反省を活かし、次回に向けて撮影技術向上させる	ドキュメンタリー番組、映画などを視聴し情報収集
6	演習	撮影テクニック総復讐③編集 前回のイベント撮影の反省を活かし、次回に向けて編集技術向上させる	ドキュメンタリー番組、映画などを視聴し情報収集
7	演習	SNS広告やweb広告の特徴と傾向、画コンテの読み方と作成方法について学ぶ	動画広告を視聴し情報収集
8	演習	We are TSM!イベント告知CM制作企画	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー
9	演習	We are TSM!イベント告知CM制作、撮影、編集	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー、編集
10	演習	We are TSM!イベント告知CM制作、撮影、編集、完成	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー、編集、完成
11	演習	We are TSM!イベント告知CM制作、撮影、編集、完成（昨年度の素材も使用しYouTubeなどにアップロードする）	完成、試写、総評
12	演習	We are TSM!メイキング映像の企画、セクション決め	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー
13	演習	We are TSM!メイキング映像制作、撮影、編集	各チームに分かれて、練習、稽古風景などを撮影、出演者や裏方スタッフにインタビュー
14	演習	作品の振り返り	チームに分かれて他人の作品の評価
15	演習	テスト	
準備学習　時間外学習		授業時間内の制作が中心で、授業時間内で終わらなかったものを準備学習とします	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートマネージメント＆ビジネスワーク1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	高田　雄貴
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる						
授業の学習内容	[1] 音楽ビジネスにおける必須能力である、企画（プランニング）についての知識を用いて、プランニングの学習を行う [2] 音楽ビジネスの企画（プランニング）学習を通じてマーケットリサーチの学習をを行う [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画（プランニング）について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で、業界人として必要なビジネスモデルを構築出来るようになる [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で、業界人として必要な提案力を構築出来るようになる [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で、業界人として必要な心構えを自信に変えられるようになる						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験（評価割合　40%） [2] 受講態度 ※課題提出（評価割合　60%）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	時間の流れを企画する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
2	講義	企画の基本を確認する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
3	講義	企画の準備作業について理解する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
4	講義	地域催事の企画立案を行う	地域で行われている年間催事を調査しレポーにて提出ト
5	講義	地域催事の企画立案を発表する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
6	講義	野外フェスティバルの企画立案を行う	今年度開催される野外音楽フェスティバルを調査しレポートにて提出
7	講義	野外フェスティバルの企画立案を発表する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
8	講義	ビジネスモデルと企画を理解する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
9	講義	出演者をキャスティングするにはを理解する	音楽事業者協会と音楽制作者連盟について調査しレポートにて提出
10	講義	会場のタイプと仕組みを理解する	公益社団法人 全国公立文化施設協会について調査しレポートにて提出
11	講義	季節型催事の企画立案を行う	レジャー白書を調査しレポートにて提出
12	講義	季節型催事の企画立案を発表する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
13	講義	企画と調査を理解する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
14	講義	（明日への扉）を通して音楽ビジネススキルを学ぶ	明日への扉を通して音楽ビジネススキルを考察する
15	講義	（明日への扉）を通してビジネススキルを学ぶ	明日への扉を通してビジネススキルを考察する
準備学習　時間外学習		授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度実績の概要書・終了報告書参照

科目名	コンサートマネージメント＆ビジネスワーク2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	高田　雄貴
学科・コース	【音楽テクノロジー科】コンサート企画制作コース・マネージャーコース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	コンサート企画制作会社キョードー東京にてイベント・ツアー制作等を担当、独立後ライブ制作の他フジテレビお台場冒険王等のライブイベントの制作にも携わる						
授業の学習内容	[1] 音楽ビジネスにおける必須能力である、企画（プランニング）についての知識を用いて、プランニングの学習を行う [2] 音楽ビジネスの企画（プランニング）学習を通じてマーケットリサーチの学習をを行う [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画（プランニング）について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で、業界人として必要なビジネスモデルを構築出来るようになる [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で、業界人として必要な提案力を構築出来るようになる [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で、業界人として必要な心構えを自信に変えられるようになる						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験（評価割合　40%） [2] 受講態度 ※課題提出（評価割合　60%）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	ヒットの仕組みを知る	昨年飛び出したヒットを研究しレポートとして提出
2	講義	フェスティバル受けする出演者を知る	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
3	講義	同世代の企画を検証する	大学リストを作成し提出する
4	講義	全国の大学で開催されているイベント（学園祭）を調査する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
5	講義	企画を通すには、プレゼンテーション技術を学ぶ	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
6	講義	採用された企画を制作する（会議技法）	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
7	講義	採用された企画を制作する（ガントチャートによる作業進行管理技法）	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
8	講義	予算の管理を考える	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
9	講義	プロモーションについて検証する（広告と広報）	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
10	講義	企画における印刷媒体を学ぶ	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
11	講義	企画は流行を読むことから始まる	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
12	講義	スポーツイベントのビジネスモデルを知る	東京オリンピックを調査しレポートとして提出
13	講義	企画立案しプレゼンする	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
14	講義	（明日への扉）を通してプランニング力を学ぶ	明日への扉の資料の復習①
15	講義	（明日への扉）を通してプランニング力を学ぶ	明日への扉の資料の復習②
準備学習　時間外学習		授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT

科目名	ProTools Advance 1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	大村嘉伸
学科・コース	音楽テクノロジー学科・メディアクリエーター	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	レコーディングエンジニアとして数多くの音楽制作に携わる。実務歴２４年						
授業の学習内容	業界の録音標準のアプリProToolsを、より実践的技術とスピードでオペレーションできるようにする						
到達目標	1曲の音楽制作過程のプリプロ段階からマスタングまでをProToolsを使用し、プロと同等のクオリティーで仕上げられる事ができる。						
評価方法と基準	1）定期テスト（実技）60%　2）定期テスト（筆記）40% プロレベルのスピード、正確性、クオリティーでのProToolsセッションのオペレーションで出来るようにする						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	DAWルームの回線、I/Oを理解する	DAWルームの回線、I/Oを理解する 振り返り
2	講義	新規セッションから５分でVoダビング出来るようにする	新規セッションから５分でVoダビング出来るようにする 振り返りと自習
3	講義	プロレベルのVoダビング作業を出来るようにする	プロレベルのVoダビング作業を出来るようにする 振り返りと自習
4	講義	Voダビング作業の効率化を行えるようにする	Voダビング作業の効率化を行えるようにする 振り返りと自習
5	講義	ダビング終了から10分でコンピング終了出来るようにする	ダビング終了から10分でコンピング終了出来るようにする 振り返りと自習
6	講義	円滑なVo、Choダビングのオペレーションをする	円滑なVo、Choダビングのオペレーションをする 振り返りと自習
7	講義	新規マルチトラックから１０分でダビングスタート出来る	新規マルチトラックから１０分でダビングスタート出来るようにする 振り返りと自習
8	講義	VoのEDIT作業工程を理解する	VoのEDIT作業工程を理解する 振り返りと自習
9	講義	VoのタイミングEDITを出来るようにする	VoのタイミングEDITを出来るようにする 振り返りと自習
10	講義	VoのピッチEDIT工程を理解する	VoのピッチEDIT工程を理解する 振り返りと自習
11	講義	VoのピッチEDITが出来るようにする	VoのピッチEDITが出来るようにする 振り返りと自習
12	講義	ミュージカルのライブレコーディングのシステム構築及びProToolsセッション作成について	ミュージカルのライブレコーディングのセッション作成について 振り返りと自習
13	講義	Voのフォルマントを意識したEDITを理解する	Voのフォルマントを意識したEDITを理解する 振り返りと自習
14	試験	VoのピッチEDIT作業の復習テスト	これまでの授業を通じて学んだポイントをポートフォリオとしてまとめる
15	講義	ミュージカルのライブレコーディングセッションの編集と管理について	ミュージカルのライブレコーディングセッションの編集と管理について 振り返りと自習
準備学習　時間外学習			

【使用教科書・教材・参考書】

専用プリント

科目名	ProTools Advance2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	大村　嘉伸
学科・コース	音楽テクノロジー学科・レコーディングエンジニア/レコーディング&PAエンジニア	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	レコーディングエンジニアとして数多くの音楽制作に携わる。実務歴24年						
授業の学習内容	業界の録音標準のアプリProToolsを、より実践的技術とスピードでオペレーションできるようにする						
到達目標	1曲の音楽制作過程のプリプロ段階からマスタングまでをProToolsを使用し、プロと同等のクオリティーで仕上げられる事ができる。						
評価方法と基準	1）定期テスト（実技）60%　2）定期テスト（筆記）40% プロレベルのスピード、正確性、クオリティーでのProToolsセッションのオペレーションで出来るようにする						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	マルチオーディオインポートからセッションのセッティング	マルチオーディオインポートからセッションのセッティングをマスターする 振り返りと自習
2	講義	高度なセッションセッティングを出来るようにする	高度なセッションセッティングを出来るようにする 振り返りと自習
3	講義	アレンジャーとのAudioのやりとりを理解する	アレンジャーとのAudioのやりとりを理解する 振り返りと自習
4	講義	アレンジャーとのAudioのやりとりを実践できるようにする	アレンジャーとのAudioのやりとりを実践できるようにする 振り返りと自習
5	講義	プリプロ段階での曲のEDITを理解する	プリプロ段階での曲のEDITを理解する 振り返りと自習
6	講義	プリプロから本番までのEDITを理解する	プリプロから本番までのEDITを理解する 振り返りと自習
7	講義	本番でのブラッシュアップEDIT作業を理解する	本番でのブラッシュアップEDIT作業を理解する 振り返りと自習
8	講義	本番のブラッシュアップ作業を出来るようにする	本番のブラッシュアップ作業を出来るようにする 振り返りと自習
9	講義	実際に０からの楽曲制作での基本技術を理解する	実際に０からの楽曲制作での基本技術を理解する 振り返りと自習
10	講義	０から楽曲をファイナルミックスまで持っていくことを出来	０から楽曲をファイナルミックスまで持っていくことを出来るようにする 振り返りと自習
11	講義	ファイナルミックスクオリティーをプロレベルまで持ってい	ファイナルミックスクオリティーをプロレベルまで持っていけるようにする 振り返りと自習
12	講義	マスター制作作業を出来るようにする	マスター制作作業を出来るようにする 振り返りと自習
13	試験	EDITとミックス完成までの復習テスト	これまでの授業を通じて学んだポイントをポートフォリオとしてまとめる
14	講義	卒業進級制作のライブレコーディングのシステム構築及びProToolsセッション作成について	卒業進級制作のライブレコーディングに向けたシステム構築及びProToolsセッション作成について　振り返りと自習
15	講義	卒業進級制作のライブレコーディングセッションの編集と管	卒業進級制作のライブレコーディングセッションの編集と管理について 振り返りと自習
準備学習　時間外学習			

【使用教科書・教材・参考書】

専用プリント

科目名	コンサートAdvance 1 （PA Advance 1）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松本義正
学科・コース	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	90 6		

教員の略歴	（株）N&N、（有）クルーズでのPA業務経歴を経て、現在はフリーランスのPAエンジニア。実務歴30年。
授業の学習内容	音響デジタル卓、マイク、エフェクター、スピーカー、ワイヤレスシステム等の様々な音響機材に対しての知識力と操作方法を身につけ、PAエンジニアに必要とされる知識や技術はもちろん、行動力や体力を備える。 PAアシスタントとして実際の現場で必要とされる人材を育成する。
到達目標	コンサートや舞台現場のPAアシスタントとして即戦力の人材になる。 デジタル卓のSYSTEMを自らの力で構築出来る。
評価方法と基準	実技試験

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	1年生の顔合わせでコミュニケーションを計る。	後輩とコミュニケーションをとる。
2	演習	デジタルミキサー（LS9）の使用方法を習得する。	学んだ卓の説明書を見て、機材にも触れて、授業内容の復習と自主的に学ぶ意識を持つ。
3	演習	デジタルミキサー（Si-Compact）の使用方法を習得する。	学んだ卓の説明書を見て、機材にも触れて、授業内容の復習と自主的に学ぶ意識を持つ。
4	演習	デジタルミキサー（X32）の使用方法を習得する。	学んだ卓の説明書を見て、機材にも触れて、授業内容の復習と自主的に学ぶ意識を持つ。
5	演習	デジタルミキサー（CL5）の使用方法を習得する。	学んだ卓の説明書を見て、機材にも触れて、授業内容の復習と自主的に学ぶ意識を持つ。
6	演習	デジタルミキサー（SD8）の使用方法を習得する。	学んだ卓の説明書を見て、機材にも触れて、授業内容の復習と自主的に学ぶ意識を持つ。
7	演習	アナログ卓のCOMP,GATEインサート方法を学ぶ	インサートについて調べておく。
8	演習	デジタル卓のCOMP,GATEインサート方法を学ぶ	インサートについて復習する。
9	演習	モニターの概念を理解する。	モニターオペレーターの仕事を調べる。
10	演習	アナログ卓でのモニターの組み方を習得する。	モニターの概念を自分なりに調べる。
11	演習	デジタル卓でのモニターの組み方を習得する。	モニターの概念を自分なりに調べる。
12	演習	ミュージカル「明日への扉」にPAスタッフとして参加する。	現場において気付いた事柄をまとめておく。
13	演習	ミュージカル「明日への扉」にPAスタッフとして参加する。	現場において気付いた事柄をまとめておく。
14	演習	IEM　PSM1000を使ってのモニターの組み方を習得する。	モニターの概念を自分なりに調べる。
15	演習	復習テストの実施	試験で出来なかった部分を気づきとしてメモを取る。
準備学習　時間外学習		授業で学んだ内容についての復習レポート作成し、PA機材を調べる。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートAdvance 1 （照明　Advance 1）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鈴木昌広
学科・コース	音楽テクノロジー・照明スタッフコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	H6~H21 (株)綜合舞台 勤務 / H21~フリーランスとしてコンサート現場を中心に照明業務全般を担当。実務歴25年。						
授業の学習内容	照明業界での必要最低限の基礎知識や基礎技術をこの授業枠で会得しなければ、現場で機能する人材になることができない。またチームワークが大切な職業であるため、火曜日の照明ワークショップと共に人とのコミュニケーション能力の向上も育成ポイント。前述の基礎知識や技術を学生間や学生講師間で議論しながらイメージを膨らます事が不可欠になるので、”会話”しながら授業を進めていく。						
到達目標	①1年次から更に増した基礎知識と基礎技術の向上を現場(学内イベント)で生かす。 ②特に演習時はグループ作業が多いため、様々な事柄をコミュニケーションをとって解決できる人材になる。 ③照明家の楽しさや難しさを共感、共有できる授業にする事が最大の目標。						
評価方法と基準	1）定期試験60%　2）各授業ごとの課題試験20%　3）実技作業20%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	各種器材を改めて仕込み、特性を再認識。以降の照明プラン時に役立てる	資料など読み返し器材のイメージは把握する
2	演習	電源、信号など照明における必要な基礎知識の説明や計算ができる	左記を様々なケースで反復学習
3	演習	擬似パイプ回路を使っての仕込み・撤去ができる	左記を様々なケースで反復学習
4	演習	前週の仕込みを再度トライ。更にサオの使い方を把握する	左記を様々なケースで反復学習
5	演習	ユニット入れ込み方法や電気容量計算できる①	電気に関する参考資料(教科書)を読む
6	演習	実際の現場(学園祭)に向けて準備作業。過去習得したものを生かすことができる	現場に向けた資料作り
7	演習	5週から難易度の上がった電気容量計算できる②	電気に関する参考資料(教科書)を読む
8	演習	照明データ表の書き方を習得。データー表を書くことができる	左記を様々なケースで反復学習
9	演習	照明プログラム、時間内に打ち込んで実機と机上データのギャップを把握ができる	左記を様々なケースで反復学習
10	演習	前週のものを各自発表。他人の照明を見て違うパターンのイメージ作りができる	課題曲を聞いてイメージ作りする
11	演習	PINspotのCue出し方法とPINの操作がわかる	左記を様々なケースで反復学習
12	演習	「明日への扉」スタッフとして参加し、照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13	演習	「明日への扉」スタッフとして参加し、舞台照明の演出を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	演習	学校イベントに向けて充分な準備ができる	職業体験等イベントの資料を事前にまとめておく
15	演習	復習試験	1~11週の総復習をレポート作成。
準備学習　時間外学習		事前学習60分・時間外学習は時間でなく各項目3パターン	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	ムービング Advance1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	橋本真也
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明ライティング	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	TSM卒業後、照明会社PACに就職し、現在はフリーランスの照明家として、ライブやコンサート、芝居、施設照明のプランニング、ムービングライトのオペレーターとして活躍。ムービング講師15年以上。						
授業の学習内容	現代のコンサートや舞台、その他様々なイベントに於ける照明演出で必須となったムービングライト。その特性と機能を学ぶことは、照明会社に就職する上でも非常に有利な条件となります。照明概論や照明BASICとも連動し、学校行事や企業プロジェクトイベント等でオペレートができるように、また将来的にエンターテイメント業界で活躍できる人材となれるよう指導していきます。						
到達目標	仕込みに応じて、パッチの変更、設定が出来るようにする。 エフェクトを利用した、様々なシーンの作成。 細かな機能を覚えることにより、スムーズにシーンの作成、修正ができるようにする。						
評価方法と基準	試験60%（実技試験） 出席率40%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	1年次の復習	授業で学んだ内容を復習し、覚える。
2	演習	パッチ、ステージセットアップ、パンチルト設定。	授業で学んだ内容を復習し、覚える。
3	演習	パッチ、アトリビュート設定関連、マクロ。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
4	演習	SHOW作成を一人ずつ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
5	演習	メンテナンス、ムービング本体設定。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
6	演習	エフェクト応用	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
7	演習	プリセットフィルター、アップデートオプション、ストアオプション。	授業で学んだ内容を実際に機材に触れて復習する。
8	演習	小復習。	復習として今までに学んだ内容に聞き逃しがないかを確認し、質問事項にしてまとめる。
9	演習	ATコピー、マスター関連、フリーズ。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
10	演習	アトリビュートタイム、ディレイ。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
11	演習	モジュレーター。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
12	演習	GrandMA3D SHOW作成。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
13	演習	テスト、SHOW作成関連。	試験にて出来なかった部分を復習する。
14	演習	「明日への扉」照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となるムービングの仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	演習	「明日への扉」照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となるムービングの仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
準備学習　時間外学習		基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートAdvance 1 （楽器リペア3）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石井正人
学科・コース	音楽テクノロジー科・楽器リペア＆テクニシャンコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 8		
教員の略歴	姉妹校ギタークラフトコース卒。2002年フジゲン（株）に入社し、リペアスタッフ長、店舗店長、国内営業所長などを歴任。2011年退社後、フリーランスのセットアッパーとして活動。「パーフェクト・ギター・セットアップ・メソッド」の著者。リペア実務歴16年。						
授業の学習内容	プロのリペアマンやセットアッパーとして、キャリアをスタートできるよう、ニーズの多く、かつ高度な技術を必要とする修理における実技指導を行う。実習をメインとし、授業内での技術習得を目指す。						
到達目標	・リペアマンの評価において、ひとつの基準とも言える、フレットの交換技術を習得する。 ・多種多様なミュージシャンに対応すべく、セットアップアレンジを研究検証させ、その基礎を作る。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	複雑な環境下におけるフレット擦り合わせの実習。 理想：時間内に、正確な作業が行える事　標準：見立てを誤らずに作業を行える事	フレット擦り合わせについて復習レポートを作成。
2	演習	ナット交換の実習。理想：時間内に確実な作業を行える事　標準：確実な作業を行える事	ナット交換について復習レポートを作成。
3	演習	フレット交換作業の実習（ボルトオンタイプ）①　フレット抜き～指板修正　理想：学んだ手順通りに、時間内に作業を行える事　標準：学んだ手順通りに作業を行える事	フレット交換作業（ボルトオンタイプ）について復習レポートを作成。
4	演習	フレット交換作業の実習（ボルトオンタイプ）②　フレット準備～フレット打ち　理想：学んだ手順通りに、時間内に作業を行える事　標準：学んだ手順通りに作業を行える事	フレット交換作業（ボルトオンタイプ）について復習レポートを作成。
5	演習	フレット交換作業の実習（ボルトオンタイプ）③　フレットの擦り合わせ～仕上げ　理想：学んだ手順通りに、時間内に作業を行える事　標準：学んだ手順通りに作業を行える事	フレット交換作業（ボルトオンタイプ）について復習レポートを作成。
6	演習	フレット交換作業の実習（ボルトオンタイプ）④　ナット製作～弦張り、セットアップ　理想：学んだ手順通りに、時間内に作業を行える事　標準：学んだ手順通りに作業を行える事	フレット交換作業（ボルトオンタイプ）について復習レポートを作成。
7	演習	フレット交換作業の実習（セットネックタイプ）①　フレット抜き～指板修正　理想：学んだ手順通りに、時間内に作業を行える事　標準：学んだ手順通りに作業を行える事	フレット交換作業（セットネックタイプ）について復習レポートを作成。
8	演習	フレット交換作業の実習（セットネックタイプ）②　フレット準備～フレット打ち　理想：学んだ手順通りに、時間内に作業を行える事　標準：学んだ手順通りに作業を行える事	フレット交換作業（セットネックタイプ）について復習レポートを作成。
9	演習	フレット交換作業の実習（セットネックタイプ）③フレットの擦り合わせ～仕上げ　理想：学んだ手順通りに、時間内に作業を行える事　標準：学んだ手順通りに作業を行える事	フレット交換作業（セットネックタイプ）について復習レポートを作成。
10	演習	フレット交換作業の実習（セットネックタイプ）④　ナット製作～弦張り、セットアップ　理想：学んだ手順通りに、時間内に作業を行える事　標準：学んだ手順通りに作業を行える事	フレット交換作業（セットネックタイプ）について復習レポートを作成。
11	演習	セットアップアレンジの研究検証作業実習　ランダムにセットアップのコンセプトを提示し、それに準じたセットアップに仕上げ、各々で結果を検証する　理想：時間内に、コンセプトに準じたセットアップを行える事　標準：コンセプトに準じたセットアップを行える事	セットアップアレンジの研究検証作業について復習レポートを作成。
12	演習	明日への扉に参加し、劇中バンドの楽器メンテナンスを行う。	実際のメンテナンス業務の報告と気づいた点をまとめてレポート提出する。
13	演習	明日への扉に参加し、楽器スタッフとしての現場力やコミュニケーション力を養う。	イベント参加で気づいた点をまとめてレポート提出する。
14	演習	セットアップアレンジの研究検証作業実習　ランダムにセットアップのコンセプトを提示し、それに準じたセットアップに仕上げ、各々で結果を検証する　理想：時間内に、コンセプトに準じたセットアップを行える事　標準：コンセプトに準じたセットアップを行える事	※授業内に終わらなかった作業は時間外学習とする
15	試験	セットアップアレンジの実習　前回授業をテスト形式で行い、その仕上がり具合や理解度を見る	総まとめとしてのレポートを作成。
準備学習　時間外学習		準備学習として、毎回の授業において、良かった事や悪かった事を書き出し、反省、次への対策を練る事を習慣付ける	

科目名	楽器リペアAdvance1	必修選択	選択	年次	2年	担当教員	石井正人
		授業形態	演習	総時間（単位）	90 6		
学科・コース	音楽テクノロジー科・楽器リペア＆テクニシャンコース						
教員の略歴	姉妹校ギタークラフトコース卒。2002年フジゲン（株）に入社し、リペアスタッフ長、店舗店長、国内営業所長などを歴任。2011年退社後、フリーランスのセットアッパーとして活動。「パーフェクト・ギター・セットアップ・メソッド」の著者。リペア講師歴7年。						
授業の学習内容	プロのリペアマンやセットアッパーとして、キャリアをスタートできるよう、ニーズの多く、かつ高度な技術を必要とする修理における実技指導を行う。講義、演習をメインとし、基本的な手法や目指すべき仕上がり具合を見せ伝える事に加え、それらを通じて、多種多様な楽器に対応できるよう、応用を効かせられるようになる為の、軸となる見方や考え方を習得させる。						
到達目標	・リペアマンの評価において、ひとつの基準とも言える、フレットの交換手順や理想的な仕上がり具合を覚える ・様々なセットアップのアレンジ手法を見せ、考察させ、各々の感覚と擦り合わせて、各自のセットアップの軸を作る						
評価方法と基準	テスト70%（筆記試験100%）、出席率30%　理解度をチェックする筆記試験を行う。100～90点をAとし、89～75点をB、74～60点をC、59～45点をD、44～30点をE、それ以下をFとする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	複雑な環境下におけるフレット擦り合わせに関する講義、演習。 理想：内容を理解し、的確な状況判断ができるようになる事。	授業内容の復習レポートを作成。
2	演習	ナット交換の講義、演習。 理想：内容を理解し、的確な作業判断ができるようになる事。	授業内容の復習レポートを作成。
3	演習	フレット交換作業の講義、演習（ボルトオンタイプ）①　フレット抜き～指板修正。理想：手順や理想的な仕上がり具合を覚え、状況に応じて的確な作業判断ができる事。	授業内容の復習レポートを作成。
4	演習	フレット交換作業の講義、演習（ボルトオンタイプ）②　フレット準備～フレット打ち。理想：手順や理想的な仕上がり具合を覚え、状況に応じて的確な作業判断ができる事。	授業内容の復習レポートを作成。
5	演習	フレット交換作業の講義、演習（ボルトオンタイプ）③　フレットの擦り合わせ～仕上げ。理想：手順や理想的な仕上がり具合を覚え、状況に応じて的確な作業判断ができる事。	授業内容の復習レポートを作成。
6	演習	フレット交換作業の講義、演習（ボルトオンタイプ）④　ナット製作～弦張り、セットアップ。理想：手順や理想的な仕上がり具合を覚え、状況に応じて的確な作業判断ができる事。	授業内容の復習をし、他の楽器も題材にして作業をする。
7	演習	フレット交換作業の講義、演習（セットネックタイプ）①　フレット抜き～指板修正。理想：ボルトオンタイプとのアプローチの違いを理解し、的確な作業判断ができる事。	授業内容の復習をし、他の楽器も題材にして作業をする。
8	演習	フレット交換作業の講義、演習（セットネックタイプ）②　フレット準備～フレット打ち。理想：ボルトオンタイプとのアプローチの違いを理解し、的確な作業判断ができる事。	授業内容の復習をし、他の楽器も題材にして作業をする。
9	演習	フレット交換作業の講義、演習（セットネックタイプ）③　フレットの擦り合わせ～仕上げ。理想：ボルトオンタイプとのアプローチの違いを理解し、的確な作業判断ができる事。	授業内容の復習をし、他の楽器も題材にして作業をする。
10	演習	フレット交換作業の講義、演習（セットネックタイプ）④　ナット製作～弦張り、セットアップ　理想：ボルトオンタイプとのアプローチの違いを理解し、的確な作業判断ができる事。	授業内容の復習をし、他の楽器も題材にして作業をする。
11	演習	セットアップアレンジについての講義、演習①　エレキギターのセットアップアレンジ　様々なコンセプトに応じたセットアップアレンジを見せながら、そこに至る経緯や判断理由などを指導する。理想：コンセプトに応じたセットアップアレンジの判断ができるようになる。	授業内で使用した物と異なる楽器のセットアップを研究する。
12	演習	セットアップアレンジについての講義、演習②　エレキベースのセットアップアレンジ　様々なコンセプトに応じたセットアップアレンジを見せながら、そこに至る経緯や判断理由などを指導する　理想：コンセプトに応じたセットアップアレンジの判断ができるようになる。	授業内で使用した物と異なる楽器のセットアップを研究する。
13	演習	明日への扉に参加し、劇中バンドの楽器メンテナンスを行う。	実際のメンテナンス業務の報告と気づいた点をまとめてレポート提出する。
14	演習	明日への扉に参加し、楽器スタッフとしての現場力やコミュニケーション力を養う。	イベント参加で気づいた点をまとめてレポート提出する。
15	試験	筆記復習試験。試験後は答え合わせを行う事で、更に理解度を深める。	試験で出来なかった箇所について見直し、理解できるようにする。
準備学習　時間外学習		準備学習として、毎回の授業において、良かった事や悪かった事を書き出し、反省、次への対策を練る事を習慣付ける	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートAdvance 1 （Vecter Works Basic1）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業形態	演習	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。						
授業の学習内容	図面製作ソフトベクターワークスの基本的な使い方を学び、実践で扱える技術を身につける。						
到達目標	ベクターワークスを使い、図形作成を習得し、舞台スタッフに必要な舞台図面が書けるようになることを目標とする。						
評価方法と基準	●実技試験70% ●課題提出30%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	演習	オリエンテーション	基本的なPC操作の復習レポートを作成。
2	演習	ベクターワークスに慣れる①	授業内容の復習レポートを作成。
3	演習	ベクターワークスに慣れる②	授業内容の復習レポートを作成。
4	演習	直線・曲線を自由に描く	直線、曲線を描く復習レポートを作成。
5	演習	多角線を描く	多角線を描く復習レポートを作成。
6	演習	図形を描く	図形を描く復習レポートを作成。
7	演習	線と図形を組み合わせて描く	図形を描く復習レポートを作成。
8	演習	縮尺を理解し、慣れて使う①	授業内容の復習レポートを作成。
9	演習	縮尺を理解し、慣れて使う②	授業内容の復習レポートを作成。
10	演習	劇場図面を理解する①	様々な劇場の図面を調べてみる。
11	演習	劇場図面を理解する②	様々な劇場の図面を調べてみる。
12	演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理
13	演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理
14	演習	簡易図面を作成する	授業内容の復習レポートを作成。
15	演習	前期まとめ　復習	前期まとめの復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、資料のまとめ、整理をする。	

【使用教科書・教材・参考書】

ベクターワークス トレーニングブックより抜粋

科目名	コンサートAdvance 1 （照明デザイン1）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	林之弘
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明スタッフコース	授業形態	演習	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	㈱六工房　代表取締役、日本照明家協会理事、日本照明家協会一級技能士。実務歴27年。						
授業の学習内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける。 ②現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	①前期中に予定されているミュージカル「明日への扉」で、仕込み、本番、撤去ができ、1年生スタッフに指導できる。 ②日本照明家協会技能認定2級試験合格						
評価方法と基準	筆記試験 ※ペーパーテストにて、仕込み、本番、撤去に必要な専門用語、機材知識の理解度を評価。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	「安全に作業をするために」①が解答できる	「安全に作業をするために」について復習レポートを作成。
2	演習	「安全に作業をするために」②が解答できる	「安全に作業をするために」について復習レポートを作成。
3	演習	「舞台用語」照明関連の用語が解答できる	「舞台用語」照明関連の用語について復習レポートを作成。
4	演習	「舞台用語」舞台関連の用語が解答できる	「舞台用語」舞台関連の用語が解答できる
5	演習	「照明家に必要な基礎知識」（電気について）が解答できる	「照明家に必要な基礎知識」について復習レポートを作成。
6	演習	「照明家に必要な基礎知識」（光について）に解答できる	「照明家に必要な基礎知識」（光について）に解答できる
7	演習	「照明操作卓のシステム」に解答できる	「照明操作卓のシステム」について復習レポートを作成。
8	演習	ヴィジュアライザーソフト①基本が理解できる	ヴィジュアライザーソフトについて復習レポートを作成。
9	演習	ヴィジュアライザーソフト②作図できる	ヴィジュアライザーソフトについて復習レポートを作成。
10	演習	ヴィジュアライザーソフト③パッチができる	ヴィジュアライザーソフトについて復習レポートを作成。
11	演習	前期まとめ	前期まとめについて復習レポートを作成。
12	演習	「明日への扉」スタッフとして参加し、照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13	演習	「明日への扉」スタッフとして参加し、舞台照明の演出を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	演習	ミュージカル公演の振り返り	前期まとめの復習レポートを作成。
15	演習	前期まとめ復習テスト	テストの振り返り。出来なかった部分の確認。
準備学習　時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

舞台・テレビジョン照明技術者　技能認定試験問題集《2級》

科目名	コンサートAdvance 2 （PA Advance 2）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	松本義正
学科・コース	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース	授業形態	演習	総時間（単位）	90 6		
教員の略歴	（株）N&N、（有）クルーズでのPA業務経歴を経て、現在はフリーランスのPAエンジニア。実務歴30年。						
授業の学習内容	楽器をオペレートするために必要となる音作りの知識と技術を学ぶ。 本番時のトラブル等に対処できる行動力を養う。 PAアシスタントとして実際の現場で必要とされる人材を育成する。						
到達目標	歌ものだけではなく、バンドのオペレートも出来るようになる。 イベント本番時のトラブル等に対処できるような行動力をつける。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	演習	音作り①　DRUM単体を学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探す
2	演習	音作り②　DRUM全体を学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
3	演習	音作り③　BASS,GTRを学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
4	演習	音作り④　KEY,PERCを学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
5	演習	音作り⑤　BAND全体を学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
6	演習	シミュレーションライブを通してオペレート経験を積む。	事前に曲をしっかり聞いておく。
7	演習	本番ライブを通してオペレート経験を積む。	事前に曲をしっかり聞いておく。
8	演習	ワイヤレスについて理解する	PCの最低限の使い方を確認しておく。
9	演習	Workbenchの使用方法を学ぶ	Workbenchの最低限の使い方
10	演習	Ablrton Liveの使用方法を学ぶ	Ablrton Liveの最低限の使い方
11	演習	卒業制作展に向けての最終確認	資料を集めておく
12	演習	卒業制作展でPAを担当する。	現場で気付いた事柄をまとめておく。
13	演習	卒業制作展でPAを担当する。	現場で気付いた事柄をまとめておく。
14	演習	卒業制作展の反省	反省点をまとめて、後輩へ引き継ぐための資料まとめをする。
15	試験	試験。仕込みバラシ。	少ない人数で短い時間でやる練習をする。
準備学習　時間外学習		授業で学んだ内容についての復習レポート作成し、PA機材を調べる。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートAdvance 2 （照明　Advance 2）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鈴木昌広
学科・コース	音楽テクノロジー・照明スタッフコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 4		
教員の略歴	H6~H21 (株)綜合舞台 勤務 / H21~フリーランスとしてコンサート現場を中心に照明業務全般を担当。実務歴25年。						
授業の学習内容	基本的に反復した授業内容。繰り返し必要最低限の基礎知識や基礎技術をこの授業枠で会得しなければ、現場で機能する人材になることができない。またチームワークが大切な職業であるため、火曜日の照明ワークショップと共に人とのコミュニケーション能力の向上も育成ポイント。前述の基礎知識や技術を学生間や学生講師間で議論しながらイメージを膨らます事が不可欠になるので、”会話”しながら授業を進めていく。						
到達目標	①前期から更に増した基礎知識と基礎技術の向上を現場(学内イベント)で生かす。②特に演習時はグループ作業が多いため、様々な事柄をコミュニケーションをとって解決できる人材になる。③照明家の楽しさや難しさを共感、共有できる授業にする事が最大の目標。						
評価方法と基準	1）定期試験30%　2）各授業ごとの課題試験10%　3）実技作業10%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	プランナーオペレーター等グループ作業での机上による明かり作りができる	各自課題曲決めと残作業
2	演習	前週内容を発表し、各自の照明内容を分析する事ができる	分析した上で様々な曲テーマで反復学習
3	演習	シュートにおけるさおの使い方、現場で求められるさおの技術を習得する	左記を様々なケースで反復学習
4	演習	器材の愛情を養い、メンテナンスを通じて仕組みを知り工具の使い方や器材の構造を覚える	左記を様々な器材でメンテナンス
5	演習	コミュニケーションをとりながら仕込み、さおの操作ができる	左記を様々なケースで反復学習
6	演習	プランナーオペレーター等グループ作業での机上による明かり作りができる	各自課題曲決めと残作業
7	演習	前週内容を発表し、各自の照明内容を分析する事ができる	分析した上で様々な曲テーマで反復学習
8	演習	シュートにおけるさおの使い方、現場で求められるさおの技術を習得する	左記を様々なケースで反復学習
9	演習	器材の愛情を養い、メンテナンスを通じて仕組みを知り工具の使い方や器材の構造を覚える	左記を様々な器材でメンテナンス
10	演習	シュートにおけるさおの使い方、現場で求められるさおの技術を習得する	左記を様々なケースで反復学習
11	演習	演目に対する理解と明かり作りの実践、イベントの明かり作り、打ち込みができる①	各自与えられた演目の内容を深く理解する
12	演習	卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13	演習	卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	演習	演目に対する理解と明かり作りの実践、イベントの明かり作り、打ち込みができる②	各自与えられた演目の内容を深く理解する
15	試験	後期試験 / 総まとめの質疑応答、卒業イベントへの準備	2年間の総まとめ
準備学習　時間外学習		事前学習60分・時間外学習は時間でなく各項目3パターン	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	ムービング Advance2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	橋本真也
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4		
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明ライティング						
教員の略歴	TSM卒業後、照明会社PACに就職し、現在はフリーランスの照明家として、ライブやコンサート、芝居、施設照明のプランニング、ムービングライトのオペレーターとして活躍。ムービング講師15年以上。						
授業の学習内容	現代のコンサートや舞台、その他様々なイベントに於ける照明演出で必須となったムービングライト。その特性と機能を学ぶことは、照明会社に就職する上でも非常に有利な条件となります。照明概論や照明BASICとも連動し、学校行事や企業プロジェクトイベント等でオペレートができるように、また将来的にエンターテイメント業界で活躍できる人材となれるよう指導していきます。						
到達目標	各種機能への理解を深め、ビジュアライザーを使い、多い台数への対応。 明かりのバランス、シーンの構成を考慮し、ムービングライトを使用するポイントを考える。						
評価方法と基準	試験60%（実技試験） 出席率40%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	前期復習。明かりのバランスを考える。	授業で学んだ内容を復習し、覚える。
2	演習	ビジュアライザーを使ってマトリックスなどの練習	授業で学んだ内容を復習し、覚える。
3	演習	フィクスチャーデータ作成。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
4	演習	仕込みに関して。、	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
5	演習	DMXin, リモートコントロール。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
6	演習	アリーナ、パール、onPC	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
7	演習	セットアップに関して詳しく。	授業で学んだ内容を実際に機材に触れて復習する。
8	演習	小復習。	復習として今までに学んだ内容に聞き逃しがないかを確認し、質問事項にしてまとめる。
9	演習	プリセット復習。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
10	演習	個別にわからない所を学ぶ。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
11	演習	課題明かり作り。	ディスカッション
12	演習	課題明かり作り。	ディスカッション
13	演習	テスト、明かり作り。	ディスカッション
14	演習	卒業制作展に照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となるムービングの仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	演習	卒業制作展に照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となるムービングの仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
準備学習　時間外学習		基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートAdvance 2 （楽器リペア4）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	石井正人
学科・コース	音楽テクノロジー科・楽器リペア＆テクニシャンコース	授業形態	演習	総時間（単位）	120 8		
教員の略歴	姉妹校ギタークラフトコース卒。2002年フジゲン（株）に入社し、リペアスタッフ長、店舗店長、国内営業所長などを歴任。2011年退社後、フリーランスのセットアッパーとして活動。「パーフェクト・ギター・セットアップ・メソッド」の著者。リペア実務歴16年。						
授業の学習内容	プロのリペアマンやセットアッパーとして、キャリアをスタートできるよう、ニーズの多く、かつ高度な技術を必要とする修理における実技指導を行う。実習をメインとし、授業内での技術習得を目指す。						
到達目標	・トリマーやテンプレートを用いた木部加工技術を習得する。 ・ネックの折れやアコースティックギターのトップ板割れなどの木部修正技術を習得する。 ・前期で培ったセットアップアレンジを更に研究検証させ、実践的なスキルにまで昇華させる。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	演習	木工加工技術の実習①　テンプレートの作成　理想：時間内に、正確なテンプレートの作成が行える事　標準：正確なテンプレートの作成が行える事	テンプレートの作成について復習レポートを作成。
2	演習	木工加工技術の実習②　トリマーを用いた木部加工　理想：時間内に、正確な加工が行える事　標準：正確な加工が行える事	トリマーを用いた木部加工について復習レポートを作成。
3	演習	木部修正技術の実習①　折れた木部の修正（準備～接着）理想：時間内に、正しく作業を行える事　標準：正しく作業を行える事	折れた木部の修正について復習レポートを作成。
4	演習	木部修正作業の実習②　折れた木部の修正（成形～仕上げ）　理想：時間内に、正しく作業を行える事　標準：正しく作業を行える事	折れた木部の修正について復習レポートを作成。
5	演習	木部修正作業の実習③　割れた木部の修正（準備～接着）理想：時間内に、正しく作業を行える事　標準：正しく作業を行える事	割れた木部の修正について復習レポートを作成。
6	演習	木部修正作業の実習④　割れた木部の修正（成形～仕上げ）　理想：時間内に、正しく作業を行える事　標準：正しく作業を行える事	割れた木部の修正について復習レポートを作成。
7	演習	木部修正作業の実習⑤　剥がれた木部の再接着（剥がし～再接着）　理想：時間内に、正しく作業を行える事　標準：正しく作業を行える事	剥がれた木部の再接着について復習レポートを作成。
8	演習	木部修正作業の実習⑥　剥がれた木部の再接着（成形～仕上げ）　理想：時間内に、正しく作業を行える事　標準：正しく作業を行える事	剥がれた木部の再接着について復習レポートを作成。
9	演習	セットアップ作業の実習①　ボルトオンギターのセットアップ　ランダムにセットアップのコンセプトを提示し、それに準じたセットアップに仕上げる　理想：時間内に、コンセプトに準じたセットアップを行える事　標準：コンセプトに準じたセット	ボルトオンギターのセットアップについて復習レポートを作成。
10	演習	セットアップ作業の実習②　セットネックギターのセットアップ　ランダムにセットアップのコンセプトを提示し、それに準じたセットアップに仕上げる　理想：時間内に、コンセプトに準じたセットアップを行える事　標準：コンセプトに準じたセット	セットネックギターのセットアップについて復習レポートを作成。
11	演習	セットアップ作業の実習③　エレキベースのセットアップ　ランダムにセットアップのコンセプトを提示し、それに準じたセットアップに仕上げる　理想：時間内に、コンセプトに準じたセットアップを行える事　標準：コンセプトに準じたセット	エレキベースのセットアップについて復習レポートを作成。
12	演習	セットアップ作業の実習④　アコースティックギターのセットアップ　ランダムにセットアップのコンセプトを提示し、それに準じたセットアップに仕上げる　理想：時間内に、コンセプトに準じたセットアップを行える事　標準：コンセプトに準じた	アコースティックギターのセットアップについて復習レポートを作成。
13	演習	卒業制作展に参加し、出演バンドの楽器メンテナンスを行う。	実際のメンテナンス作業の報告と気づいた点をまとめてレポート提出する。
14	演習	卒業制作展に参加し、楽器スタッフとしての現場力やコミュニケーション力を養う。	イベント参加で気づいた点をまとめてレポート提出する。
15	演習	セットアップの実習　セットアップ作業をテスト形式で行い、その仕上がり具合や理解度を見る	総まとめとしてのレポートを作成。
準備学習　時間外学習		準備学習として、毎回の授業において、良かった事や悪かった事を書き出し、反省、次への対策を練る事を習慣付ける	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートAdvance 2 （楽器リペアAdvance2）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石井正人
学科・コース	音楽テクノロジー科・楽器リペア＆テクニシャンコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	90 6		
教員の略歴	姉妹校ギタークラフトコース卒。2002年フジゲン（株）に入社し、リペアスタッフ長、店舗店長、国内営業所長などを歴任。2011年退社後、フリーランスのセットアッパーとして活動。「パーフェクト・ギター・セットアップ・メソッド」の著者。リペア講師歴7年。						
授業の学習内容	プロのリペアマンやセットアッパーとして、キャリアをスタートできるよう、ニーズの多く、かつ高度な技術を必要とする修理における実技指導を行う。講義、演習をメインとし、基本的な手法や目指すべき仕上がり具合を見せ伝える事に加え、それらを通じて、多種多様な楽器に対応できるよう、応用を効かせられるようになる為の、軸となる見方や考え方を習得させる。						
到達目標	・トリマーやテンプレートを用いた木部加工技術の指導 ・ネックの折れやアコースティックギターのトップ板割れなどの木部修正技術の指導 ・前期で培ったセットアップアレンジを更に研究検証させ、実践的なスキルにまで昇華させる						
評価方法と基準	テスト70%（筆記試験と実技試験） 出席率30%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	木工加工技術の講義、演習①　テンプレートの作成。 理想：手順を覚え、的確な判断が行えるようになる事。	授業内容の復習をする。
2	演習	木工加工技術の講義、演習②　トリマーを用いた木部加工。理想：手順を覚え、的確な判断が行えるようになる事。	授業内容の復習をする。
3	演習	木部修正技術の講義、演習①　折れた木部の修正（準備～接着）。理想：手順を覚え、的確な判断が行えるようになる事。	授業内容の復習をする。
4	演習	木部修正作業の講義、演習②　折れた木部の修正（成形～仕上げ）。理想：手順を覚え、的確な判断が行えるようになる事。	授業内容の復習をする。
5	演習	木部修正作業の講義、演習③　割れた木部の修正（準備～接着）。理想：手順を覚え、的確な判断が行えるようになる事。	授業内容の復習をする。
6	演習	木部修正作業の講義、演習④　割れた木部の修正（成形～仕上げ）。理想：手順を覚え、的確な判断が行えるようになる事。	授業内容の復習をする。
7	演習	木部修正作業の講義、演習⑤　剥がれた木部の再接着（剥がし～再接着）。理想：手順を覚え、的確な判断が行えるようになる事。	授業内容の復習をする。
8	演習	木部修正作業の講義、演習⑥　剥がれた木部の再接着（成形～仕上げ）。理想：手順を覚え、的確な判断が行えるようになる事。	授業内容の復習をする。
9	演習	セットアップ作業の講義、演習①　ボルトオンギターのセットアップ　セットアップのコンセプトを提示した上で、それに準じたセットアップに仕上げ、各々にチェックさせる事で、アレンジ手法とその意図、サウンドなどの感覚をリンクさせていく。理想：手順を覚え、的確な判断が行えるようになる事。	授業内容の復習をし、他の楽器も題材にして作業をする。
10	演習	セットアップ作業の講義、演習②　セットネックギターのセットアップ　セットアップのコンセプトを提示した上で、それに準じたセットアップに仕上げ、各々にチェックさせる事で、アレンジ手法とその意図、サウンドなどの感覚をリンクさせていく。理想：手順を覚え、的確な判断が行えるようになる事。	授業内容の復習をし、他の楽器も題材にして作業をする。
11	演習	セットアップ作業の講義、演習③　エレキベースのセットアップ　セットアップのコンセプトを提示した上で、それに準じたセットアップに仕上げ、各々にチェックさせる事で、アレンジ手法とその意図、サウンドなどの感覚をリンクさせていく。理想：手順を覚え、的確な判断が行えるようになる事。	授業内で使用した物と異なる楽器のセットアップを研究する。
12	演習	セットアップ作業の講義、演習④　アコースティックギターのセットアップ　セットアップのコンセプトを提示した上で、それに準じたセットアップに仕上げ、各々にチェックさせる事で、アレンジ手法とその意図、サウンドなどの感覚をリンクさせていく。理想：手順を覚え、的確な判断が行えるようになる事。	授業内で使用した物と異なる楽器のセットアップを研究する。
13	演習	卒業制作展に参加し、出演バンドの楽器メンテナンスを行う。	実際のメンテナンス作業の報告と気づいた点をまとめてレポート提出する。
14	演習	卒業制作展に参加し、楽器スタッフとしての現場力やコミュニケーション力を養う。	イベント参加で気づいた点をまとめてレポート提出する。
15	演習	筆記試験と実技試験を実施。 試験後は答え合わせを行う事で、更に理解度を深める。	試験後は答え合わせを行う事で、更に理解度を深める。
準備学習　時間外学習		準備学習として、毎回の授業において、良かった事や悪かった事を書き出し、反省、次への対策を練る事を習慣付ける。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートAdvance 2 （照明デザイン2）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林之弘
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 2		
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明スタッフコース						
教員の略歴	㈱六工房　代表取締役、日本照明家協会理事、日本照明家協会一級技能士。実務歴27年。						
授業の学習内容	日本照明家協会技能認定2級試験合格を目標とする。 ①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける。 ②現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	①前期中に予定されているミュージカル「明日への扉」で、仕込み、本番、撤去ができ、1年生スタッフに指導できる。 ②日本照明家協会技能認定2級試験合格。						
評価方法と基準	筆記試験 ※日本照明家協会技能認定2級試験の点数を評価とする。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	照明機器①が解答できる	照明機器について復習レポートを作成。
2	演習	照明機器②が解答できる	照明機器について復習レポートを作成。
3	演習	「公演が行われる場の人たち」①が解答できる	「公演が行われる場の人たち」①について復習レポートを作成。
4	演習	「公演が行われる場の人たち」②が解答できる	「公演が行われる場の人たち」②について復習レポートを作成。
5	演習	「舞台機構と舞台照明設備」①が解答できる	「舞台機構と舞台照明設備」①について復習レポートを作成。
6	演習	「舞台機構と舞台照明設備」②が解答できる	「舞台機構と舞台照明設備」②について復習レポートを作成。
7	演習	「舞台における照明の仕事」①が解答できる	「舞台における照明の仕事」①について復習レポートを作成。
8	演習	「舞台における照明の仕事」②が解答できる	「舞台における照明の仕事」②について復習レポートを作成。
9	演習	仮設システムを使った照明の仕事①が解答できる	仮設システムを使った照明の仕事①について復習レポートを作成。
10	演習	仮設システムを使った照明の仕事②が解答できる	仮設システムを使った照明の仕事②について復習レポートを作成。
11	演習	後期まとめ授業	後期まとめ授業の復習レポートを作成。
12	演習	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13	演習	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明オペレートの実践と撤収作業を学ぶ。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	演習	技能認定試験	試験で不明確だった部分を調べる。
15	演習	照明実務/We are TSM渋谷に向けて	We are TSM渋谷の資料作成。
準備学習　時間外学習		授業内容について復習レポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

舞台・テレビジョン照明技術者　技能認定試験問題集《2級》

科目名	コンサートテクニック3 （PAワークショップ3）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	東徹郎 松本義正
学科・コース	音楽テクノロジー科 PAエンジニアコース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 8		

教員の略歴	東：エムテック所属のPAエンジニアとして、数多くのコンサートやイベント等を手掛ける。実務歴34年。 松本：フリーランスのPAエンジニアとして、数多くのコンサートやイベント等をてがける。実務歴30年。
授業の学習内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 打合せ、プランニング、仕込み、リハーサル、サウンドチェック、本番、バラシの一連の流れを実際のイベントを通して学び、経験とする。
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に同セクション内の人間関係をも構築する。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者などとの良好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	演習	顔合わせ自己紹介、機材の持ち方と安全管理について学ぶ。	機材の持ち方と安全管理について復習レポートを作成。
2	演習	マイクとスタンドの種類、ケーブルの巻き方を学ぶ。	マイクとスタンドの種類、ケーブルの巻き方について復習レポートを作
3	演習	ＰＡ仕込みの練習を行なう。	ＰＡ仕込みについて復習レポートを作成。
4	演習	仕込み練習・学園祭セクション決めを行なう。	学園祭セクションで打合せを行なう。
5	演習	仕込み練習・学園祭プランを立てる。	学園祭プランを立てるための打合せや稽古立会い等を行なう。
6	演習	学園祭反省会・明日への扉映像を見た上でセクションを決める。	学園祭反省会・明日への扉映像を見た上でセクションを決める。
7	演習	仕込み練習/LIVE8を学ぶ。	仕込み練習/LIVE8を学ぶ。
8	演習	仕込み練習/Work Benchを学ぶ。	仕込み練習/Work Benchを学ぶ。
9	演習	仕込み練習/DVSを学ぶ。	仕込み練習/DVSを学ぶ。
10	演習	外部ホール実習①外部ホールでの搬入搬出、仕込み、舞台機構、使用マ	外部ホール実習①外部ホールでの搬入搬出、仕込み、舞台機構、使用マ
11	演習	ホール実習②外部ホールで音環境を理解する。	ホール実習②外部ホールで音環境を理解する。
12	演習	ホール実習③外部ホールでのライブシミュレーションを行なう。	ホール実習③外部ホールでのライブシミュレーションを行なう。
13	演習	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14	演習	明日への扉スタッフとして参加し、本番、ばらしを行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、本番、ばらしを行なう。
15	**試験**	筆記試験と実技試験	筆記試験と実技試験
準備学習　時間外学習		授業内容の復習をレポートとして作成する。イベント等の打合せ、リハーサル立会い、プランニングや資料作成を行なう。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック3 （照明ワークショップ3）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	佐々木 鈴木
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明スタッフ、照明ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ	授業形態	演習	総時間（単位）	120 8		
教員の略歴	佐々木：大手照明会社に11年間勤務し、他方面の照明オペレートを経験。現在フリーランスの照明家として活動。実務歴26年。 鈴木：H6~H21 (株)綜合舞台 勤務 / H21~フリーランスとしてコンサート現場を中心に照明業務全般を担当。実務歴25年。						
授業の学習内容	舞台照明の仕事をするにあたり、基礎を踏まえた内容の授業をメインとする。現場で求められる人間性、技術力、行動力などの人材育成を目的とした実習として、ベーシック、アドバンスを活かした現場総合力を身につけるための授業。実習を繰り返すことで現場で求められる基礎知識と動きなどを覚え即戦力になる人材を育成する。						
到達目標	照明基礎のベーシック、アドバンスを活かしたより実践的な技術の習得と学年を超えた照明スタッフとしてのコミュニケーション力を学び、より現場らしい業務内容の体験の中で社会人になる意識を持たせる。メンテナンスを通じて器材の仕組みや工具の使い方を学ぶ。仕込みバラシと明かり作り作業の反復練習で照明効果の理解を深める。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	火曜の授業の確認や学校イベントなどの把握と協調関係の大事さなどを学ぶ。	授業時に取ったメモを見返して理解を深める。
2	演習	教室機材の器材を覚える。	授業で学んだ内容を復習する。
3	演習	実際に明かりを出しながら基本明かりの解説をし、理解する。	授業で学んだ内容を復習する。
4	演習	光と影が表わす印象と表現を理解する。	授業で学んだ内容を復習する。
5	演習	光の方向性や色から受けるイメージを感	様々なイメージを日常や映像を通して膨らませ
6	演習	テーマに沿った明かりを表現してみる。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
7	演習	電気基礎の理解をする。	授業内容に即した課題をレポートとして提出する。
8	演習	調光信号とユニットの理解をする。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
9	演習	仕込み図を作成する。	授業で学んだ内容を復習する。
10	演習	仕込みバラシをしてみる。	前週の仕込み図を完成させる。
11	演習	前期を終えるにあたり質問復習をする。	質問疑問をまとめてくる。
12	演習	イベントに向けての事前準備をする。	台本や資料に目を通しておく。
13	演習	「明日への扉」照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	演習	「明日への扉」照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	試験	実技試験と筆記試験を行う。	自身で答え合わせをし、分からなかった事について調べクリアにしておく。
準備学習　時間外学習		常に帰ってからの復習と理解を深め、実習や現場での動きに活かせるようにする。	

【使用教科書・教材・参考書】

ステージ舞台入門

科目名	コンサートテクニック3 （舞台制作ワークショップ3）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・ｺｰｽ	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	90 6		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督を担当。実務歴25年。						
授業の学習内容	テキストを中心に舞台の基礎を学び、アイドルイベントやお笑いイベント、学園祭、明日への扉公演の舞台監督、舞台制作スタッフに必要な知識と技術を実践的に学ぶ。						
到達目標	●知識と基に、作業工程や操作法を身につける。 ●舞台全体を把握できることを目的とする。 ●座学と実習を繰り返して、舞台監督としての成長を目指す。						
評価方法と基準	●資料作成物により評価30% ●イベント後のレポート提出40% ●出席状況30%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	演習	前期講義と舞台制作についての概要説明のオリエンテーションを行う。	自己紹介内容の準備をする。
2	演習	基本用語（舞台用語）を学ぶ。	スタッフ赤本の復習レポート作成と予習
3	演習	基本用語（舞台セット）を学ぶ。	スタッフ赤本の復習レポート作成と予習
4	演習	基本用語（舞台進行）を学ぶ。	イベント打合せ、資料の作成
5	演習	学園祭準備を通して制作を学ぶ。	イベント打合せ、資料の作成
6	演習	学園祭反省会と引き継ぎ作業を行う。	学園祭時に使用した資料の整理をする。
7	演習	基本用語（各セクション）を学ぶ。	実習準備
8	演習	舞台備品（箱馬・平台）について理解する。	実習準備
9	演習	舞台備品（幕）について理解する。	イベント打合せ、資料の作成
10	演習	舞台備品（ステージ設営）について理解する。	イベント打合せ、資料の作成
11	演習	舞台備品（大道具部材）について理解する。	授業内容を復習しレポートを作成。
12	演習	舞台備品（繋ぐ・切る・結ぶ）について理解する。	授業内容を復習しレポートを作成。
13	演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	打合せ、稽古立会い、資料の作成。
14	演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	撤収作業から現状復帰までを行なう。
15	試験	前期まとめと振り返り試験を実施する。	前期のまとめを復習しレポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	

【使用教科書・教材・参考書】

スタッフ赤本・コース教材（メジャー・手袋・カッター）

科目名	コンサートテクニック3 （楽器テクニシャンワークショップ3）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	水見博
学科・コース	音楽テクノロジー科楽器ﾘﾍﾟｱ&ﾃｸﾆｼｬﾝｺｰｽ	授業形態	演習	総時間（単位）	90 6		
教員の略歴	株式会社チームアクティブにて楽器テクニシャン、舞台監督として活動。実務歴26年。						
授業の学習内容	楽器テクニシャンとして基礎、機材メンテナンス、現場における所作まで実習を伴い学習する。 ドラムセットのセッティング、ギター、ベース、アンプなどの扱い方、電源の取り方、サウンドメイキングなどを学び、アーティストとの関わり方やマナーも身につけて即戦力を養う。						
到達目標	楽器テクニシャンとして　学内でのライブイベント等の現場を経験し、対応力、コミュニケーション、機材メンテナンスなどの技術を身につけることで、楽器テクニシャンとしての職業選択を持たせ、アーティストから必要とされる知識、技術を身につける。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	演習	オリエンテーション	スケジュールの調整と必要な道具、備品を揃える。
2	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（1）	メンテナンス機材の選定をする。
3	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（2）	メンテナンス機材の復旧確認をする。
4	演習	学内イベントに向けて考査、考察（1）	イベント実施内容資料収集
5	演習	学内イベントで現場に必要な知識と技術を学ぶ。	実施イベント資料の復習
6	演習	学園祭楽器テクニシャン業務について考査する。	実施イベント資料に基づいての考察
7	演習	学園祭反省会と終了報告書作成	実施イベント資料に基づいての考察
8	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（3）	メンテナンス機材の選定
9	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（4）	メンテナンス機材の復旧確認
10	演習	ミュージカル明日への扉について考察する。	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察
11	演習	校内機材への深認識、再確認をし共有する。	校内機材の使用方向考察
12	演習	学内イベントに向けて考査、考察（2）	イベント実施内容の収集と資料作成。
13	演習	明日への扉で楽器テクニシャンスタッフの実践経験を積む。	明日への扉の資料作成と反省点をまとめる。
14	演習	明日への扉で楽器テクニシャンスタッフの実践経験を積む。	明日への扉の資料作成と反省点をまとめる。
15	試験	復習テスト	前期のまとめをレポート作成する。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習と各種イベントの打合せ、資料作成をする。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック3 （舞台監督演習Advance 1）	必修選択	選択	年次	2 年	担当教員	北 英樹
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業形態	演習	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年。						
授業の学習内容	舞台監督、舞台制作者に必要となる知識と実際の現場で役立つ技術を学ぶ。						
到達目標	舞台制作の知識に関しての応用力の理解と実技を身につける。						
評価方法と基準	1.実技試験（４０％） 2.筆記試験（６０％）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	舞台美術 の素材に関して学ぶ	舞台美術の素材について復習レポートを作成。
2	演習	舞台演出 に関して学ぶ	舞台演出について復習レポートを作成。
3	演習	学園祭制作全般を理解する	1年次の学園祭資料を準備しておく。
4	演習	舞台での安全に関して学ぶ	舞台での安全について復習レポートを作成。
5	演習	学園祭の舞台制作業務を学ぶ	学園祭内容の周知と打合せ参加及び資料の作成。
6	演習	禁止行為解除 に関して学ぶ	禁止行為解除について復習レポートを作成。
7	演習	禁止行為解除申請資料の作成	禁止行為解除について復習レポートを作成。
8	演習	舞台美術に関しての応用知識を学ぶ	舞台美術について復習レポートを作成。
9	演習	舞台での足場 に関しての知識を学ぶ	舞台で使用される足場について復習レポートを作成。
10	演習	舞台監督に関しての応用知識 1	舞台監督について復習レポートを作成。
11	演習	舞台監督に関しての応用知識 2	舞台監督について復習レポートを作成。
12	演習	フルハーネス安全帯 に関しての知識を学ぶ	フルハーネス安全帯について復習レポートを作成。
13	演習	明日への扉の舞台監督スタッフとして稽古立会いから仕込み、リハーサル進行を行う。	舞台監督について復習レポートを作成。
14	演習	明日への扉の舞台監督スタッフとして積込、搬入搬出、仕込み、本番進行、撤収作業の進行を行う。	舞台監督について復習レポートを作成。
15	試験	復習試験	前期のまとめをレポート作成する。
準備学習　時間外学習		準備学習として各授業のテーマを調べ、時間外学習として授業週内に必ず復習をする。	

【使用教科書・教材・参考書】

学内に有る全ての機材の使用

科目名	コンサートテクニック3 （イベントスタッフワーク3）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	大島直子
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4		
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作＆ステージデザイナー、コンサート企画制作コース						
教員の略歴	イベントやコンサートの制作・進行、事務局、発表会、企業物などオールジャンルの仕事をしています。実務歴17年。						
授業の学習内容	2年生は卒業制作であり、「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」のイベントにおける制作業務を学び、報告書の作成を学ぶ。１年間の集大成のイベントを各学科・コースや合同日（葛西校）を連携しながら、進行及び制作業務を行う。						
到達目標	各学科・コースの枠を超えて、 イベントを新規で作り上げていく為のコミュニケーション能力を身につけることが出来る。 イベント本番の役割をシミュレーションし、事前準備の大切さや見やすい資料作成の基本を習得することが出来る。						
評価方法と基準	実技試験（イベントでの制作業務と作成された報告書を評価する。） 50% 資料作成のレポート提出を評価　50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	演習	「学園祭」「明日への扉」の概要を知り、舞台・制作・運営のチーム分け、演目担当分けを行う。各担当ごとに連絡先交換と各グループで挨拶をする。	今後１つのチームとして作業するため、授業以外でもコミュニケーションをとる意識を持つ。
2	演習	「学園祭の演目を理解する。「学園祭の昨年の資料確認する。	データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。
3	演習	舞台監督と制作の役割・内容を学ぶ。打合せ内容の共有をする。	授業内容について復習しレポートを作成。
4	演習	各演目担当チームごとに、担当教務に挨拶にいく。打合せ内容の共有をする。	イベント資料を管理し、チームで共有する環境を整えておく。
5	演習	各演目の現状確認（報告会）、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	※舞台・運営と合同ミーティング 情報共有をする。
6	演習	各演目の現状確認（報告会）、必要資料を作成する。制作チームごとにミーティングを行い、シーバーの使い方を学ぶ。	※舞台・運営と合同ミーティング 情報共有をする。
7	演習	「学園祭」の反省会、資料まとめを行う。 「明日への扉」映像を見る。	イベント資料を管理し、次年度のために整理しておく。
8	演習	「明日への扉」結団式にて主旨、目的を理解する。	結団式内容をレポートにまとめる
9	演習	「明日への扉」の舞台監督と制作の役割・内容説明と 担当割り、スケジュール確認	資料作成。
10	演習	「明日への扉」現状確認（報告会）、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。稽古場のバミリを行う。	資料作成。
11	演習	「明日への扉」台本読み、ト書きを学ぶ。外部リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。	資料作成。
12	演習	「明日への扉」の制作スタッフとして稽古に立会い、内容変更等情報共有する。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかり行なう。
13	演習	「明日への扉」の舞台監督、制作スタッフとして本番を行う。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかり行なう。
14	演習	「明日への扉」の終了報告書作成する。各演目・担当ごとに反省会・次回にむけての改善点を共有する。２年生から１年生への	終了報告書作成のための資料をま
15	講義 試験	復習試験を実施。	引き継ぎ事項をまとめておく。
準備学習　時間外学習		打合せや授業内容についての資料やレポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年の学園祭資料、明日への扉2018公演DVD、資料

科目名	コンサートテクニック4 （PAワークショップ4）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	東徹郎 松本義正
学科・コース	音楽テクノロジー科 PAエンジニアコース	授業形態	演習	総時間（単位）	120 8		
教員の略歴	東：エムテック所属のPAエンジニアとして、数多くのコンサートやイベント等を手掛ける。実務歴34年。 松本：フリーランスのPAエンジニアとして、数多くのコンサートやイベント等をてがける。実務歴30年。						
授業の学習内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 進級制作展、卒業制作展を成功に導くためのプランニングやオペレーションを学ぶ。						
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に同セクション内の人間関係をも構築する。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者などとの良好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	演習	仕込練習/LS9の操作方法を修得する。	LS9の操作方法について復習レポートを作成。
2	演習	仕込練習/X32の操作方法を修得する。	X32の操作方法について復習レポートを作成。
3	演習	仕込練習/QL5の操作方法を修得する。	QL5の操作方法について復習レポートを作成。
4	演習	仕込練習/CL5の操作方法を修得する。	CL5の操作方法について復習レポートを作成。
5	演習	仕込練習/SD8の操作方法を修得する。	SD8の操作方法について復習レポートを作成。
6	演習	外部ホール実習④外部ホールでのアコギ弾き語りライブシミュレーショ	外部ホールでのアコギ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
7	演習	外部ホール実習④外部ホールでのピアノ弾き語りライブシミュレーショ	外部ホールでのピアノ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
8	演習	ホール実習③外部ホールでのバンドライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのバンドライブについて復習レポートを作成。
9	演習	We are TSM渋谷のセクション決めを行ない、打合せをする。	セクションごとの打合せ内容をまとめ資料を作成する。
10	演習	We are TSM渋谷打合せ、プランニングをする。	We are TSM渋谷プランの整理をする。
11	演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。（1）	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
12	演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。（2）	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
13	演習	We are TSM渋谷に参加し、プランニング、リハーサル立会い、資料作	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14	演習	We are TSM渋谷に参加し、積込、搬入搬出、仕込みから本番、バラシ	明日への扉スタッフとして参加し、本番、ばらしを行なう。
15	演習	We are反省会、アーカイブ作成	筆記試験と実技試験
準備学習　時間外学習			

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック4 （照明ワークショップ4）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	佐々木 鈴木
学科・コース	音楽テクノロジー科・照明スタッフ、照明ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ	授業形態	演習	総時間（単位）	120 8		
教員の略歴	佐々木：大手照明会社に11年間勤務し、他方面の照明オペレートを経験。現在フリーランスの照明家として活動。実務歴26年。 鈴木：H6~H21（株)綜合舞台 勤務 / H21~フリーランスとしてコンサート現場を中心に照明業務全般を担当。実務歴25年。						
授業の学習内容	舞台照明の仕事をするにあたり基礎を踏まえた内容の授業をメインとし現場で求められる人間性、技術力、行動力などの人材育成を目的とした実習としベーシック、アドバンスを活かした現場総合力を身につけるための授業。実習を繰り返すことで現場で求められる基礎知識と動きなどを覚え即戦力になる人材を育成する。						
到達目標	照明基礎のベーシック、アドバンスを活かしたより実践的な技術の習得と学年を超えた照明スタッフとしてのコミュニケーション力を学びより現場らしい業務内容の体験の中で社会人になる意識を持たせる。メンテナンスを通じて器材の仕組みや工具の使い方を学ぶ。仕込みバラシと明かり作り作業の反復練習で照明効果の理解を深める。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につけること	仕込み図を完成させ当日発表。
2	演習	照明においてのメンテナンス技術を身につける	工具について調べてレポートを作成。
3	演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につけること	仕込み図を完成させ当日発表する。
4	演習	内容考察や符割りプランニングなどの理解	内容考察や符割りプランニングについて復習レポートを作成。
5	演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につけること	仕込み図を完成させ当日発表する。
6	演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲しておく。
7	演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につけること	仕込み図を完成させ当日発表する。
8	演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲しておく。
9	演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につけること	仕込み図を完成させ当日発表する。
10	演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲しておく。
11	演習	卒業公演に向けての机上準備を学ぶ	卒業公演の各種資料をまとめておく。
12	演習	後期まとめとして質問や復習	教科書ノートなどのおさらいをしておく。
13	演習	卒業制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	演習	卒業制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	試験	実技試験と筆記試験を行う。	自身で答え合わせをし、分からなかった事について調べクリアにしておく。
準備学習　時間外学習		課題曲の選曲や仕込み図を作成し、授業内容の復習レポートを作成する。	

【使用教科書・教材・参考書】

ステージ舞台入門

科目名	コンサートテクニック4 （舞台制作ワークショップ4）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業 形態	講義	総時間 （単位）	90 6		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督を担当。実務歴25年。						
授業の学習内容	アイドルイベントやお笑いイベント等を通して舞台監督、舞台制作スタッフに必要な知識と技術を実践的に学ぶ。また、実習にて舞台機構を操作し習得する。 卒業進級制作展に向けての打合せや作業を行なう。						
到達目標	舞台公演に必要な知識・使用操作方技術を身につけ、公演の進行を自分自身で行えるようになる						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	演習	前期授業の振り返りと後期講義のオリエンテーションを行う。	PC操作・スタッフ赤本の復習
2	演習	卒業進級制作展開催役割分担を行い、組織体制作りを学ぶ。	授業内容の整理。
3	演習	地絨り・カーペットを敷くスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成
4	演習	幕を吊る・道具を飾るスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成
5	演習	コンサートホールを理解し、舞台セットを考察する。	授業内容の復習、資料のまとめをレポートとして作成。
6	演習	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
7	演習	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
8	演習	卒業進級制作展の制作スケジュールを管理し、演出内容に	打合せ、資料作成。
9	演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う。	打合せ、資料作成し、仕込み作業
10	演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
11	演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
12	演習	卒業進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
13	演習	卒業進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行	打合せ、ﾘﾊｰｻﾙ立会い、資料の作成。
14	演習	卒業進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行	撤収作業から現状復帰までを行なう。
15	演習	復習試験を実施する。	復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	

【使用教科書・教材・参考書】

スタッフ赤本

科目名	コンサートテクニック4 （楽器テクニシャンワークショップ4）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	水見博
		授業形態	演習	総時間（単位）	90 6		
学科・コース	音楽テクノロジー科楽器ﾘﾍﾟｱ&ﾃｸﾆｼｬﾝｺｰｽ						
教員の略歴	株式会社チームアクティブにて楽器テクニシャン、舞台監督として活動。実務歴26年。						
授業の学習内容	楽器テクニシャンとして基礎、機材メンテナンス、現場における所作まで実習を伴い学習する。 ドラムセットのセッティング、ギター、ベース、アンプなどの扱い方、電源の取り方、サウンドメイキングなどを学び、アーティストとの関わり方やマナーも身につけて即戦力を養う。						
到達目標	楽器テクニシャンとして　学内でのライブイベント等の現場を経験し、対応力、コミュニケーション、機材メンテナンスなどの技術を身につけることで、楽器テクニシャンとしての職業選択を持たせ、アーティストから必要とされる知識、技術を身につける。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	演習	オリエンテーション	スケジュールの調整と必要な道具、備品を揃える。
2	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（5）	メンテナンス機材の選定をする。
3	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（6）	メンテナンス機材の復旧を確認しておく。
4	演習	学内イベントに向けて考査、考察（3）	イベント実施内容資料を収集する。
5	演習	学内イベントに向けて考査、考察（4）	イベント実施内容資料を収集する。
6	演習	学内イベントに向けて考査、考察（5）	イベント実施内容資料を収集する。
7	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（7）	メンテナンス機材の選定をする。
8	演習	楽器、機材のメンテナンスとリストの作成を学ぶ（8）	メンテナンス機材の復旧を確認しておく。
9	演習	WE ARE TSM渋谷への考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察
10	演習	WE ARE TSM渋谷リハーサルの準備、考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察
11	演習	WE ARE TSM渋谷リハーサルの準備、考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察
12	演習	WE ARE TSM渋谷外部ホールリハーサルの準備、考察	昨年実施資料の復習、今年度資料の考察
13	演習	WE ARE TSM渋谷のスタッフとして現場実習を行う。	WE ARE TSM渋谷の打合せ、資料作成。
14	演習	WE ARE TSM渋谷のスタッフとして現場実習を行う。	WE ARE TSM渋谷終了報告書を作成する。
15	試験	復習試験	後期のまとめを作成する。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習と各種イベントの打合せ、資料作成をする。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック4 （舞台監督演習Advance 2）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北 英樹
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 2		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年。						
授業の学習内容	舞台監督、舞台制作者に必要となる知識と実際の現場で役立つ技術を学ぶ。						
到達目標	舞台制作の知識に関しての応用力の理解と実技を身につける。						
評価方法と基準	1、実技試験（４０％） 2、.筆記試験（６０％）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	演習	舞台制作に関しての応用を学ぶ	1年次～2年次前期の舞台制作授業の復習をする
2	演習	譜面に関して学ぶ	譜面 について復習レポートを作成する
3	演習	**舞台監督に関しての復習**	1年次～2年次前期の舞台監督授業の復習をする
4	演習	舞台での映像について学ぶ	舞台に於ける映像について調べる
5	演習	**舞台での安全に関しての復習**	**1年次～2年次前期の舞台安全授業の復習**
6	演習	**舞台監督の現場での現状について考察する**	**現場での舞台監督の仕事について調べてレポートを作成。**
7	演習	舞台演出に関しての復習	1年次～2年次前期の舞台演出授業の復習をする
8	演習	様々な舞台演出について検証する	様々な舞台演出について調べてレポートを作成。
9	演習	**舞台監督に関して学ぶ**	舞台監督 とは 何かを調べてレポートを作成。
10	演習	We are TSM渋谷の資料作成を行う（1）	打合せに参加し、イベント内容を把握しておく。
11	演習	We are TSM渋谷の資料作成を行う（2）	打合せを元に資料を修正していく。
12	演習	We areリハーサル会場仕込みと進行を行う	リハで変更のあった箇所の資料修正。
13	演習	We are TSM渋谷にスタッフとして参加する。	打合せ、ﾘﾊｰｻﾙ立会い、資料の作成。
14	演習	We are TSM渋谷にスタッフとして参加する。	撤収作業から現状復帰までを行なう。
15	**演習**	復習試験	後期のまとめをレポート作成する。
準備学習　時間外学習		準備学習として各授業のテーマを調べ、時間外学習として授業週内に必ず復習をする。	

【使用教科書・教材・参考書】

学内に有る全ての機材の使用

科目名	コンサートテクニック4 （イベントスタッフワーク4）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	大島直子
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4		
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作＆ステージデザイナー、コンサート企画制作コース						
教員の略歴	イベントやコンサートの制作・進行、事務局、発表会、企業物などオールジャンルの仕事をしています。実務歴17年。						
授業の学習内容	2年生は卒業制作であり、「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」のイベントにおける制作業務を学び、報告書の作成を学ぶ。１年間の集大成のイベントを各学科・コースや合同日（葛西校）を連携しながら、進行及び制作業務を行う。						
到達目標	各学科・コースの枠を超えて、 イベントを新規で作り上げていく為のコミュニケーション能力を身につけることが出来る。 イベント本番の役割をシミュレーションし、事前準備の大切さや見やすい資料作成の基本を習得することが出来る。						
評価方法と基準	実技試験（イベントでの制作業務と作成された報告書を評価する。） 50% 資料作成のレポート提出を評価　50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の概要説明、舞台・制作・運営のチーム分け、演目担当分け、各担当ごとに連絡先交換と各グループで挨拶を行う。	今後１つのチームとして作業するため、授業以外でもコミュニケーションをとる意識を持つ。
2	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の演目について理解する。	授業内容について復習しレポートを作成。
3	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の昨年の映像確認し、内容を把握する。	映像データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。
4	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の昨年の映像確認と舞台監督と制作の役割・内容を理解する。	映像データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。
5	演習	各演目担当チームごとに、担当教務に挨拶にいく。	イベント資料を管理し、チームで共有する環境を整えておく。
6	演習	各演目の現状確認（報告会）、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	申し送り事項について復習しレポ
7	演習	各演目の現状確認（報告会）、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	※舞台・運営と合同ミーティング 情報共有をする。
8	演習	各演目の現状確認（報告会）、必要資料を作成する 制作チームごとにミーティングとシーバーの使い方を学ぶ。※資料の締め切り確認	授業内容について復習しておく。
9	演習	各演目の現状確認（報告会）、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。
10	演習	各演目の現状確認（報告会）、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。
11	演習	各演目の現状確認（報告会）、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。
12	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の制作スタッフとしてイベントに取り組む。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかり行なう。
13	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の制作スタッフとしてイベントに取り組む。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかり行なう。
14	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の終了報告書作成。各演目・担当ごとに反省会・次回にむけての改善点を共有する。２年生から	終了報告書作成のための資料をま
15	演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の　今年の映像確認し、振り返りを行う。２年生から１年生への引き継ぎ資料の作成を行う。	引き継ぎ事項をまとめておく。
準備学習　時間外学習		打合せや授業内容についての資料やレポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

昨年のweare公演DVD/学内PC(4F)/昨年の資料（2年生）

科目名	機材メンテナンス1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	東徹郎
学科・コース	音楽テクノロジー科 PAエンジニアコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	コンサートやフェス、他様々なイベントのPAエンジニアとして活動し34年の経歴を持つ。						
授業の学習内容	基礎的な工具の使い方やハンダづけなどを習得し、日頃使用する機材のメンテナンス方法を学ぶことで、機材に対する知識と愛情を深めていく。						
到達目標	学んだ知識と技術を基に、日常使用する機材の保守メンテナンスを自ら行えるようにする。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	講義	工具の種類と用途を理解し、注意すべき点を把握する。	工具の種類と用途についての復習レポートを作成。
2	講義	半田付け①下処理を学ぶ。	半田付けの下処理について復習レポートを作成。
3	講義	半田付け②キャノンフォンとケーブルの半田付けを学ぶ。	キャノンフォンとケーブルの半田付けについて復習レポートを作成。
4	講義	半田付け③プラグとケーブルの半田付けを学ぶ。	プラグとケーブルの半田付けについて復習レポートを作成。
5	講義	半田付け④NL4の半田付けを学ぶ。	NL4の半田付けについて復習レポートを作成。
6	講義	マイクロフォンのメンテナンス方法を学ぶ。	マイクロフォンのメンテナンス方法について復習レポートを作成。
7	講義	マイクスタンドのメンテナンス方法を学ぶ。	マイクスタンドのメンテナンス方法について復習レポートを作成。
8	講義	パワーアンプのメンテナンス方法を学ぶ。	パワーアンプのメンテナンス方法について復習レポートを作成。
9	講義	ケーブル類のメンテナンスを学ぶ（1）	ケーブル類のメンテナンスについて復習レポートを作成。
10	講義	ケーブル類のメンテナンスを学ぶ（2）	ケーブル類のメンテナンスについて復習レポートを作成。
11	講義	デジタルミキサーのメンテナンスを学ぶ。	デジタルミキサーのメンテナンスについて復習レポートを作成。
12	講義	デジタルデータの整理方法を学ぶ。	デジタルデータの整理方法について復習レポートを作成。
13	講義	明日への扉で使用する音響機材のメンテナンスを事前に行なう。	メンテナンスした機材のリストを整理する。
14	講義	明日への扉で不具合の出た機材のメンテナンスをする。	メンテナンスした機材のリストを整理する。
15	**講義**	筆記試験と実技試験	前期のまとめをレポートとして作成する。
準備学習　時間外学習		授業内容についての復習レポートを作成し、学校のPA機材のメンテナンスを各自で行なう。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	機材メンテナンス2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	東徹郎
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
学科・コース	音楽テクノロジー科 PAエンジニアコース						
教員の略歴	コンサートやフェス、他様々なイベントのPAエンジニアとして活動し34年の経歴を持つ。						
授業の学習内容	基礎的な工具の使い方やハンダづけなどを習得し、日頃使用する機材のメンテナンス方法を学ぶことで、機材に対する知識と愛情を深めていく。						
到達目標	学んだ知識と技術を基に、日常使用する機材の保守メンテナンスを自ら行えるようにする。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	講義	スピーカーのメンテナンス方法を学ぶ（1）	学内にあるスピーカーの状態を調べておく。
2	講義	スピーカーのメンテナンス方法を学ぶ（2）	スピーカーの構造をあらためて復習する。
3	講義	スピーカーのメンテナンス方法を学ぶ（3）	学内機材のメンテナンスを進めておく。
4	講義	アナログミキサーのメンテナンスを学ぶ（1）	学内にあるアナログミキサーの状態を調べておく。
5	講義	アナログミキサーのメンテナンスを学ぶ（2）	授業内容の復習レポートを作成する。
6	講義	アナログミキサーのメンテナンスを学ぶ（3）	学内機材のメンテナンスを進めておく。
7	講義	ワイヤレスシステムのトラブル対策を学ぶ（1）	学内にあるワイヤレスシステムの状態を調べておく。
8	講義	ワイヤレスシステムのトラブル対策を学ぶ（2）	授業内容の復習レポートを作成する。
9	講義	ワイヤレスシステムのトラブル対策を学ぶ（3）	学内機材のメンテナンスを進めておく。
10	講義	We areで使用する機材のメンテナンスをする、（1）	学内にある機材の状態を調べる。
11	講義	We areで使用する機材のメンテナンスをする、（2）	メンテナンスした機材のリストを整理する。
12	講義	We areで使用する機材のメンテナンスをする、（3）	メンテナンスを各自進めておく。
13	講義	We areで不具合の出た機材のメンテナンスをする。	イベント時に問題が起きた機材の情報をまとめておく。
14	講義	We areで不具合の出た機材のメンテナンスをする。	イベント時に問題が起きた機材の情報をまとめておく。
15	**講義**	筆記試験と実技試験	前期のまとめをレポートとして作成する。
準備学習　時間外学習		授業内容についての復習レポートを作成し、学校のPA機材のメンテナンスを各自で行なう。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	舞台機構調整士Ⅱ(1)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	小瀬高夫
学科・コース	音楽テクノロジー・PAエンジニアコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	一級舞台機構調整技能士。株式会社ヴァーゴ設立。2010年より(株)サンフォニックス入社。実務歴41年。						
授業の学習内容	舞台機構調整技能検定3級試験対策授業。試験の合格を目指す。問題集を利用した筆記試験対策と作業試験対策として反復練習を繰り返し行う。						
到達目標	7月に実施の3級舞台機構調整技能士（厚生労働省）の取得。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	講義	講師紹介、授業の進め方、教科書の確認、3級舞台機構調整技能士について学習する。	シラバス、教科書、確認しておく。
2	講義	2018年度筆記試験の解説を行い、過去問題に取組む。	2018年度の筆記試験問題を自習する。
3	講義	2017年度過去問題に取組み、検証する。作業試験についての流れを理解する。	2017年度の筆記試験問題を自習する。
4	講義	2016年度過去問題に取組み、検証する。作業試験の内容について把握する。	2016年度の筆記試験問題を自習する。
5	講義	2015年度過去問題に取組み、検証する。作業試験の練習をする。	2015年度の筆記試験問題を自習する。作業試験の練習をする。
6	講義	2014年度過去問題に取組み、検証する。作業試験の練習をする。	2014年度の筆記試験問題を自習する。作業試験の練習をする。
7	講義	2013年度過去問題に取組み、検証する。作業試験の練習をする。	2013年度の筆記試験問題を自習する。作業試験の練習をする。
8	講義	2012年度過去問題に取組み、検証する。作業試験が制限時間内に出来るよう練習する。	2012年度の筆記試験問題を自習する。作業試験の練習をする。
9	講義	作業試験仕上げ。一人ひとりの問題点を洗い出し修正する。	作業試験の練習を自習する。
10	講義	作業試験仕上げ。一人ひとりの問題点を洗い出し修正する。	作業試験の練習を自習する。
11	講義	作業試験の最終調整を行い、合格を目指す。	作業試験の練習を自習する。
12	講義	試験の振り返りを行い、問題点改善に取り組む。	
13	講義	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、仕込み、バラシ、プラン、オペレート等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	講義	「明日への扉」音響スタッフとして参加し、仕込み、バラシ、プラン等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	講義	筆記試験	試験を終えての感想をまとめる。
準備学習　時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級

科目名	舞台機構調整士Ⅱ(2)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	小瀬高夫
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
学科・コース	音楽テクノロジー・PAエンジニアコース						
教員の略歴	一級舞台機構調整技能士。株式会社ヴァーゴ設立。2010年より(株)サンフォニックス入社。実務歴41年。						
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、PAシステム組み上げおよび調整を学ぶ。						
到達目標	PAシステムを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	講義	マイク種類、ダイナミック、コンデンサーマイクについて学ぶ。	マイク種類、ダイナミック、コンデンサーマイクについて復習レポートを作成。
2	講義	ワイヤレスマイク、指向性について学ぶ。	ワイヤレスマイク、指向性について復習レポートを作成。
3	講義	スピーカー、エンクロージャーについて学ぶ。	スピーカー、エンクロージャーについて復習レポートを作成。
4	講義	スピーカーシステム、ヘッドフォンについて学ぶ。	スピーカーシステム、ヘッドフォンについて復習レポートを作成。
5	講義	プロセッサー、クロスオーバー、パワーアンプについて学ぶ。	プロセッサー、クロスオーバー、パワーアンプについて復習レポートを作成。
6	講義	アナログとデジタル、ミキシングコンソールについて学ぶ。	アナログとデジタル、ミキシングコンソールについて復習レポートを作成。
7	講義	インプットモジュール、HAの性能について学ぶ。	インプットモジュール、HAの性能について復習レポートを作成。
8	講義	イコライザー、AUXについて学ぶ。	イコライザー、AUXについて復習レポートを作成。
9	講義	マスターセクションについて学ぶ。	マスターセクションについて復習レポートを作成。
10	講義	エフェクターの種類、周波数系エフェクター、GEQ,PEQ　について学ぶ。	エフェクターの種類、周波数系エフェクター、GEQ,PEQ　について復習レポートを作成。
11	講義	ダイナミクス系エフェクターについて学ぶ。	ダイナミクス系エフェクターについて復習レポートを作成。
12	講義	空間系エフェクターについて学ぶ。	空間系エフェクターについて復習レポートを作成。
13	講義	卒業制作展に音響スタッフとして参加し仕込み、バラシ、プラン、オペレート等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	講義	卒業制作展に音響スタッフとして参加し、仕込み、バラシ、プラン、オペレート等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	講義	期末試験（筆記、実技）	後期の復習、期末試験の準備
準備学習　時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級

科目名	音響学2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	小瀬高夫
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
学科・コース	音楽テクノロジー・PAエンジニアコース						

教員の略歴	一級舞台機構調整技能士。株式会社ヴァーゴ設立。2010年より(株)サンフォニックス入社。実務歴41年。
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、PAシステム組み上げおよび調整を学ぶ。
到達目標	PAシステムを組み上げられるようになる。音波の性質を理解して調整ができるようになる。
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	講義	マイク種類、ダイナミック、コンデンサーマイクについて学ぶ。	マイク種類、ダイナミック、コンデンサーマイクについて復習レポートを作成。
2	講義	ワイヤレスマイク、指向性について学ぶ。	ワイヤレスマイク、指向性について復習レポートを作成。
3	講義	スピーカー、エンクロージャーについて学ぶ。	スピーカー、エンクロージャーについて復習レポートを作成。
4	講義	スピーカーシステム、ヘッドフォンについて学ぶ。	スピーカーシステム、ヘッドフォンについて復習レポートを作成。
5	講義	プロセッサー、クロスオーバー、パワーアンプについて学ぶ。	プロセッサー、クロスオーバー、パワーアンプについて復習レポートを作成。
6	講義	アナログとデジタル、ミキシングコンソールについて学ぶ。	アナログとデジタル、ミキシングコンソールについて復習レポートを作成。
7	講義	インプットモジュール、HAの性能について学ぶ。	インプットモジュール、HAの性能について復習レポートを作成。
8	講義	イコライザー、AUXについて学ぶ。	イコライザー、AUXについて復習レポートを作成。
9	講義	マスターセクションについて学ぶ。	マスターセクションについて復習レポートを作成。
10	講義	エフェクターの種類、周波数系エフェクター、GEQ,PEQ　について学ぶ。	エフェクターの種類、周波数系エフェクター、GEQ,PEQについて復習レポートを作成。
11	講義	ダイナミクス系エフェクターについて学ぶ。	ダイナミクス系エフェクターについて復習レポートを作成。
12	講義	空間系エフェクターについて学ぶ。	空間系エフェクターについて復習レポートを作成。
13	講義	卒業制作展に音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プラン、オペレート等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14	講義	卒業制作展に音響スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる仕込み、バラシ、プラン、オペレート等を理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
15	試験	期末試験（筆記、実技）	後期の復習、期末試験の準備
準備学習　時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級

科目名	音響学1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	小瀬高夫
学科・コース	音楽テクノロジー・PAエンジニアコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	一級舞台機構調整技能士。株式会社ヴァーゴ設立。2010年より(株)サンフォニックス入社。実務歴41年。						
授業の学習内容	前期は舞台機構調整士の授業と連動して舞台機構調整技能検定3級試験対策を授業として行い、試験の合格を目指す。問題集を利用した筆記試験対策と作業試験対策として反復練習を繰り返し行う。						
到達目標	7月に実施の3級舞台機構調整技能士（厚生労働省）の取得。						
評価方法と基準	小テスト 20% 学習ジャーナル 10% 筆記試験 35% 実技試験 35%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	講義	授業の進め方、教科書の説明、3級舞台機構調整技能士について学ぶ。	シラバス、教科書、確認しておく。
2	講義	筆記試験解説　作業試験のｹｰﾌﾞﾙ巻き、ﾏｲｸｽﾀﾝﾄﾞ、PA卓等の仕込みを理解する。	ケーブル巻き、マイクスタンド、PA卓等の仕込みについて復習レポートを作成。
3	講義	筆記試験解説　作業試験のマイキング、PA卓の扱い方を理解する。	マイキング、PA卓の扱い方について復習レポートを作成。
4	講義	筆記試験解説　作業試験のポン出し、フェーダー操作を理解する。	ポン出し、フェーダー操作について復習レポートを作成。
5	講義	筆記試験解説　作業試験の台本読み、試験官とのやりとりについて学ぶ。	台本読み、試験官とのやりとりについて復習レポートを作成。
6	講義	筆記試験解説　作業試験の一連の流れを通して行う。	一連の流れ作業について復習レポートを作成。
7	講義	筆記試験解説　作業試験を制限時間内に出来るよう取り組む。	制限時間内に作業をするについて復習レポートを作成。
8	講義	筆記試験解説　作業試験について生徒別に問題点を修正する。	自分の問題点を補うための練習をする。
9	講義	筆記試験解説　作業試験練習（反復練習①）	自主練習をする。
10	講義	筆記試験解説　作業試験練習（反復練習②）	自主練習をする。
11	講義	筆記試験解説　作業試験練習（反復練習③1）	自主練習をする。
12	講義	試験を終えての反省点、問題点の考査	試験を終えての反省点をレポートにまとめておく。
13	講義	明日への扉のPAスタッフとして舞台音響の経験を積む（1）	稽古立会い、資料の作成。
14	講義	明日への扉のPAスタッフとして舞台音響の経験を積む（2）	資料の整理、終了報告まとめ。
15	講義	筆記試験解説　作業試験練習	先週の復習、本日の予習
準備学習　時間外学習		現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

PA入門改訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級

科目名	生楽器知識1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	隼田義博
学科・コース	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	マイアミ大学音楽学部卒業。ジャズ・ミュージカルの作編曲、マルチメディア音源を音楽ライブラリ各社よりリリース、Discovery、National Geographic、FOX、FOX Sports、BBC、MTV、SONY Picturesなどをはじめとする国内外の各TV局の番組、プロモ、また映画のトレーラー等で多数使用される。実務歴15年。						
授業の学習内容	一年を通して、リズムセクションそしてオーケストラ全ての管弦打楽器のプロの奏者を毎回順番にゲストに招き、楽器の実演と解説を聞き、質疑応答を通して楽器の特性や奏法の知識習得を目指します。サンプルライブラリの技術革新のおかげで生楽器を実際に使用する機会が少なくなった昨今、そうした知識を持つクリエイターやエンジニアは非常に有益です。この生楽器知識で得た情報は、作編曲・エンジニアリングをテーマとするどの授業であれ役立つものであり、また、自身のミュージシャンとしての学習過程において様々な場面で役立つ機会が幾度となく訪れると信じます。						
到達目標	リズムセクションと金管楽器の各楽器の形状、名前、音色をきちんと把握している。 リズムセクションと金管楽器の各楽器の音域、特性、奏法について説明することができる。 リズムセクションと金管楽器の各楽器のアンサンブルにおける役割を説明できる。 楽器の特性をしったうえで正しく作編曲およびレコーディング・ミキシングを実践できる。						
評価方法と基準	1）定期テスト（筆記60%　実技40%）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	授業の心構えとガイダンス。各種楽器の分類とアンサンブルの形態について正しく説明することができる。	授業の心構えとガイダンス。各種楽器の分類とアンサンブルの形態について正しく説明することができる。振り返りと自習
2	講義	リズムセクション1：ドラムセットの各種パーツの役割、音域、音色、奏法について説明できる。	リズムセクション1：ドラムセットの各種パーツの役割、音域、音色、奏法について説明できる。振り返りと自習
3	講義	リズムセクション2：エレキベース、アコースティックベースの役割、音域、音色、奏法、各種パーツの役割について説明できる。	リズムセクション2：エレキベース、アコースティックベースの役割、音域、音色、奏法、各種パーツの役割について説明できる。振り返りと自習
4	講義	リズムセクション3：エレキギター、アコースティックギターの役割、音域、音色、奏法、各種パーツの役割について説明できる。	リズムセクション3：エレキギター、アコースティックギターの役割、音域、音色、奏法、各種パーツの役割について説明できる。振り返りと自習
5	講義	リズムセクション4：ピアノ、キーボードの役割、音域、音色、奏法、役割について説明できる。	リズムセクション4：ピアノ、キーボードの役割、音域、音色、奏法、役割について説明できる。振り返りと自習
6	講義	リズムセクション5：実際にグランドピアノ、アップライトピアノを見学に行き、その仕組みを学ぶ。（タカギクラヴィア訪問）	リズムセクション5：実際にグランドピアノ、アップライトピアノを見学に行き、その仕組みを学ぶ。（タカギクラヴィア訪問）振り返りと自習
7	講義	リズムセクション6：主にジャズポピュラーの現場におけるパーカッションの種類や役割について説明できる。	リズムセクション6：主にジャズポピュラーの現場におけるパーカッションの種類や役割について説明できる。振り返りと自習
8	講義	シンガー：男性女性シンガーの音域や歌唱法、アンサンブルにおける役割などを学び、説明できる。	シンガー：男性女性シンガーの音域や歌唱法、アンサンブルにおける役割などを学び、説明できる。振り返りと自習
9	講義	金管楽器1：トランペットとフリューゲルホルンの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。	金管楽器1：トランペットとフリューゲルホルンの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。振り返りと自習
10	講義	金管楽器2：トロンボーンの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。	金管楽器2：トロンボーンの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。振り返りと自習
11	講義	金管楽器3：ホルンの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。	金管楽器3：ホルンの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。振り返りと自習
12	講義	金管楽器4：チューバの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。	金管楽器4：チューバの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。振り返りと自習
13	講義	前期を通して学習した各楽器に関するふりかえり、筆記試験の実施と解説。	前期の復習
14	講義	ミュージカルを想定したSEの制作、これまで学習した楽器を4つ以上使用	ミュージカルを想定したSEの制作、これまで学習した楽器を4つ以上使用しての創作活動
15	講義	ミュージカルを想定した30～60秒サイズのBGMの制作、これまで学習した楽器を4つ以上使用	ミュージカルを想定した30～60秒サイズのBGMの制作、これまで学習した楽器を4つ以上使用しての創作活動
準備学習　時間外学習		リスニング課題として、毎回学習した楽器に関する曲を提示します。	

【使用教科書・教材・参考書】

参考書として：「はじめてのオーケストラ・スコア」 野本由紀夫（音楽之友社）

科目名	生楽器知識2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	隼田義博
		授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
学科・コース	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース						

教員の略歴	マイアミ大学音楽学部卒業。ジャズ・ミュージカルの作編曲、マルチメディア音源を音楽ライブラリ各社よりリリース、Discovery、National Geographic、FOX、FOX Sports、BBC、MTV、SONY Picturesなどをはじめとする国内外の各TV局の番組、プロモ、また映画のトレーラー等で多数使用される。実務歴15年。
授業の学習内容	一年を通して、リズムセクションそしてオーケストラ全ての管弦打楽器のプロの奏者を毎回順番にゲストに招き、楽器の実演と解説を聞き、質疑応答を通して楽器の特性や奏法の知識習得を目指します。サンプルライブラリの技術革新のおかげで生楽器を実際に使用する機会が少なくなった昨今、そうした知識を持つクリエイターやエンジニアは非常に有益です。この生楽器知識で得た情報は、作編曲・エンジニアリングをテーマとするどの授業であれ役立つものであり、また、自身のミュージシャンとしての学習過程において様々な場面で役立つ機会が幾度となく訪れると信じます。
到達目標	木管楽器と弦楽器の各楽器の形状、名前、音色をきちんと把握している。 木管楽器と弦楽器の各楽器の音域、特性、奏法について説明することができる。 木管楽器と弦楽器の各楽器のアンサンブルにおける役割を説明できる。 楽器の特性をしったうえで正しく作編曲およびレコーディング・ミキシングを実践できる。
評価方法と基準	1）定期テスト（筆記60%　実技40%）

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	木管楽器1：サックスの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。	木管楽器1：サックスの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。振り返りと自習
2	講義	木管楽器2：フルートの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。	木管楽器2：フルートの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。振り返りと自習
3	講義	木管楽器3：オーボエの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。	木管楽器3：オーボエの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。振り返りと自習
4	講義	木管楽器4：クラリネットの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。	木管楽器4：クラリネットの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。振り返りと自習
5	講義	木管楽器5：ファゴットの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。	木管楽器5：ファゴットの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。振り返りと自習
6	講義	弦楽器1：バイオリンとビオラの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。	弦楽器1：バイオリンとビオラの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。振り返りと自習
7	講義	弦楽器2：チェロの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。	弦楽器2：チェロの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。振り返りと自習
8	講義	弦楽器3：コントラバスの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。	弦楽器3：コントラバスの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。振り返りと自習
9	講義	弦楽器4：ハープの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。	弦楽器4：ハープの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。振り返りと自習
10	講義	その他の楽器1：アコーディオンの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。	その他の楽器1：アコーディオンの歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。振り返りと自習
11	講義	その他の楽器2：三味線の歴史、音域、音色、奏法などの特性と各種パーツについて説明できる。	次週のプレゼンテーションに向けた各自まとめ作業
12	講義	後期に学習した各楽器をふりかえり、学習した内容を各自がまとめプレゼンテーションをおこなう。	試験に向けた振り返りと自習
13	講義	1年間を通して学習した各楽器に関する筆記試験の実施と解説。	後期の復習
14	講義	卒業進級制作展を想定したSEの制作、これまで学習した楽器の要素を6つ以上使用すること	卒業進級制作展を想定したSEの制作に伴う創作活動
15	講義	卒業進級制作展を想定した30～60秒サイズのBGMの制作、これまで学習した楽器の要素を6つ以上使用すること	卒業進級制作展を想定した30～60秒サイズのBGMの制作に伴う創作活動
準備学習　時間外学習		リスニング課題として、毎回学習した楽器に関する曲を提示します。	

【使用教科書・教材・参考書】

参考書として：「はじめてのオーケストラ・スコア」 野本由紀夫（音楽之友社）

科目名	Pro tools Basic 1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	大村 嘉伸
学科・コース	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	レコーディングエンジニアとして数々の音楽制作に携わる。実務歴24年。						
授業の学習内容	業界録音標準のアプリProToolsの機能と使用方法をマスターする						
到達目標	録音実習過程と並行してProToolsの機能とオペレーション方法を理解し、留まる事なくオペレート出来る。						
評価方法と基準	1）定期テスト（実技）60%　2）定期テスト（筆記）40% ProToolsセッションの作成からミックスまでの過程を適切なオペレーションで出来る。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	Macの適正使用、ファイル管理を出来るようにする	Macの適正使用、ファイル管理を出来るようにする 振り返りと自習
2	講義	ProToolsの起動、セッションの完結保存が出来るようにする	個人でセッションを作成、保存
3	講義	ウインドウ構成、トランスポートを理解する	ウインドウ構成、トランスポートを理解する 振り返りと自習
4	講義	各種モードを理解する	各種モードを理解する 振り返りと自習
5	講義	各種ツールを理解する	各種ツールを理解する 振り返りと自習
6	講義	トラックの構成、ミックス機能を理解する	トラックの構成、ミックス機能を理解する 振り返りと自習
7	講義	ミックスを実際に行い、機能を理解する	課題曲を使用して個人でミックス作業を行う
8	講義	録音用トラックセッティングをできるようにする	録音用トラックセッティングをできるようにする 振り返りと自習
9	講義	セッションに音を取り込めるようにする	セッションに音を取り込めるようにする 振り返りと自習
10	講義	MIDI機能の初段階を理解する	MIDI機能の初段階を理解する 振り返りと自習
11	講義	簡単な録音、編集をできるようにする	個人で録音セッションのセッティングを行う
12	講義	Voトラックのコンピング機能を理解する	Voトラックのコンピング機能を理解する 振り返りと自習
13	講義	Voトラックのコンピング編集実技	これまでの授業を通じて学んだポイントをポートフォリオとしてまとめる
14	講義	ミュージカルのライブレコーディングのセッション作成について	ミュージカルのライブレコーディングのセッション作成について 振り返りと自習
15	講義	ミュージカルのライブレコーディングセッションの編集と管理	ミュージカルのライブレコーディングセッションの編集と管理について 振り返りと自習
準備学習　時間外学習		授業内容をより理解するための復習と各種作業の自習を行う。	

【使用教科書・教材・参考書】

専用プリント

科目名	Pro tools Basic 2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	大村 嘉伸
学科・コース	音楽テクノロジー科・PAエンジニアコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	レコーディングエンジニアとして数々の音楽制作に携わる。実務歴24年。						
授業の学習内容	業界録音標準のアプリProToolsの機能と使用方法をマスターする						
到達目標	録音実習過程と並行してProToolsの機能とオペレーション方法を理解し、留まる事なくオペレート出来る。						
評価方法と基準	1）定期テスト（実技）60%　2）定期テスト（筆記）40% ProToolsセッションの作成からミックスまでの過程を適切なオペレーションで出来る。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	ミックス作業時のトラックセッティングを理解する	ミックス作業時のトラックセッティングを理解する 振り返りと自習
2	講義	ミックス作業時のプラグインを理解する	ミックス作業時のプラグインを理解する 振り返りと自習
3	講義	ミックスを実際に行い、仕上げるスキルをアップする	個人で０からミックス作業を行う
4	講義	セッションインポートでの効率的な作業を理解する	セッションインポートでの効率的な作業を理解する 振り返りと自習
5	講義	新規セッションからダビングまでのセッティングを理解する	新規セッションからダビングまでのセッティングを理解する 振り返りと自習
6	講義	新規セッションからマルチダビングまでのセッティングを理	新規セッションからマルチダビングまでのセッティングを理解する 振り返りと自習
7	講義	テンポの検出とトラックセッティングを理解する	テンポの検出とトラックセッティングを理解する 振り返りと自習
8	講義	新規セッションからテンポ検出、ダビングまでのセッティングを出来るようにする	新規セッションからテンポ検出、ダビングまでのセッティングを出来るようにする　振り返りと自習
9	講義	2Mixの編集とデータ書き出しを理解する	2Mixの編集とデータ書き出しを理解する 振り返りと自習
10	講義	マルチトラックの編集と書き出しを出来るようにする	マルチトラックの編集と書き出しを出来るようにする 振り返りと自習
11	講義	マルチトラックでの補正編集を出来るようにする	マルチトラックでの補正編集を出来るようにする 振り返りと自習
12	講義	Midiトラックの編集を理解する	Midiトラックの編集を理解する 振り返りと自習
13	試験	新規セッションからダビングまでのセッティング実技	これまでの授業を通じて学んだポイントをポートフォリオとしてまとめる
14	講義	卒業制作のライブレコーディングに向けたシステム構築及びProToolsセッション作成について	卒業制作のライブレコーディングに向けたシステム構築及びProToolsセッション作成について　振り返りと自習
15	講義	卒業制作のライブレコーディングセッションの編集と管理について	卒業制作のライブレコーディングセッションの編集と管理について振り返りと自習
準備学習　時間外学習		授業内容をより理解するための復習と各種作業の自習を行う。	

【使用教科書・教材・参考書】

専用プリント

科目名	Vecter Works Advance1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督を担当。実務歴25年。						
授業の学習内容	ライブハウスから劇場・アリーナまでの各様々なサイズの公演図面を作成する。						
到達目標	実際の公演で使用される舞台図面を作成するスキルを身につける。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	講義	基本操作復習・確認	基本的なPC操作の復習レポートを作成。
2	講義	図面を作成①：ライブハウスサイズ	ライブハウスサイズ図面作成の復習レポートを作成。
3	講義	図面を作成②：ライブハウスサイズ	ライブハウスサイズ図面作成の復習レポートを作成。
4	講義	図面を作成③：ホールサイズ	ホールサイズ図面作成の復習レポートを作成。
5	講義	図面を作成④：学園祭セット図作成	学園祭図面作成の復習レポートを作成。
6	講義	図面を作成⑤：学園祭まとめ	学園祭資料を整理
7	講義	図面を作成⑥：ホールサイズ	ホールサイズ図面作成の復習レポートを作成。
8	講義	図面を作成⑦：ホールサイズ	ホールサイズ図面作成の復習レポートを作成。
9	講義	図面を作成⑧：舞台セット図基本	舞台セット図作成の復習レポートを作成。
10	講義	図面を作成⑨：舞台セット図応用	舞台セット図作成の復習レポートを作成。
11	講義	図面を作成⑩：舞台平面図作成	舞台平面図作成の復習レポートを作成。
12	講義	図面を作成⑪：舞台断面図制作	舞台平面図作成の復習レポートを作成。
13	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理
14	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の図面を作成する。	明日への扉の図面作成と資料の整理
15	講義	前期まとめ　復習	前期まとめの復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

ベクターワークス トレーニングブックより抜粋・実公演図面

科目名	Vecter Works Advance2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科　舞台監督・制作コース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督を担当。実務歴25年。						
授業の学習内容	ライブハウスから劇場・アリーナまでの様々なサイズの公演図面を作成する。						
到達目標	実際の公演で使用される舞台図面を作成するスキルを身につける。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	講義	前期内容を確認	基本的なベクターワークスの復習レポートを作成。
2	講義	シンボル登録の理解	シンボル登録について復習レポートを作成。
3	講義	シンボル登録の展開操作	シンボル登録について復習レポートを作成。
4	講義	立体図形を創る	立体図形について復習レポートを作成。
5	講義	立面図を作る①	立面図について復習レポートを作成。
6	講義	立面図を作る②	立面図について復習レポートを作成。
7	講義	外部リハーサル会場の図面作成①	リハーサル会場図面の復習レポートを作成。
8	講義	外部リハーサル会場の図面作成②	リハーサル会場図面の復習レポートを作成。
9	講義	We AreTSM演目別図面展開①	舞台セット図の復習レポートを作成。
10	講義	We AreTSM演目別図面展開②	舞台セット図の復習レポートを作成。
11	講義	We AreTSM演目別図面展開③	舞台セット図の復習レポートを作成。
12	講義	We AreTSM演目別図面展開④	舞台セット図の復習レポートを作成。
13	講義	卒業進級制作展の舞台進行チームとして参加。コンサートイベント舞台の図面を作成する。	卒業進級制作展の図面作成と資料の整理
14	講義	卒業進級制作展の舞台進行チームとして参加。コンサートイベント舞台の図面を作成する。	卒業進級制作展の図面作成と資料の整理
15	講義	年度末課題試験　復習	後期まとめの復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、卒業進級制作展の準備を行う。	

【使用教科書・教材・参考書】

ベクターワークス　トレーニングブックより抜粋・実公演図面

科目名	舞台史1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	吾郷順治
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作、照明スタッフコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	舞台美術デザイナー＆空間デザイナー（コンサート、ミュージカル、ストレートプレイ、イベント等々）として活動。実務歴38年。						
授業の学習内容	紀元前からの舞台の歴史や、劇場、舞台美術について学びます。舞台スタッフとして最低限必要な教養を身につけ、また舞台美術の知識を通してイマジネイションを広げていきます。						
到達目標	舞台の歴史を知ることで、これからの新しいイベント、舞台を創造しゆく知識を習得することができ、創造力豊かな舞台スタッフとしての人材を育成する。						
評価方法と基準	レポート課題 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	舞台の歴史について概要説明し、流れを理解する。	
2	講義	古代ギリシア演劇～中世～	古代ギリシア演劇についてグループ研究し、レポートにまとめる
3	講義	古代ギリシア演劇を映像で鑑賞する	
4	講義	シェイクスピアの作品に触れる	シェイクスピア作品についてグループ研究し、レポートにまとめる
5	講義	シェイクスピア演劇を映像で鑑賞する	
6	講義	紀元前からの劇場について学ぶ	紀元前からの劇場について調べ、レポートにまとめる
7	講義	ローマ時代の劇場について学ぶ	ローマ時代の劇場について調べ、レポートにまとめる
8	講義	フランス演劇、スペイン演劇、ロシア演劇について学ぶ	フランス演劇、スペイン演劇、ロシア演劇について調べ、レポートにまとめる
9	講義	フランスのシュールレアリズム演劇、ミュージカル演劇、ピンターについて学ぶ	フランスのシュールレアリズム演劇、ミュージカル演劇、ピンターについて調べ、レポートにまとめる
10	講義	日本の古典演劇、能、狂言、歌舞伎、落語について学ぶ	能、狂言、歌舞伎、落語について調べ、レポートにまとめる
11	講義	日本舞台史～近世①～ （新派・新劇の登場）について学ぶ	新派・新劇について調べ、レポートにまとめる
12	講義	日本舞台史～近世②～ （宝塚歌劇団、松竹少女歌劇団）について学ぶ	宝塚歌劇団、松竹少女歌劇団について調べ、レポートにまとめる
13	講義	日本舞台史～現代～ （小劇場演劇、アングラ演劇）について学ぶ	小劇場演劇、アングラ演劇について調べ、レポートにまとめる
14	講義	劇団四季、2.5次元ミュージカルなど最近の舞台公演について学ぶ	劇団四季、2.5次元ミュージカルについて調べ、レポートにまとめる
15	講義	復習試験	総まとめをレポートにまとめる
準備学習　時間外学習		授業内容の復習をレポートにまとめる。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	舞台史2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	吾郷順治
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作、照明スタッフコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	舞台美術デザイナー＆空間デザイナー（コンサート、ミュージカル、ストレートプレイ、イベント等々）として活動。実務歴38年。						
授業の学習内容	舞台のルーツを考え、現在の舞台を知る。						
到達目標	舞台の歴史を知ることで、これからの新しいイベント、舞台を創造しゆく知識を習得することができ、創造力豊かな舞台スタッフとしての人材を育成する。						
評価方法と基準	レポート課題 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	古代エフェリスの舞台から歴史を学ぶ	古代エフェリスについて調べる
2	講義	現代とエフェリスとの共通点を学ぶ	ヨーロッパ舞台の歴史を調べる、グループワークで研究しレポートにまとめる。
3	講義	ヨーロッパからの舞台の躍進を学ぶ	ローマ時代の舞台について研究する
4	講義	ローマ時代のからの舞台のルーツを学ぶ	世界のイベントの数を調べる
5	講義	現在と過去のイベントの変遷を学ぶ	舞台とは何か、事前に研究する。
6	講義	生と死、舞台との関わりを学ぶ	前半講義のまとめレポートにまとめレポート課題として提出する。
7	講義	前半講義確認テスト　筆記	前半確認テスト　筆記
8	講義	日本の舞台の歴史を学ぶ	日本芸術について研究する。
9	講義	歌舞伎のルーツを学ぶ	ミュージカルについて研究する
10	講義	歴史からミュージカルを学ぶ	舞台と歴史の変遷について考察する
11	講義	舞台の歴史から変遷の流れを学ぶ	舞台美術と歴史について研究する
12	講義	ミュージカル「キャッツ」を学ぶ	美術と舞台についての関係を考察①
13	講義	デザイン画と舞台の可能性①	美術と舞台についての関係を考察①
14	講義	デザイン画と舞台の可能性②	舞台史の授業の振り返りを行う
15	講義	後期復習テスト　筆記	後期テスト　筆記
準備学習　時間外学習		授業内容の復習をレポートにまとめる。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	舞台スタッフ基礎講座1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	北　英樹
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年。						
授業の学習内容	舞台美術 、PA、照明、楽器テクニシャン、特殊効果等の舞台制作及び舞台監督を目指す学生にとって有益となる他セクションの仕事を学ぶ講義及び実技。						
到達目標	将来的に仕事での即戦力となるべく、舞台美術、舞台制作、PA、照明、楽器テクニシャン、特殊効果等の基本的知識を知り、作業内容を習得する。						
評価方法と基準	1.実技試験（ ５０ ％ ） ２ .筆記試験 （ ５０％ ）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	講義	舞台美術 （基礎舞台の設営） に関して	舞台美術とは何かを調べる。
2	講義	PAの基礎知識に関して	PAとは何かを調べる。
3	講義	舞台制作の応用知識に関して	1年時の舞台制作授業の復習。
4	講義	PAの機材に関して	PAの機材について調べる。
5	講義	PAのシステムに関して	PAのシステムとは何かを調べる。
6	講義	照明の基礎知識に関して	照明とは何かを調べる。
7	講義	照明の機材に関して	照明の機材について調べる。
8	講義	照明のシステムに関して	照明のシステムとは何かを調べる。
9	講義	ミュージカルの舞台演出について①	資料をまとめて整理する。
10	講義	ミュージカルの舞台演出について②	資料をまとめて整理する。
11	講義	特殊効果に関して	特殊効果 とは何かを調べる。
12	講義	楽器と楽器のセッティング に関して	楽器とは何かを調べる。
13	講義	舞台での足場に関して	舞台での足場 とは 何か調べる。
14	**試験**	前期復習テスト （ 筆記 及び 実技 ）	前期の全ての授業内容の復習
15	講義	舞台メイクに関して	舞台メイクについて復習レポート作成。
準備学習　時間外学習		準備学習 各授業のテーマを調べて下さい　時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい	

【使用教科書・教材・参考書】

学内に有る全ての機材の使用

科目名	舞台スタッフ基礎講座2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	北　英樹
		授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース						
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年。						
授業の学習内容	舞台美術 、PA、照明、楽器テクニシャン、特殊効果等の舞台制作及び舞台監督を目指す学生にとって有益となる他セクションの仕事を学ぶ講義及び実技。						
到達目標	将来的に仕事での即戦力となるべく、舞台美術、舞台制作、PA、照明、楽器テクニシャン、特殊効果等の基本的知識を知り、作業内容を習得する。						
評価方法と基準	1.実技試験（ ５０ ％ ） ２ .筆記試験 （ ５０％ ）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	講義	舞台スタッフの打合せスキルを学ぶ。	資料をまとめて整理する。
2	講義	舞台、照明、PAの各図面について学ぶ。	課題の図面を作成して提出する。
3	講義	舞台の様々なスタッフ（トランスポート、プロンプター等）について知る。	授業内容についての復習レポートを作成する。
4	講義	舞台の様々なスタッフ（レーザー、電飾等）について知る。	授業内容についての復習レポートを作成する。
5	講義	PAステージスタッフの仕事を学ぶ。	授業内容についての復習レポートを作成する。
6	講義	PAハウスエンジニアの仕事を学ぶ。	授業内容についての復習レポートを作成する。
7	講義	PA機材の名前を覚える。	授業内容についての復習レポートを作成する。
8	講義	照明の仕込み方法を学ぶ。	授業内容についての復習レポートを作成する。
9	講義	照明の一般調光オペレートを学ぶ。	授業内容についての復習レポートを作成する。
10	講義	照明のムービングについて学ぶ。	授業内容についての復習レポートを作成する。
11	講義	照明のムービングオペレートを学ぶ。	授業内容についての復習レポートを作成する。
12	講義	安全管理について学ぶ。	授業内容についての復習レポートを作成する。
13	講義	足場の組み方を学ぶ。	舞台での足場 とは 何か調べる。
14	試験	前期復習テスト （ 筆記 及び 実技 ）	前期の全ての授業内容の復習
15	講義	舞台スタッフの相関図を作成する。	
準備学習　時間外学習		準備学習 各授業のテーマを調べて下さい　時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	舞台制作プランニング1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科　舞台監督・制作コース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督を担当。実務歴25年。						
授業の学習内容	●イベントやコンサートにおける舞台監督の業務を把握し演目内容を進行していく能力を身につける ●資料作成などを元に、学内イベントを経験して実習を行っていく						
到達目標	●知識を元に作業を繰り返すことで、自分自身の舞台制作の知識、スキルを習得し、判断能力を上げる。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	講義	前期講義と舞台制作についての概要説明を行う。	自己紹介内容を事前に準備する。
2	講義	舞台知識①：舞台監督の作業について理解する。	スタッフ赤本を読んで舞台監督業務に関する復習レポートを作成。
3	講義	舞台知識②：公演内容資料を理解する。	スタッフ赤本を読んで公演内容資料に関する復習レポートを作成。
4	講義	舞台知識③：図面が理解できるようになる。	スタッフ赤本を読んで舞台図面に関する復習レポートを作成。
5	講義	学園祭準備を通して制作を学ぶ。	学園祭の打合せに参加し、資料を作成する。
6	講義	学園祭反省会と引き継ぎ作業を行う。	学園祭時に使用した資料をまとめる。
7	講義	舞台知識④：各スタッフとの共有作業ができるようになる。	舞台スタッフとの共有作業について復習レポートを作成。
8	講義	高所・仮設作業について理解する。	高所・仮設作業について復習レポートを作成。
9	講義	知識応用①：墨出しを学ぶ。	墨出しについて復習レポートを作成。
10	講義	知識応用②：タッパ決めについて学ぶ	タッパ決めについて復習レポートを作成。
11	講義	知識応用③：リハーサル進行について	リハーサル進行について復習レポートを作成。
12	講義	知識応用④：公演進行の方法について	公演進行の方法について復習レポートを作成。
13	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換	打合せ、稽古立会い、資料の作成。
14	講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換	撤収作業から現状復帰までを行なう。
15	講義	復習試験	前期まとめの復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポートを作成し、学園祭や明日への扉の打合せ、資料作成を行う。	

【使用教科書・教材・参考書】

スタッフ赤本

科目名	舞台制作プランニング2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・コース	音楽テクノロジー科　舞台監督・制作コース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督を担当。実務歴25年。						
授業の学習内容	公演内容を把握し、必要な資料作成を行う。Excel・PowerPointを使って資料作成を行う						
到達目標	公演開催において、計画的に進行するための資料を作成するスキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	後期講義と舞台制作についての概要説明を行う。	前期授業内容を復習しておく。
2	講義	台本を作成する①：マスター作成ができるようになる。	マスター作成について復習レポートを作成。
3	講義	台本を作成する②：進行内容が書けるようになる。	進行内容を書くことについて復習レポートを作成。
4	講義	台本を作成する③：ト書きについて理解する。	ト書きの理解について復習レポートを作成。
5	講義	オリジナル台本を創ってみる。	オリジナル台本作成の復習レポートを作成。
6	講義	台本を基本に資料を作成する。	台本について復習レポートを作成。
7	講義	台本を印刷製本する。	印刷した台本を読む。
8	講義	We AreTSMの演出内容について考察し、資料を作成する。	We are TSM渋谷の打合せを行う。
9	講義	We AreTSMの舞台監督業務内容を理解する。	We are TSM渋谷の資料を作成する。
10	講義	We AreTSMの舞台監督業務におけるタイムテーブルや図面の作成を行う。	We are TSM渋谷のリハーサルを行う。
11	講義	We AreTSMの演出内容についてあらためて考察し、現状の資料をまとめる。	We are TSM渋谷のリハーサルを行う。
12	講義	We AreTSMの演出内容について照明、PA、映像セクションとの調整を行う。	卒業進級制作展についての資料をまとめる。
13	講義	卒業進級制作展舞台制作を学ぶ	打合せ、資料の作成①
14	講義	卒業進級制作展舞台制作を学ぶ	打合せ、資料の作成②
15	講義	復習試験	後期まとめの復習レポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業内容の復習レポート作成とWe are TSM渋谷の打合せ、資料作成を行う。	

【使用教科書・教材・参考書】

スタッフ赤本

科目名	コンサート演出研究1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	唐澤淳
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務。実務歴26年。						
授業の学習内容	海外の最先端コンサート情報と近代コンサート事情の歴史を知り、考察することで、新しいコンサートを作るための柔軟な思考を育てる。 1）最先端のコンサート演出、情報を知る。 2）最先端の情報の収集が出来るようになる。 3）海外コンサートの実態を知る。						
到達目標	最先端のコンサートを知ることで、未来を創ることができるスタッフを目指す。						
評価方法と基準	1．実技試験（%）：50% 2．.課題提出（%）：50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	最先端コンサートに興味を持とう	最先端のコンサートについて復習レポートを作成。
2	講義	4/19-21のコーチェラフェスティバルを振り返る	コーチェラフェスティバルについて調べてレポートを作成。
3	講義	NFL Superbowl Halftime Showで近代コンサートを見てみよう1992-2001、2019	近代コンサートについて調べてレポートを作成。
4	講義	NFL Superbowl Halftime Showで近代コンサートを見てみよう2002-2010、2018	近代コンサートについて調べてレポートを作成。
5	講義	NFL Superbowl Halftime Showで近代コンサートを見てみよう2011-2017	近代コンサートについて調べてレポートを作成。
6	講義	コンサートとは何か？なぜ行うのか？を考える	授業内容について復習レポートを作成。
7	講義	みんなのオススメコンサート演出の共有（1）	お勧めコンサートの資料を準備する。
8	講義	U2を中心に近代の演出考察	U２というバンドについて調べてレポートを作成。
9	講義	BrunoMars/2017-2018 TOURを中心に近代の演出考察	BrunoMarというバンドについて調べてレポートを作成。
10	講義	みんなのオススメコンサート演出の共有（2）	お勧めコンサートの資料を準備する。
11	講義	海外フェス演出	海外フェスについて調べてレポートを作成。
12	講義	明日への扉のスタッフとして演出を学ぶ①	明日への扉の演出についてレポートを作成。
13	講義	明日への扉のスタッフとして演出を学ぶ②	明日への扉の演出についてレポートを作成。
14	講義	日本のフェス演出/2018	日本のフェスについて調べてレポートを作成。
15	**講義**	2019日本の夏フェスを振り返る。試験。	2019日本の夏フェスについてレポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業に向けて事前調べと資料の準備、授業内容の復習レポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサート演出研究2	必修選択	選択	年次	2	担当教員	唐澤淳
学科・コース	音楽テクノロジー科・舞台制作コース	授業形態	講義	総時間（単位）	60 4		
教員の略歴	アーティストマネジメントにおけるプロモーション・イベント制作会社勤務。実務歴26年。						
授業の学習内容	海外の最先端コンサート情報と近代コンサート事情の歴史を知り、考察することで、新しいコンサートを作るための柔軟な思考を育てる。 1）最先端のコンサート演出、情報を知る。 2）最先端の情報の収集が出来るようになる。 3）海外コンサートの実態を知る。						
到達目標	最先端のコンサートを知ることで、未来を創ることができるスタッフを目指す。						
評価方法と基準	1. 実技試験（%）：50% 2. .課題提出（%）：50%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	現在のアメリカコンサート事情	現在のアメリカコンサート事情について復習レポートを作成。
2	講義	Drake/2018、the carters/2018、Travis Scott/2019などHIP-HOP	HIP-HOPについて調べてレポートを作成。
3	講義	THIS IS ITでMichel Jacksonを知る	Michel Jacksonについて調べてレポートを作成。
4	講義	INTER BEE見学（開催日によって前後あり）	INTER BEEを調べてレポートを作成。
5	講義	MADONNA、JanetなどのGIRL'S POPクラシック	MADONNA、Janet
6	講義	Areana、Katy、Taylor、GagaなどのGIRL'S POP最先端	Areana、Katy、Taylor、Gaga
7	講義	IDOL（日本除く）コンサート	IDOL（日本除く）コンサート
8	講義	コンサート機材最新情報（Lighting & Sound Americaを使用）	コンサート機材最新情報
9	講義	オリンピック開会式演出（ロンドン2012、ソチ2014）	オリンピック開会式演出（ロンドン2012、ソチ2014）
10	講義	オリンピック開会式演出（リオ2016、平昌2018）、リオ東京プレゼンテーション	オリンピック開会式演出（リオ2016、平昌2018）、リオ東京プレゼンテーション
11	講義	最新コンサート情報についての考察（1）	授業内容の復習レポートを作成。
12	講義	最新コンサート情報についての考察（2）	授業内容の復習レポートを作成。
13	講義	We are TSM渋谷の演出を学ぶ①	We are TSM渋谷の演出についてレポートを作成。
14	講義	We are TSM渋谷の演出を学ぶ②	We are TSM渋谷の演出についてレポートを作成。
15	試験	Superbowl 2020振り返り。復習試験。	Superbowl 2020についてレポートを作成。
準備学習　時間外学習		授業に向けて事前調べと資料の準備、授業内容の復習レポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	PA基礎知識1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	松本義正
学科・コース	音楽テクノロジー科 PAエンジニアコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	フリーランスのPAエンジニアとして、数多くのコンサートやイベント等をてがける。実務歴30年。						
授業の学習内容	簡易PAセットの仕込みと音出しを一人でこなせるようになろう						
到達目標	簡易PAセットの仕込みを理解し、一人でセットが組めるようになる						
評価方法と基準	筆記テスト30% 実技テスト70%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	顔合わせ自己紹介、全員の名前を覚えよう、ケーブル巻	マイクの種類を研究する
2	講義	マイクの説明、スタンド立て、ケーブル介錯	スタンドの種類の研究をする
3	講義	Mic,Mixer,Amp,Speakerの回路を学ぶ①	Ampについて研究する
4	講義	Mic,Mixer,Amp,Speakerの回路を学ぶ②	Speakerについて研究する
5	講義	EQ/CDについて学ぶ①	EQについて研究する①
6	講義	GEQ/CDについて学ぶ②	EQについて研究する②
7	講義	前半講義のテスト	前半講義テストの準備
8	講義	AUX,FBについて学ぶ①	FBの概念を研究する
9	講義	AUX,FBについて学ぶ②	AUXの概念を研究する①
10	講義	AUX,FBについて学ぶ③	AUXの概念を研究する②
11	講義	AUX,FB,FXについて学ぶ①	FXの概念を研究する①
12	講義	AUX,FB,FXについて学ぶ②	FXの概念を研究する①
13	講義	AUX,FB,FXについて学ぶ③	後半講義の振り返りをレポート課題にて提出
14	講義	後半講義の確認小テスト	簡易セットの回路図を研究
15	試験	後半講義　復習テスト	後半講義　テスト
準備学習　時間外学習		各自簡易セットに触れ、仕込み、バラシを自発的に行うことによって学習を深めることを期待する	

【使用教科書・教材・参考書】

PA基礎知識

科目名	PA基礎知識1	必修選択	選択	年次	2	担当教員	松本義正
学科・コース	音楽テクノロジー科 PAエンジニアコース	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	フリーランスのPAエンジニアとして、数多くのコンサートやイベント等をてがける。実務歴30年。						
授業の学習内容	簡易PAセットの仕込みと音出しを一人でこなせるようになろう						
到達目標	簡易PAセットの仕込みを理解し、一人でセットが組めるようになる						
評価方法と基準	筆記テスト30% 実技テスト70%						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題
1	講義	デジタルコンソールの概念を学ぶ①	デジタルコンソールの概念を研究
2	講義	デジタルコンソールの概念を学ぶ②	デジタルコンソールの概念を研究
3	講義	デジタルコンソールの概念を学ぶ③	デジタルコンソールの概念を研究
4	講義	アウトボードのついて学ぶ① 空間系FX、ダイナミクス系	エフェクトに関しての研究
5	講義	システムチューニング② FOH/FB	FOHについて研究
6	講義	システムチューニング② FOH/FB	周波数についての研究
7	講義	前半講義　テスト	前半講義テストの準備
8	講義	AUX,FBについて学ぶ④	FBの概念を研究する
9	講義	AUX,FBについて学ぶ⑤	AUXの概念を研究する①
10	講義	AUX,FBについて学ぶ⑥	AUXの概念を研究する②
11	講義	AUX,FB,FXについて学ぶ⑦	FXの概念を研究する①
12	講義	AUX,FB,FXについて学ぶ⑧	FXの概念を研究する①
13	講義	AUX,FB,FXについて学ぶ⑨	後半講義の振り返りをレポート課題にて提出
14	講義	後半講義の確認小テスト	デジタルコンソールを使用した簡易セットの回路図を研究
15	試験	後半講義　復習テスト	後半講義　テスト
準備学習　時間外学習		各自簡易セットに触れ、仕込み、バラシを自発的に行うことによって学習を深めることを期待する	

【使用教科書・教材・参考書】

PA基礎知識

科目名	Creator'sRecording概論	必修選択	選択	年次	1	担当教員	西片悠人
学科・コース	音楽テクノロジー・作曲&アレンジャー/音楽プロデューサー/ゲームミュージック/PAエンジニア	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴	レコーディングエンジニア歴8年（代表作品：GLAY「LOVE IS BEAUTIFUL」,かりゆし58「で一じ、かりゆし」）						
授業の学習内容	音楽クリエーターを目指す上で、レコーディング技術の必要性と需要が高まってきている昨今、クリエーターにとって必要なデジタルレコーディングの基本概念と、レコーディング技術及びミキシング・マスタリング技術の基礎知識と技術の習得を目指す。						
到達目標	①デジタルレコーディングの基本概念の理解 ②ヴォーカル及び各種アコースティック楽器のレコーディング技術の習得 ③業界標準DAW「ProTools」の基本概念と機能の理解						
評価方法と基準	1）定期テスト（筆記60%　実技40%）						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	講義	デジタルレコーディング基本概念の理解① （アナログ,デジタルの違いとレコーディング技術の変遷について）	デジタルレコーディング基本概念の理解① （アナログ,デジタルの違いとレコーディング技術の変遷について）
2	講義	デジタルレコーディング基本概念の理解② （サンプリングレート、ビットレートについての理解）	デジタルレコーディング基本概念の理解② （サンプリングレート、ビットレートについての理解）
3	講義	デジタルレコーディング応用編① （AD/DA,レイテンシーとは？その対策について）	デジタルレコーディング応用編① （AD/DA,レイテンシーとは？その対策について）
4	講義	デジタルレコーディング応用編② （ワードクロックについて、活用法や注意点について）	デジタルレコーディング応用編② （ワードクロックについて、活用法や注意点について）
5	講義	マイクの種類および特性について	マイクの種類および特性について
6	講義	アナログコンソール（SSL4000G）を利用したオーディオルーティングについての理解	アナログコンソール（SSL4000G）を利用したオーディオルーティングについての理解
7	講義	アナログコンソール（SSL4000G）を利用したオーディオルーティングを理解し、レコーディング及びモニタリングのセットアップについて	アナログコンソール（SSL4000G）を利用したオーディオルーティングを理解し、レコーディング及びモニタリングのセットアップについて
8	講義	ヴォーカルレコーディングのセッティングとルーティングについて	ヴォーカルレコーディングのセッティングとルーティングについて
9	講義	アコースティック楽器のセッティングとルーティングについて	アコースティック楽器のセッティングとルーティングについて
10	講義	DAW「ProTools」基礎① セッションの作り方、各種機能の理解	DAW「ProTools」基礎① セッションの作り方、各種機能の理解
11	講義	DAW「ProTools」基礎② 編集ウィンドウの理解、４つの基本モードの理解	DAW「ProTools」基礎② 編集ウィンドウの理解、４つの基本モードの理解
12	講義	DAW「ProTools」基礎③ ミックスウィンドウの理解、オーディオルーティングについて	DAW「ProTools」基礎③ ミックスウィンドウの理解、オーディオルーティングについて
13	講義	SSLコンソールを使った実技テスト	これまでの授業を通じて学んだポイントをポートフォリオとしてまとめる
14	講義	ミュージカルのライブレコーディングのシステム構築及びProTools セッション作成について	ミュージカルのライブレコーディングのセッション作成について 振り返りと自習
15	講義	ミュージカルのライブレコーディングセッションの編集と管理について	ミュージカルのライブレコーディングセッションの編集と管理について 振り返りと自習
準備学習　時間外学習		授業に向けて事前調べと資料の準備、授業内容の復習レポートを作成。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	K-pop講座3	必修選択	選択	年次	2	担当教員	崔　可暎
学科・コース	パフォーミングアーツ科　K-POPアーティストコース　2年	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	K-POPヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	K-POP音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの基礎と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2	講義	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3	講義	リズム＋グルーブを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グルーブを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4	講義	リズム＋グルーブを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グルーブを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5	講義	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6	講義	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7	講義	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8	講義	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9	講義	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10	講義	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11	講義	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12	講義	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13	講義	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14	講義	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
15	講義	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
準備学習　時間外学習		ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	

【使用教科書・教材・参考書】

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	K-pop講座4	必修選択	選択	年次	2	担当教員	崔　可暎
学科・コース	パフォーミングアーツ科　K-POPアーティストコース　2年	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	Korean Music ヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	K-POP音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの基礎と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2	講義	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3	講義	リズム＋グルーブを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グルーブを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4	講義	リズム＋グルーブを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グルーブを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5	講義	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6	講義	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7	講義	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8	講義	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9	講義	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10	講義	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11	講義	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12	講義	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13	講義	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14	講義	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
15	講義	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
準備学習　時間外学習		ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	

【使用教科書・教材・参考書】

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷

科目名	日本語講座 3	必修選択	選択	年次	2	担当教員	池村　雅彦
学科・コース	舞台制作、PAエンジニア、照明スタッフ、楽器リペア＆テクニシャンコースト企画制作コー	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	日本語能力試験合格のために必要な文法、語彙の意味、用法を学び練習問題で理解度を確認する。適切なコミュニケーションがとれるように自然な表現、慣用表現などを導入、練習する。テーマに沿ってグループディスカッション実施、グループの意見をまとめ発表する。						
到達目標	①日本語能力試験N1合格を目指す。②上級レベルの文法、語彙、慣用表現が適切に使えるようになる。③学んだ表現を使って自身の考え、物事の説明が適切にでき、スムーズなコミュニケーションがとれる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義	挨拶、自己紹介を日本語でできる。	挨拶の復習と年間勉強計画表を作成
2	講義	大きさや量を強調する表現が理解できる	大きさや量を強調する表現の文型を作りレポート作成
3	講義	「ごとく」を使った表現を使い分けることができる	「ごとく」を使った表現の文型を作りレポート作成
4	講義	連続する動作を表す表現を使うことができる	連続する動作を表す表現の文型を作りレポート作成
5	講義	評価や感情を表す表現を使うことができる	評価や感情を表す表現の文型を作りレポート作成
6	講義	大切で不可欠であることを表現できる	大切で不可欠であることを表現の文型を作りレポート作成
7	講義	価値や能力について適切に表現できる	価値や能力についての表現の文型を作りレポート作成
8	講義	「かいがある」などの似かよった表現が理解できる	「かいがある」などの似かよった表現の文型を作りレポート作成
9	講義	強い感情、気持ちを書き言葉で表せる	強い感情、気持ちの表現の文型を作りレポート作成
10	講義	状況を否定的、消極的な気持ちで表すことができる	状況を否定的、消極的な表現の文型を作りレポート作成
11	講義	驚き、感嘆、疑問などの表現が理解できる	驚き、感嘆、疑問などの表現の文型を作りレポート作成
12	講義	一つの例を示して他にもあることを強調できる	一つの例を示して他にもあることの表現の文型を作りレポート作成
13	講義	価値や能力について適切に表現できる	価値や能力についての表現の文型を作りレポート作成
14	講義	試験実施と復習	試験実施と復習
15	講義	総復習を通して、後期で強化する点を知る	これまでの復習し理解し正しく作文を作成する。
準備学習　時間外学習		様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	

【使用教科書・教材・参考書】 スピードマスターN1文法、新完全マスターN1語彙、その他必要に応じた資料

科目名	日本語講座 4	必修選択	選択	年次	2	担当教員	池村　雅彦
学科・コース	舞台制作、PAエンジニア、照明スタッフ、楽器リペア＆テクニシャンコースト企画制作コー	授業形態	講義	総時間（単位）	30 2		
教員の略歴							
授業の学習内容	日本語能力試験合格のために必要な文法、語彙の意味、用法を学び練習問題で理解度を確認する。適切なコミュニケーションがとれるように自然な表現、慣用表現などを導入、練習する。テーマに沿ってグループディスカッション実施、グループの意見をまとめ発表する。						
到達目標	①日本語能力試験N1合格を目指す。②上級レベルの文法、語彙、慣用表現が適切に使えるようになる。③学んだ表現を使って自身の考え、物事の説明が適切にでき、スムーズなコミュニケーションがとれる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容

回数	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	講義	挨拶、自己紹介を日本語でできる。	挨拶の復習と年間勉強計画表を作成
2	講義	大きさや量を強調する表現が理解できる	大きさや量を強調する表現の文型を作りレポート作成
3	講義	「ごとく」を使った表現を使い分けることができる	「ごとく」を使った表現の文型を作りレポート作成
4	講義	連続する動作を表す表現を使うことができる	連続する動作を表す表現の文型を作りレポート作成
5	講義	評価や感情を表す表現を使うことができる	評価や感情を表す表現の文型を作りレポート作成
6	講義	大切で不可欠であることを表現できる	大切で不可欠であることを表現の文型を作りレポート作成
7	講義	価値や能力について適切に表現できる	価値や能力についての表現の文型を作りレポート作成
8	講義	「かいがある」などの似かよった表現が理解できる	「かいがある」などの似かよった表現の文型を作りレポート作成
9	講義	強い感情、気持ちを書き言葉で表せる	強い感情、気持ちの表現の文型を作りレポート作成
10	講義	状況を否定的、消極的な気持ちで表すことができる	状況を否定的、消極的な表現の文型を作りレポート作成
11	講義	驚き、感嘆、疑問などの表現が理解できる	驚き、感嘆、疑問などの表現の文型を作りレポート作成
12	講義	一つの例を示して他にもあることを強調できる	一つの例を示して他にもあることの表現の文型を作りレポート作成
13	講義	価値や能力について適切に表現できる	価値や能力についての表現の文型を作りレポート作成
14	講義	試験実施と復習	試験実施と復習
15	講義	総復習を通して、後期で強化する点を知る	これまでの復習し理解し正しく作文を作成する。
準備学習　時間外学習		様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	

【使用教科書・教材・参考書】